夕刊
滿洲日報
八月十三日

公債を發行しても直に景氣は直らぬ
藏相、非募債を言明

【東京十三日發電通】日を逐ふて深刻化し行く不景氣を打開する唯一の方法は政府が非募債主義を緩和するか或はこれに準ずる方法として國家が起債に依つて大規模の失業救濟事業を起す以外にないといふ意見が閣内、與黨の一部に擡頭しつゝありこれが實現するか否かは現内閣經濟政策一大轉換に關するだけにその成行きを注目されてゐるが右に關し井上藏相は十二日夜左の如く非募債主義を斷じて放棄すべき時に非ざる旨言明した

即ち藏相は語る

現在の經濟界の事情は依然として非募債主義、財政緊縮の實現を必要こそあれ斷じてこの政策を緩める時ではない、當今の不景氣はわが國の特殊事情でなく世界的不景氣であるから政府が一億や二億の公債を發行して事業を起したからとて景氣が立直る等決して有り得ない、又國家が公債發行に依つて失業救濟事業を起すべしとの意見についてはは余は現在の狀態はその必要はないと信じてゐる尤も失業問題は刻々變化するものであるから急激な變化が起ればその時は別問題だ

參考資料の提示を全會一致要求せん
劈頭から大波瀾を豫想さる
樞府の精査委員會

【東京特電十三日發】ロンドン條約の樞密院第一回精査委員會は大體十五、六日ごろ開催されることになる模樣であるが、當日樞密院側からは倉富、平沼正副議長、伊東委員長他各委員、二上書記官長、政府側からは濱口首相、幣原外相、財部海相、川崎法制局長官以下各關係官出席し、劈頭濱口首相から

英國側の提唱によつてロンドン會議が開催せられ、わが國がこれに參加したる顚末と豫備條約調印に至るまでの經過を說明し次いで幣原外相、財部海相から夫々專門に關する事項につき說明があつた後、質疑に入る順序になつてゐるが、本條約は軍部方面に强硬な反對があつたため政府は幾度か難關に直面した重大案件であり且つ樞府側諮詢と同時に所謂奉答文提示問題で樞府と政府との間に紛爭を生じた問題であるだけに、第一回委員會から可なり痛烈な質疑が續出して波瀾を捲き起すであらうと見られてゐるが、就中奉答文提示に關しては伊東委員長が

是非提示を要求する意向のやうだからこれに對する政府の態度如何によつては更に問題は重大化するのではないかと非常に注目されてゐる、十一日指名された伊東委員長他八名のロンドン條約精査委員の顏ぶれを見るにその多數は現内閣の外交を軟弱なりとして不滿を持ち、殊に今回のロンドン條約に對しても相當非難してゐる向きが多いやうである、特に委員の多數は伊東委員長の說と同じで軍事參議會の奉答文は條約審議上必要なる參考資料であり政府は樞密院の要求に應じて當然提示すべきものであるとの主張を持つて進まんとしてゐるから

委員會は水町顧問官の如く政府に好意を持つてゐる者もこれに同意し一致を以て奉答文の提示を政府に要求するに至るであらう、その際もし政府においてどうしても提示を拒否するやうな場合には事態は極めて險惡化し、或は委員會を休會して政府に反省を促すに至るが如き形勢にあり、委員會の前途は頗る多難を豫想されその結果政府は非常に苦境に陷るのでは無いかと見る向が多い

伊東伯を訪問

【東京十二日發電通】二上樞府書記官長は十二日午前十時半伊東伯を訪問し精査委員會日取りその他を協議した

委員會成立報告

【東京十二日發電通】濱口首相は十二日の閣議に精査委員會成立を報告し政府は今後正々堂々委員會に對すべき事を申合せた

三相の說明擔當
條約の用語を更に推敲し
十五日の閣議で決定

【東京十二日發電通】ロンドン條約第一回精査委員會には閣僚中より濱口首相、幣原外相、財部海相の三名が出席しそれ〴〵說明をなす事となつてゐるが右說明は今後の審議に至大の關係があるためなほよく内容を檢討し用語の推敲を行つた上十五日閣議で決定する事となつてゐる、而して三相の說明一中續開さるゝ筈

說明資料作成協議會

【東京十二日發電通】樞府精査委員會開會切迫につき十二日午後一時より首相官邸において鈴木書記官長、川崎法制局長官、金森、黑崎參事官、吉田外務次官、松永條約局長、堀田歐米局長、齋藤情報部長、山形歐米第一課長、尾崎條約局第一課長、小林海軍次官、堀軍務局長、古賀高級副官、岩村、下村兩大佐等出席條約案につき專門的事務的說明答辯の資料作成につき打ち合せたがこの會議は今週中續開さるゝ筈

政府の答辯方針
統帥權問題は愼重に

【東京十三日發電通】鈴木書記官長、川崎法制局長官及び外務、海軍兩省關係間において打ち合せつゝあるロンドン條約案答辯方策は十二日までに統帥權問題その他法理關係のもの全部を終へたので十三日より條約兵力量に依る國防計畫問題その他の海軍關係の打合せに入る事となつた、なほ統帥權問題は論議の重要題目となるに鑑み政府は去る特別議會の答辯全部を蒐集整理して樞府顧問官の猛襲に萬全を期する事となり濱口首相が主として矢面に立つが陸海兩相に質問ある場合その答辯に齟齬を來さぬやう特に細心の留意をなす事を申し合はせた

政府對樞府對策協議

【東京十三日發電通】十二日の閣議散會後濱口、江木、財部、幣原、井上、阿部各相は對樞府策につき協議し

一、伊東伯の委員長は最も面倒な事態の發生を豫想せしむ

一、奉答文提示を拒絕せば委員會が如何なる手段に出づるやも知れぬ

一、統帥權問題につき相當深刻な論議が豫想せらる

一、荒井、水町顧問官の選に入りたるは兵力量補充財源につき充分檢討するためであらう

と云ふに意見の一致を見財政關係につき特に鑿を凝らした

預金部資金貸出利下の方針
きのふの閣議で決定

【東京特電十三日發】問題の郵貯預金部資金の貸出利率引下も之を來る十月一日から斷行することになり方針は愈々十二日の閣議において決定したが、それと同時に政府は當然の措置として大藏省預金部資金の公共團體所用資金、社會事業資金、産業資金などに對する利下によつて地方の負擔輕減、一般産業の振興に資し且つ失業救濟、銀行金利の低下などに便せんとするにあるがその實行方法としては

一、十月一日以降の貸出金利率は新規決定の分は勿論、既定未貸出の分に對しても郵貯新利子四分二厘を基準として決定すること

二、既に貸付濟となつてをる資金は原則として利下せざるも、その内復興債券資金、普通資金などの一部に年利六分以上のものが約一億圓あるのでその分に限り約五厘程度の引下を行ふこと

三、九月中に預金部運用委員會を開き新方針に對する承認を求むる

どで、但し右の内年利六分以上の既往貸出資金に對する利下はその口數頗る多數にて事務上の手續困難なるのみならず將來郵貯利上の場合直ちにそれに追隨して利上をなすとが不可能なる事情あるに鑑み預金部當局者の間には實行上の難色あるも郵貯利下の理由、經濟界の實情に鑑み結局實行するに至るだらう

次回閣議で決定

【東京十二日發電通】預金部資金貸付利率引下げの件は十二日閣議で決定したが引下げ率は遞信、商工、農林、内務、大藏五省大臣間に豫じめ協定を行ひ次回閣議で決定の筈（延着）

北方政府の樹立期
張學良氏の諒解を待つて決定
汪精衞氏記者に語る

【北平十二日發電通】汪精衞氏は本日記者との會見において政府及び約法問題に關し左の如く語つた

政府の樹立は賈黑德、薛篤弼、郭泰祺、閻馮代表の張學良氏との會見に依つて最後の決定を見る段取となる右代表は北寧線の交通回復次第出發すべくその歸平を待つて政府組織一切の發表をなし即時成立さるゝ筈である昨日の正式會議で約法制定を議決したが、こは訓政期間の過渡的根本法であつて憲政時期に入らば改めて正式憲法を發布すべく取り敢えず最短期間に約法の宣布實施を見るは事實である、右は民國元年南京政府の公布した臨時約法と全然その内容を異にし訓政期における國民の據るべき處を示したものである起草委員は黨の内外より專門家を多數聘して完全を期しその人選は近く決定を見るであらう

正規軍が長沙に特別戒嚴令
市民の避難を禁止

【漢口十二日發電通】今朝九時長沙發電に依れば長沙全市民は昨日以來何鍵の白色テロリズムに對する不信任と共產土匪軍の再襲に對する極度の不安心から市民は何れも荷物を纏めて右往左往し市中は大混亂に陷り午後三時正規軍は特別戒嚴令を布き避難を禁止し命令に抗する者數名を銃殺した爲め市内は兩樣の恐怖に戰きつゝも次第に平靜となり無氣味な夜を明した又何鍵軍中から寢返つた部隊は共產土匪軍に對峙してゐた城外の部隊で城内守備隊にあらざりし事判明した何鍵は總商會に對し四十萬元の調達方を要求した

約法制定の起草委員會組織
正式擴大會議で決定

【北平十二日發電通】昨日の正式會議は約法制定の件を決定しこれが起草委員會を組織することゝなつたが第三次全國代表大會民會議及び約法制定に依り北方政府の根本主義を闡明し且つ國民への公約を果すべく特に約法制定は最も重大且つ困難な問題であるから當局委員會は右委員の人選に愼重なる態度を採るであらうと

奉派は依然中立
南北双方に平等好意

【奉天特電十三日發】張學良氏が時局に對し現狀の不偏的中立態度を持續するか或は反閻馮態度に出づるかは目下津浦線において蔣介石軍が濟南を奪回して黃河以北に進出し得るか否かに繫つてゐるがこの形勢が明白となるまでは南北双方に平等に好意を示しつゝある

鎭江の暴動
邦人被害無し

【上海十二日發電通】前線から送還され鎭江の各寺院に收容されてゐる負傷兵二千名が去る九日大掠奪を行ひ公安局を襲つて局長に重傷を負はしめたが在留邦人十五名は幸ひ被害はなかつたと

新青島市長
胡氏赴任

【奉天特電十三日發】葫蘆島よりの來電に依れば胡若愚氏は張學良氏と協議の結果愈々青島市長に就任するに決定し十一日同地發青島に向つたと

勢力增大したる北滿鮮人共產黨
高麗共產黨と結合し

【ハルビン特電十三日發】北滿における鮮人共產黨の活動は本年三月中國共產黨との提携成立してより俄に勢力を增し現在では東部線沿線を中心に東京城が策源地となり寧古塔一帶に及びハルビン附近では阿什河が本部となり郊外馬家溝にては時々會議を開き南滿との連絡、吉林方面への策動に當つてゐるが西部沿線は全く顧みられない、東京城本部には百數十名の黨員が滯在しポグラ國境を突破して露領との關係を結び浦鹽高麗共產黨と結合してその援助を受けてゐるが、彼等黨員の國境を通過するのは東鐵東部線某驛から徒歩でロシヤ領に向ひ、支那領に潛入する時も亦同様である、共產黨中には無論中國人も參加してゐるが、支那官憲の警備力薄弱な地點を最もよく彼等は知悉してゐるので特別區警察署でもその檢擧には手を燒いてゐる、武器はいづれもモーゼル拳銃を所持し數個の爆彈を攜帶してゐるので非常に危險である、支那官憲は彼等の内幕を多少知つてゐるが、傍觀的態度を執つてゐると

商工省の新規要求

【東京十三日發電通】六年度豫算編成に關する商工省議は十二日午後行はれたが政府の緊縮政策を轉換せしめぬ範圍において産業官廳としての立場から總額約三百萬圓の新規要求を出すに決した

走馬燈
荻川

共管（其五）

目的を一にすれば共同となり、目的から目標が生れると職合となる、列國が時局の必要から支那への出兵は、目的を等ふすべきも、それが受働的なるがゆえに目標を定めてどうこうする譯でない、尤も過去の團匪事件如きを發生すれば別問題だが、斯うしたことがなき限りは共同出兵で、今日も列國は支那に出兵しあるが、其共同と云つた形體を備ふるは、北支に於ける北平天津地方のみ、これさへ漸く影を薄くしつゝあり。

◇

併し共同出兵の形體が殘る、それで多少は地方的色彩を異にする關係もあらうが、其處には揚子江筋のやうな恐慌の起りしことがない、共同出兵の効果は勿論支那にあつて、此効果はこゝに迄及んで居る次第で、之からすると夫が亦支那援助とも云へる、自慢でないが、現在では東四省が、支那の何處よりも平和なる所以は共同を超越して日本の單獨駐兵あるがゆえならずや、と云つても日本が支那の何處にでも、單獨駐兵は眞平じや。

◇

列國が利害を共通するところには、共同出兵こそ願はしい、將來は知らず、支那の現狀では、否過去よりの實驗からすると、支那に列國の共同抑制が利かなくては、それが纏まらぬ、それが治らぬ、今がその實證なり、最近列國は支那に對する協調を解いた、その結果こそ、支那は列國に對し放縱となり、此放縱は許すとするも、其放縱が國内の統治を、ふしだらにするを奈何にせんやで、支那の平和を思はば、そこで列國の共同を必要とする。

◇

單獨り出兵とのみ云はんや、出兵も支那内政の干渉だが、支那爲政者に公安維持の能力なければ、其出兵とて已むを得ぬことくして、其禍害が列國に及ぶとすれば支那爲政者に統治能力なするに、一歩進んだる内治干渉とて差支なきはずなるが、之を爲すまいに、列國は支那に對する武器輸入禁止や、資金融通限定などの協調も復活すべきにあらずや、過去此等の協調は、列國の某々間に止まつたが、今後は支那と關係あるすべての列國に、之を及ぼしたい。

在營年限の短縮
各兵科も步兵と同樣
軍制改革の意見一致

【東京十二日發電通】軍制改革の一重要部門たる在營年限短縮につき軍制調査會その他で研究の結果軍部の意見は左の如く一致した

一、步兵、現制通り青訓合格者一年半、非合格者一年十ケ月

一、特科隊も同樣とす

デーゼル機關車萬能
濱崎川崎技師談

【ハルビン特電十二日發】七ケ月間ドイツのデーゼル機關の試驗研究を終へて十一日の歐亞聯絡で通過歸國した神戶川崎造船技師濱崎總三氏は語る

デーゼルエンジンの需要は汽船のみならず機關車に使用され獨逸は世界的でドイツではサーンスとマンの兩社が國家事業として活動し各國から殺到する注文を引受けてゐる、マン工場には一ケ所に約一萬人の職工が働いてゐるが各工場はいづれも分業組織に行はれ一定した型により多量製產してゐるので到底他國で競爭ができない、デーゼルは列車の機關車としてロシヤからの注文があり世界はデーゼルエンヂン化する時代が到來し日本もやがてデーゼル萬能化するだらう、川崎はマン會社のパテントを買つたが、現在は二臺注文中である

市議選擧人名簿縱覽成績

大連市役所では既報の通り十一日から十七日まで一週間選擧人名簿を縱覽に供してゐるが、縱覽成績は初日が八十三名、二日目が三十七名、けふ十三日が二十名で一昨年の選擧當時より比較して極めて少く氣勢上らぬものゝ如くであるこれは稅金が中斷したのと、住所が變つてゐる爲め名簿に登錄されない爲めであると

村上滿鐵理事に定期叙勳

【東京十二日發電】本日村上滿鐵理事に對し左の如く定期叙勳の御沙汰あつた

叙勳三等授瑞寶章　村上義一

大森新理事
來る十五日着任

新任滿鐵理事大森吉五郎氏及その家族は十四日入港のうらる丸にて着任の豫定であつたが同船は時化のため一日入港を遲延しなので十五日着任に變更された

遣外艦隊旗艦けふ入港
司令官新任挨拶

第二遣外艦隊新旗艦球磨は十二日旅順拔錨、三山島沖合を中心として魚雷發射その他海上演習擧行中であるが愈々十三日午後入港防波堤内第一浮標に繫留さるゝ事となつた、尙新司令官は海軍少將伊田静枝氏新先任參謀海軍中佐濱口重二郎氏艦長に海軍大佐杉坂悌二郎氏で球磨艦長に海軍中佐日合虎治氏でこの機會に司令官の各方面の新任挨拶あり十六日旅順に廻航十八日青島に向け出帆する筈

寺野博士講演

我國電氣化學界の泰斗、九州帝國大學教授工學博士寺野寬二氏來連を機とし滿洲電氣協會主催の下に

人事

▲松本顯光氏（前關東倉庫長）十三日出帆はるぴん丸で歸鄉
▲高木義一氏（步兵大佐）大阪聯隊區司令官に榮轉同上出發
▲木村莊十氏（響社社長）同上内地へ
▲田中守三氏（ロンドン日本銀行特派員）同上
▲島田一男氏（前水上署司法主任）同上
▲デーリー氏（ツーリストビューロー）十三日上り旅客機にて平壤まで

大觀小觀

細工は流々、最後の仕上げに手際の腕を示して欲しい。

◇

ロンドン條約批准案、精査委員で揉みに揉み拔いて然るべく、ただ最後の本會議において、全會一致といふやうなところが望ましい

◇

北方政府、産州されんとして容易に樹立されぬ。

◇

水乳相混ずべきも、水と油とでは、なか〳〵融和せぬ。その水と油の中へ張學良氏を加入せしめんとしても、難といはぬは當然。かくて北平も秋風が颯ッと立つた。

天氣豫報

十四日（北西の風）晴一時曇

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、四	二八、〇
旅順	二七、八	二九、五
營口	二三、九	二八、六
奉天	二四、九	二六、七
長春	二三、五	二六、七

滿潮　午前零時五十分　午後一時
干潮　午前六時四十五分　午後七時二十五分

侠艶一代男 (24)

米田華紅作　伊藤幾久造畫

盲目長家騒動(七)

「私ア奥山の矢場女、お兼と云ふものでござんす。先刻からポンポンと勝手なことを申しましたのによく耐へてお異んなすつた。お噂はよく大名お抱への火消やお役割衆の口から伺つて居りまして、陰ながらお慕ひ申して居ります。聞きしに勝るとは、お前さんのことでござんしやうよ」

しんみりと、どこを押せばこんな音が出るかと云ふ優しい調子で鄭氣味悪い程に媚て始めた。猫の眼と云ふが、こんなに僅かの間に豹變をするのも珍しい。

矢場女お兼は、何を思つたか？後の雨戸をピツタリと締め切つて座敷へ上ると膝すりに、鐵太郎の側へ。

「鐵太郎さんとやら！私ア年甲斐もなく、お前さんにあんなことを云つたのが、今更氣まりが悪くてなりませんのさ」

男を知らない處女でもするやうに、羞かしさうな素振で、身をくの字なりに疊へ左手を突いて

「ねえ鐵さん！私アお千賀さんの爲めよりは、お前さんの氣心にぞつこん……！オホ、、、、嫌な男に口説かれてゐるますので、適には男らしいお前さんを口説いてみたくなりました。道玄が連れ出したとなれば、行先は心配はござんせぬ。屹度私が探し出してあげますが……さうなつた暁に！ねえ鐵さん！お前さんは私をどうなさるお積りでござんす」

ジリジリと情に燃える瞳を据えて、はだけた膝前から紅い蹴出が覗れる。

「そんな事アどうでもいゝ！千賀どのが行方が氣懸りなんだ。かうしてゐる一刻が深い谷底へ引づり込まれる思ひでならぬ」

迷惑を眉間にありありと見せて場所柄を辨へない女を一思ひに蹴飛ばして、外へ飛出したい衝動に驅られたが、不快を無理に押し鎮めながら

「お前の親切は仇おろそかには考へぬが、一刻を爭ふ今の場合、道玄が行先を知らして貰ひたいものだ」

「それば、それ、何とやら云ふではござんせんぬか？魚心あれば水心、な、鐵さん！もし鐵太郎さんえ！お前さんは本當に罪な方でござんすな。私を一目で、これ程に迷ひ込ましてさ、えいッ！憎らしい人……」

淫らな眼付、先刻の女とは打つて變つたねつとりした色仕掛けで媚を浮した艶つぽい様子をし、執拗にジリジリと寄り添ふと、突如に白い腕を蛇とうねらせ、鐵太郎の首に絡みつけやうとした途端！さつと手首を押へつけ、怒氣を含んだ調子で

「何をするんだッ？」

「などゝ野暮臭い！私がこれ程に思ひ焦がれてゐるのが憎らしいのかえ！もし鐵太郎さん、鐵さんえ？お前さんだとて、加洲の八丁火消、一人や二人の情婦もあらう？あんまり邪險ではござんせぬか？」

「場所を知れッ！場所を！ここをどこだと思ふんだ？」

「盲目長家さ！世間の廢れ者が寄り合ひ世帯なのですよ。それがどうか？」

「大嶽受けた師匠の家だ。しかもその仇敵の道玄と、お鐵さんの行方を血眼になつて探してゐる際だそ、そんな呑ん氣な眞似がしてゐられるか？」

「私ア眞剣だよ」

蝮と異名をとつた賤家のお兼がかうと思ひ込んだからにや、思ひを遂げないおや置かないんだから……」

「そんな事より、千賀どのが身の上が案じられる。お前の話は後で聴く！な、よいか？道玄の行方を知らしてくれ」

振り拂つても、馳倒してもやりたい女の手首をぐつと掴んだまゝ鐵太郎は火を呑む口惜しさを耐へて言葉低く頼んだ。

「嫌です！私ア嫌ですよ」

お兼は自棄に吐き捨る言葉で

「鐵さん！お前さんも男なら私の切ない思ひを適へて下さい！さうすりやア……ね」

キネマと演藝

防火宣傳映畫 火中之勇姿 その梗概(一)

豫て計畫中であつた滿洲消防新報社の日支親善防火宣傳映畫の製作はいよいよ進捗し後藤計吉氏の原作脚色「火中之勇姿」八巻の撮影に近く着手することになつた、また華語タイトルは大内隆一氏が飜譯する筈で、その梗概は左の如くである

不幸内地で烈風中四十餘戸を灰燼に歸せしめた火元の安田は保險金詐取の嫌疑を受けて警察へ引かれた、妻のおきぬは極度に焦悴の餘り病氣に罹り其不在中亡くなつた、安田の嫌疑が晴れて引越先の裏長屋に歸つた時は妻のおきぬは白木の位牌と變つて居るのに一時は呆然自失したが兄の激勵に發奮した安田はみどり子の愼一を兄に托し餘生を罪亡しの爲め恐るべき火災の防止に奮闘すべく内地をあとに渡滿したのはもう廿三年の昔である。安田は懸命の努力を防火の宣傳に注ぎ名も火の用心と銘打ち湯屋を開いて居た、涙ぐましい迄に防火の宣傳に狂奔する安田を人呼んで防火狂と綽名した。みどり子の愼一は慈愛にあふるゝ兄の懐で生長し大學を卒へた後父を尋ねて來連した、久方振りに我子との對面に夜の目も寝ずに喜んだ安田老人は其前夜市内に小火のあつた爲め例の火の用心を高潮して走り廻つたのでとうどう寝過し廿三年前の我子の寫眞と見比べて發見すべく下僕の竹藏を伴れて埠頭に愼一を出迎へたけれどとうどう上陸客中愼一を見出す事は出來なかつた。埠頭に上陸した愼一も無論出迎人の父を見出す事は出來ず一警官に火の用心湯安田の息子である事を告げて其道順を尋ねた警官は名物男防火狂安田の息子と聞いて恰度交通整理で見咎められて居る自動車に愼一を火の用心湯迄送り屆ける事を依頼したが相憎中にはお客があるので運轉手は當惑した然しお客は歸り途だと言ふので氣にも留めず快く同車をすゝめたので愼一は多少はにかみ乍らも同乗した車中の客は愼一に物珍らしい支那人の相當の家庭の者とおぼしき夫人と其娘らしい二人であつた、愼一は今始めて見る父が經營の火の用心湯の前で同車中の支那夫人の丁寧な挨拶を受けて別れた。下女のお濱は東京からのお客だと聞いて一時は驚いたがそれが愼一だと別つてあはてふためいた、安田老人と下僕の竹藏が歸つてからは四方山の話に夜の更けるのを知らなかつた愼一を歡迎の爲めに開かれた火の用心宴會の席に侍つた藝妓牡丹は新進の大學卒業の主客愼一を戀慕したが愼一は振向もせなかつた

麻雀をしながら千惠藏「今年は一度も嵐山へ泳ぎに行かないと思へば毎日麻雀で暮してゐた」と▲他人のやうなことを言ひながら昨日は午後から麻雀のぶつ通し▲[illegible]

が大好きよと浪速町から連鎖商店を散歩して▲寶石屋をひやかし「このダイヤモンド百二十圓でなくて千二百圓なの、滿洲は寶石が安いなんて嘘なのネ」▲それからポンペイに行つていゝ氣持になつて十二時までダンス▲また千惠藏が煙草は何がよいかと聞けば傍の人「劍劇俳優だからキレアジがいゝネ」▲但し慌てゝキレアジを持ち込んでも御本尊は目下禁煙中で▲麻雀の相手ならば隊を蹴して寄らば斬るぞといふところ

ラヂオ

大連 JQAK 八月十四日午後十時三十分

▲ニュース
▲ラヂオ體操
▲支那語講座(第五十二課)滿鐵學務課 秋永固太郎
▲浪花節(義士傳赤垣源藏)市川紋十郎
▲ハーモニカ一、美しき流れ(編崎亮介編曲)二、春雨(竹岡富三郎編曲)三、蛇使ひの踊り(サメリニック作)四、小さな支那人(スミス作)五、ホームスイトホーム(ビショプ作)竹岡富三郎
▲箏曲(夕顔)三味線福永大勾當、替手同森川とし子、前唄後唄、琴木次初榮
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK 十四日午後六時二十五分

▲趣味講座(人體改造の將來)醫學博士高田義一郎
▲深川富岡八幡祭(一)宮神樂(竹山金太郎社中)二、式樂(富岡八幡宮伶人五名)三、木遣、まゝる、てこ、五萬石(深川中町連中)四、深川囃子(池田彌五郎社中)
▲尺八獨奏と合奏(一)寒月(紙谷白山)二、朝綠(一部紙谷白山)(二部山崎不山)
▲管絃樂(一)青きドナウ(二)シルヴイアの行列ドリーブ作(三)ボレロ(ビリ作)四、アイーダ(ヴエルゲク作)日本放送交響樂團(指揮篠原正雄)

演藝新刊紹介

▲舞臺(八月號)銷夏號と稱して喜劇のみを輯めてゐる。園池公功作「スポーツ時代」大村嘉代子作「小猫」小林宗吉作「山に入つた詩人」中野實作「入選」等皆喜劇である。研究欄では寺田彌氏の「トーキー概觀」がある。寺田氏は長年アーチスト社にゐた映畫人である。其他言説隨筆百十頁、岡本綺堂監修、額田六福編輯、東京小石川高田豐川町武藏野書院發賣定價三十錢

制度は現状の儘で運用の改善を期す
=消費組合側の改廢問題意見=
經濟聯盟代表に表明

滿洲經濟聯盟では曩に滿鐵當局に對し消費組合改廢案を提出懇願したが未だ回答に接しないので十二日午後小田、千田、今中正副會長ほか二三氏は組合幹部を訪問し二時間餘に亙り懇談するところあつたがその内容は組合側より左の如く意思表示したと傳へられてゐる

一、消費組合を仕入機關に改造してその仕入品を市中商人に供給し、消費組合は撤廢することを骨子とする改廢第一號案については組合側において既に實行不可能なりとして拒絶したが今日においても右方針に變りなく全然實現の見込なしと明言した

一、消費組合の現制度はそのまゝとし運用上の各種改善を期する

第二號案については商議聯合案Bと大同小異にして商議側とは目下折衝中であるそれで聯盟側と別に折衝すれば二重となるからその必要はないやうに思ふ、然し聯盟側においてこれに關し希望あれば今後とも承りたい

一、其他一般に消費組合問題につき聯盟側に意見あれば隨時披瀝されたい

即ち還陽案にして奥地側に支持者多い第一號案は絶對に實現見込がないことが明かになつたので聯盟ではその旨各地に報告することゝなつた、なほ大連側においては大連實業聯盟の役員會を二三日中に開いて會見の經過を報告しこれが對策を講ずる筈

點數増加せるも金額は減少
七月中の中央卸賣市場賣上

七月中における市設中央卸賣市場の賣上高は點數一萬七千百五十七點、金額九萬三千三百八十二圓にして前月に比し點數一千二百四十三點を増加せしも金額は反つて一萬三千四百三十圓を減少した、これ増場の出廻り旺盛にして點數は異常の増加を示せしも内地及臺灣物の輸入額に減少し、就中

果實類に 至りては地物生産品に押されて殆ど入荷杜絶の傾向にあり、第一部日本輸入品中、果實のみにても二萬餘圓の減收を示し且つ臺灣輸入品中蔬菜類の皆無なりしに基因する、なほ茲に特筆すべきは財界の深刻な不況よりくる一般減收を已むなくしたるにも拘らず、地場果實類のみが一萬二千餘圓の賣上を示し、前年同期に比して六千餘圓の増收を見るの盛況を來した、これ州内及州内における生産品が逐年増加の傾向にあるより來りたるものと思はれる而して相場は區々ながら果實部にありて第一部日本輸入品中夏蜜柑は品薄のため良く堅調を維持しつゝありしも梨

終末期に 入りて下旬に至り桃と共に全くその跡を絶ちこれに代りて葡萄の初入荷を見しも極少量に過ぎず、一貫入一箱高値二圓七八十錢を示して一般向には適せず、たゞ一部の需要に應ぜしのみにて非常の閑散を極めたが地物はこれに反し林檎、桃、梨等日を追ふて優良品の出廻り旺盛を極めつゝあり、桃は上物にて高値一貫八十錢、林檎は四十錢見當の相場を示した、蔬菜部にありては泉州玉葱稍々騰勢にあるが如きも未だ二圓臺に達せずして弱氣は免れず、西瓜及び南瓜は中旬盂蘭盆節句の需要を見越して相當の入荷を見、

自然高値 を示して一時的ながら活氣ある場面を見しも下旬相場も

に至り地物に押れて暴落し遂に南瓜は採算不引合に其跡を絶ち、西瓜のみは内地物としての需要相當にあり、安値ながら毎ら航海多少の入荷を見つゝあり、其他小野菜類はぼつ〳〵の實行に過ぎずして特に叙述すべきものなく、地物にありては銀安關係に祟られ異常の安値を示し、殊に水物とて投賣物さへ出で下落に下落を重ねつゝあり、しも下旬に至り玉葱、胡瓜、隱元豆及び茶類は第一同栽培物端境期に入りて入荷減少したるため稍相場を見直した、然るに甜瓜は逐日入荷漸増し、殊に下旬に至りては最も旺盛を極め毎朝果實類と共に市場に

一異彩を 添へた、其他第三部支那輸入品は殆ど先月及び前年同期と變化なく良く順調の成績をあげて越月した、なほ各部合計において前年同期に比し點數一千八百七十九點、金額三萬七千六百八十六圓を減少したのは一般不況の然らしむるところにして已むを得ない現象と見られてゐる、各部別賣上高左の如し(單位圓△は増)

七月分賣買高

部・別		金額	前月比較
日本物	蔬菜	二、四〇〇	二、八九八
	果實	四、三二〇	三、七〇六
臺灣物	蔬菜	一	四四三
	果實	一八九	一、一八六
支那物	蔬菜	五、八三二	一
	果實	一	一、八二
朝鮮物	蔬菜	一	一
	果實	一	八六〇
地場物	蔬菜	三、九八一	△
	果實	[illegible]	[illegible]
合計		九三、三八二	一三、四三〇
點數		一七、一五七	一、二四三

湯川寛吉氏住友を引退

【東京十二日發電通】住友合資會社總理事湯川寛吉氏は退職の上相談役となり後任には常務理事小倉正恒氏就任するに十二日重役會で決定した、尚湯川氏は同時に住友系諸會社の取締役會長をも辭任すべく住友銀行取締役會長は同行專務取締役八代則彦氏就任專務を兼任する筈

華人食糧品
六分の一方下落

最近奉天市中における支那人食糧品は漸次安氣配となり前月に比して約六分の一方低落したが右は各糧商のストック處分と各地方から季節的整理の貨物が出た爲である

上海在銀高約四割近く減る
本年上半期の輸入高

本年上半期における銀價の慘落は昨年來上海の在銀が増加の一途を辿つて一向減少を見せなかつたことも慥しかに一つの原因である、しかし漸増を辿つてゐた在銀も上半期の終りに近づくに從つて次第に減少の傾向を示し始めた、これは上海の相場が慢性的に割安を續けて來たために輸入が困難になつたことに依るものである、本年上半期の上海における銀塊の輸入高は四萬三千九百五十三條でこれを前年同期の六萬六百一條に比較すれば一萬七千六百四十八條と約四割近くの激減を示してゐる、尚昭和三年上半期の三萬六千八百九十條よりは七千六十三條増加してゐる、輸入高を國別にみれば米國からの輸入が依然として壓倒的多數を示めし三萬六千二百四十二條で次に日本の二千七百四十三條で印度からは二千六百廿一條、英國からは二千三百四十七條といふ順である、月別には一月が最も多く一萬六千四百五十七條輸入し後は大體逐月減少して六月には三千五百七十條の輸入があつたに過ぎなかつた

△輸入高

	米國	日本	英國	印度
一月	一二、三三七	一〇二	一九九	一
二月	六、五三六	一九九	二八	一
三月	四、五七四	一九	一、四一三	一
四月	六、一三三	三二一	三一	一
五月	四、三六九	一九五	五九	一
六月	三、〇一一	一	三七四	一
合計	三六、二四二	二、七四三	二、三四七	二、六二一
二九年同期	五七、〇八六	三五〇	[illegible]	[illegible]
二八年同期	三二、九九九	六二三	[illegible]	[illegible]

(註)一月中に英國から二、三三四條、印度から二千六百二十一條

△移輸出

	杭州	南京	天津	香港	孟買	倫敦	其他
一月	五、〇九九	一	一	一	三四〇	一	一
二月	四、七五五	一	一	一	一	一	一
三月	七、三六一	一	一	六三二	一	一	一三〇
四月	一、九五三	一	一	一	一	一	一
五月	七、六〇〇	一	一	一	一	一	一
六月	五、一三四	一	一	三、六六〇	一、〇四二	一、一〇四	一一〇
計	三一、八〇四	一	一	四、二九七	一、三八一	一、一〇四	二三〇
二九年同期	二三、一三〇	九、三三三	二、一二四	一	一	一	一、三三〇
二八年同期	一九、四六八	七、九四六	一	一	一	一	一〇〇

條の輸入をみたが一月以降ははなし、輸入高は減退してきたに對して國内並に國外へ銀塊移輸出は増加し勢ひ在銀の減少をみる傾向が生じてきた譯であるが上半期の移輸出高は三萬八千六百五十六條で前年同期の三萬四千二十六條に比較すれば四千六百三十條、一昨年同期の二萬七千五百四十二條よりも一萬一千百十四條の増加である

保險契約も減る
建築物の増加に反して之も財界不況の影響

一般財界の悲況が逐日深刻となるに從ひ内地保險業界では徒らに契約件數のみ増加するに反して契約額は却つて減少の一途を辿ると共にその苦境の度合は益々濃厚となりつゝある有樣であるがこの影響は滿洲にも必然的に現はれ比較的良好と見做される火災保險ですら建築物の増加に拘らず保險契約の減少をみて居る、即ち大連火災保險會社の本年四月より六月まで三ヶ月間の契約額は一億六千萬圓、この保險料十六萬九千圓でこれを前年同期に比すれば契約額において二千萬圓の減少、保險料に於て三千圓の減少で滿鐵埠頭の貨物保險の減退が主たるものといはれてゐる

重油四萬噸購入
滿鐵、海軍の契約成立

【東京十二日發電通】海軍省は滿鐵から年額四萬噸の重油購入契約を締結した、滿鐵はこの結果毎月約四千噸程度の内地輸送を開始する筈

歐洲向大豆
買氣一服の狀態

既報の如く滿洲大豆の歐洲向引合は北歐における農作物の不作及米國の大旱魃による不作の報に加へて滿洲の作柄良好豫想の發表等幾多の好材料續出し夏枯期の不勢より轉じて市況は俄然活況を呈してゐたが、昨年の豐作によるストックも尚相當にあるのと、且つは北歐の不作といふも實際は左程でもなき模樣であり、更にアメリカの玉蜀黍の不作といふも歐洲諸國への輸出餘力は平年に於ても大して期待し得る所でないとの事情明らかとなり買氣は茲許一服狀態を呈してゐる

大中銀行支店
大連に設置認可

長慶に本店を有する支那銀行の大中銀行は大連市に支店を設置することゝなり手續中のところ十三日關東廳より認可された

錢鈔組合評議員會

錢鈔信託手數料値下げに關する取引人組合の評議員會は十三日午後三時より取引人組合樓上會議室にて開催される筈

外銀筋兌換

【東京十二日發電通】ナショナルシチー、香上、蘭印三外銀は十二日日銀大阪支店より合計六百萬圓の兌換を行つた

相場の妙諦と綿糸布取引の話 (二)
東洋棉花大連支店長 奥田千之氏談

綿糸布取引の中心市場ともいふべき大阪三品市場について概略をお話致しませう

◇…三品と いふのは綿花綿糸、綿布を指したもので三品取引所の上場物件はこの三品となつて居りますがその内綿布は取引が行はれて居りませんから現在では二品であります、棉花も漸つと上場されてから四年を經過しただけでありまして實際上三品といへば綿糸を指すものと申していいのであります、その賣買方法は標準賣買でありまして左撚二十番手を標準物件とし、十六番手を標準とする取引も出來るやうになつて居りますが、實際は二十番手標準の取引だけしか行はれて居りません。

◇…銘柄は 現在三十二種の綿糸が受渡し出來ることになつて居りましてその内格上げ品が二種、同格品が三種で、標準品は東洋紡績の金魚でありまして格下げ品は二十六種あります。その外の銘柄のものでも取引所に申請して格付表にのせて貰つて檢査さへ通れば受渡に供用することが出來るのであります。福島紡績會社の福助標は以前は標準品の金魚標より一圓格下げされて居りましたが今では同格品になつて居ります、當地の滿洲紡績會社の福助標も大阪の福島紡績の福助標と同じ規格の品でありますから金魚と同格品であります、然らば滿洲紡績の

◇…福助標 を大阪三品市場へ持つて行つて受渡に供用することが出來るかと申しますと現在の規程では日本にある紡績工場の製品でなければならぬことになつて居りますから之を改定しなければ受渡し出來ないのであります。上場物件の格付は以前には限月到來の月から遡つて八個月乃至十個月前に三個月分宛年四回格付表を作つて居ましたが昨年からこれを改正して綿糸もチーズ綛糸も格付表は限月到來の二個月前即ち十二月限ならば十月、十一月限ならば九月に作製して發會前には單にその限月に適用する受渡品の範圍を銘柄に依つて定めるといふ事になりました

◇…格差は 時によつて變りますが格上品は綛で三圓五十錢格下品は綛で八、九圓位、チーズ巻糸では十圓位まであります。ことで一寸綛(カセ)糸とチーズ巻糸の事を說明して置きませう。綛糸とは綛繰にかけて巻いた糸のことでありまして紡績でつかふ綛繰は長枠で一度に四十口の綛が掛けられ綛の枠竿は其アームを張ると六角形となり周圍一ヤール半即ち五十四吋(鯨尺で三尺六寸)あります、之れに八十回宛七度巻付けると綛枠の回轉が停まる構造になつて居ますからうして巻上つたものが綛でありまして

◇…綛糸數 は五百六十碼その糸の長さは八百四十碼(鯨尺で二千十六尺)ありますこれをヒビ糸か綛の兩口糸を一緒に結び合はせて枠から外づし五つ宛一纏めにしたものを二括り合せて撚ります、これを一捻といひ「捻」を集めて「玉」を作ります、一玉の重量は十封度あります丸綛といふのは一綛宛ヒビ糸で輕くしばつたものので、小綛といふのは一綛を七つに撚つたやうにしてとめたもので あります、番手は糸の太さを現はすものであります、日本で採用しで居るのは英國式の番手でありまして一綛の目方が一封度あるものを一番手と申しまして二十綛で一封度の目方のものが二十番手、十六綛で一封度のものが十六番手であります即ち二十番手は二十綛で一玉になつて居ます

◇…一玉の 目方は一貫二百五十匁乃至七十匁ありまして二十玉を建包としベールプレスで壓縮したのを小俵(和俵とも云ひます)といひ、四十玉を纏めてヘシアンクロースで包み帶鐵で締めたのを大俵(洋俵又は本梱とも云ひます)と申します、綿糸の相場は大俵の一梱建であります

黄塵

◇…滿洲建築協會では本年が創立十周年に當るので大々的に記念大會を開き滿洲にては最初の大規模な建築展覽會を開催する計畫である。

◇…同會の內容は滿洲產建築材料及び一般建築材料、建築圖案、室內諸設備に關する綜合陳列等可なり豐富なものらしい。

◇…滿洲では初めての試みであるが專門的に斯界發達のため貢獻するところ甚大なるものがあらう。

◇…吾人はこの機會に同會が單に專門的に當業者の指導を目的とするのみならず一般に對する建築知識の普及を圖るため何等かの方法が講ぜられんことを希望したい。

◇…と言ふのは小住宅拂底と建築費低廉の折柄一般に建築知識が普及することは有資家の採算的建築慾を唆ることになり延いては小住宅拂底から來る家賃高を緩和し大衆のためにもなるからである。

市況

特産 大豆强調 實際の買ひで

錢鈔 倫銀不變を眺め鈔票保合

商品 前場

株式 內地株軟調 地場弱保合

市場電報

為替相場

錢鈔受渡高

東鐵代辨所 閉鎖場所決定

滿洲日報

社說

支那既成政局と共匪の跳梁

擴大會議、名あつて實ありとも覺えず、北方政府の樹立、遲々として進まず、よし樹立したりとて何程のことかあらんと思はしめられる。

蔣介石の獨斷專行といふことが失意者側の問題となり、汪精衛らは盛んに地方分權や國民會議などと提唱する。併しながら、今日の支那にありて中央集權を說き、地方分權を論じても、事實問題としては何らの價値も存在せぬことを知らねばならぬ。まして國民會議などといふことも、今に始めぬことながら、支那の現實と相伴はぬこと、毅論、必ずしも遠きにあらずである。

一體、支那の今日にありては、分權とか集權とかを爭ふ前に、まづ主權の歸屬を具象化せねばならぬ筈である。孫文がいつた如く主權は人民にあり、と斷じたところで、實際問題とは何らの關係もないことになる。勿論、支那の國家主權が人民にあることは抽象的觀念として間違ひのないところであるに違ひない。併しながら、その主權が國家統制力として事實上に働かんがためには、その抽象的觀念が具體化せねばならぬ。

然るに現在のところにては、國家主權が人民にあり、といふだけで現實に具象化して來ぬ。支那の憾みは、この主權の存在を明瞭に具象化するところに存するといふことも出來るのである。

この主權を具體化するがためには、相當の實力戰、否、武力抗爭の行はれるくらゐは覺悟せねばならぬところである。

この意味において吾人は、武力すなはち支那にありては實力の把持者が輩出せんことを希望するのであるが、南にも北にも、この武力者が飛び出さぬのは、むしろ支那のために不幸である。

蔣介石に戰術の多少、見るべきものがあつたが、彼は小戰鬪の勇者であつて大戰爭の將軍ではなく、功を收めんとして大局を收拾する能はず、つひに獨斷專行などの消極的汚名を冠せらるゝに至る。胡漢民、譚延闓ら、時局を收拾するの能力ありとも覺えぬ。

北方側にありても然り、また汪や馮や、ただ水と油の寄合世帶、これが如何の程度に今後の政局を發展せしめ得るか。例の無意義なる擴大會議に抽象的なる孫總理の遺囑を祖述するぐらゐが關の山であらう。それに張學良、唐紹儀、李宗仁などを抱き込んだとて、それが支那の現實政治に何程の効能を發揮するであらうか。

濟南が北に保持されやうと、また南に奪回されやうと、支那の政局は依然として舊の如くである。合從聯衡、[illegible]、間斷なく解され分化されるが新らしい[illegible]は容易に出でず、張學良らの擴大會議から演繹して北方政府が樹立されても、それは南方に對峙する北方の政府といふだけであつて、閻の山西[illegible]、馮の陝西[illegible]と何ら擇ぶところないものが出來上るであらう。

それでは分權の効能もなく、また國民會議といつたところで地方有志が集合するぐらゐであり、憲法といつたところで一般民衆の生活とは何らの交渉なきものたるは贅言を要せぬところである。

かく觀じ來れば、支那の政局において吾人の最も關心事たるものは、かの共產土匪に過ぐるものなしといはねばならぬ。

勿論、名の示すが如く、思想的の分子は極めて稀薄であり、大部分は土匪に相違ないが、第三インター本部あたりの觀測を以てすれば、ある程度の、ある種の試驗、換言すれば來るべき何らかの活動の豫備智識、觀測が構成せられたりとも揣言されてゐる。果して然らば、現在までの共匪は必ずしも恐るるに足らずとせんも、將に來らんとする何物かに對して備ふるところがなくてはならぬ筈である。

鷸蚌の爭ひは漁夫の利となる。鳶に油揚を攫はるるが如きことなきを要愼せねばならぬ。法統やら本家爭ひをやつてゐる脚下から、とにかく共匪の蜂起があり、それが赤化して共產臭味を增し加へぬとも限らず、また臭味を增し加ふべく虎視眈々たるものも存する。汪も馮も閻も蔣も有耶無耶グヅグヅの裡に南北の對峙をビールの氣の拔けたるが如く存續することであらう。それ以上の政局發展は期し得られず、既成政黨のそれの如く支那の既成政局は各方面とも硬化を免れざるべく、ただ少し大きな波瀾として注目に値するのは何といふても共匪に相違ない。

この共匪、對し、蔣介石も北方ほどに重大視せず、北方も南方策上、むしろ歡迎してゐる傾きのあるのは、南北ともに身のほど知らずといふの外ない。若しこれを放置し、南北の對峙に沒頭せんか、ロシヤ第三インターの乘ずるところとならんこと必定なりと申さねばなるまい。

海軍補充計畫費
最少限度三億數千萬圓
政府が公約した軍縮剩餘による
負擔輕減至難

【東京特電十三日發】ロンドン條約による海軍補充計畫は未だ軍令部にて決定されず、從つて財政計畫上留保された主力艦並びに補助艦の建造財源が果してどれだけ餘剩となつて國民の

負擔輕減 に充當されるか全く見込みがついてゐない、明年度豫算編成は今や各省において着々進行してゐるのであるから、一般豫算と切り離して補充計畫の豫算を計上するにしてもおそくも十月一杯には大藏省の査定を終らねばならない、故に軍令部にては目下補充計畫の細目に亙り調査研究を進めてゐるが、その內容は航空機の擴張、大巡改造、潜水艦の編成替、驅逐艦の建造年限繰上げなど種々あり、その計畫如何によつて

補充計畫 に要する經費の上に多大の差異を生ずべきも、先づ最少に見ても三億數千萬圓を要するといはれてゐる、然るに昭和十三年度までの海軍留保財源は五億二千萬圓であり結局一億數千萬圓の餘剩財源を生ずる勘定である、しかもこれは補充計畫を最少に見た場合の計算であるが事實上海軍補充計畫が三億數千萬圓に止まらず更に巨額の計畫を必要とされるにおいては餘剩財源等期待し難かる可く、現に明年度の如き保留財源二千萬圓に對し、殆ど同額の補充計畫を必要としてゐるので、政府がかねて言明した如く軍縮剩餘金によつて國民負擔の輕減を行ひ得るや否や

全く疑問 である、また明年度以降においても補充計畫の如何によつては財源不足し一般歲入の激減見込みと相待ち、財政の餘裕を生ずる事は期待し難く、從つてこれに依り減稅を實現する事は甚だ困難な事情にあるので、政府としてはこの國民に對する公約履行を如何にするかに就き非常に苦心するであらう

定例閣議々事

【東京十二日發電通】十二日の定例閣議は旅行中の松田拓相缺席の外全閣僚出席の下に開會、小泉遞相より

郵便貯金利率は近年市場金利との均衡上高率なるのみならず最近郵便貯金に吸收される資金多く制度本來の目的を越えんとするものあり、よつて郵便貯金利子を今引下げる事は直ちに預金部資金貸出し利率を低下し產業、社會政策、公共事業資金を低利ならしめ預金者が利率において失ふ處を低資融通に依り一般社會の利益に還元せしめ得るが又更に預金部資金貸出し方法に依つては一層社會の必要に應ぜしめ得べきを以て此の點に就ても當局の考慮をなしたる處である

と報告し別項の郵便貯金利率引下げを決定し幣原外相より常設國際司法裁判所議定書批准に關する件並に目下商議中の日支海底電線問題につき報告し財部海相より長沙事件の情勢報告あり正午散會した（電信故障延着）

樞府精査委員會は
けふ第一回開會を通告
兩三回で休會か

【東京十三日發電通】ロンドン條約案に對する第一回審査委員會は大體來る十八日午前十時より開會の豫定であるが、各委員も避暑先より十三日中に全部歸京の豫定で十四日第一回委員會開會の通告を發することゝなつた、而して右打合せの爲め十三日二上書記官長は午前十時より伊東委員長を私邸に訪問し會談を遂げる處あつた、尙樞府の審查方針は一、二回委員會を開いた後に非ざれば豫斷し難いが、政府が十二日の閣議に於て奉答文提示絕對拒否に決定したので樞府側では正面衝突は免れ難いとの決意を固めたものゝ如く其の爲め樞府補査委員會は兩三回にして休會の已むなきに至らずやとの懸念を一層深めた感がある

軍制調査總會

【東京十三日發電通】陸軍では十三日午前九時半より省內に軍制調査總會を開き引續いて航空研究委員會で審議して來た少年航空兵制度新設につき協議を重ね正午散會した

行政刷新協議

【東京十三日發電通】行政刷新委員會は午前九時半より首相官邸に開會

一、各官廳營繕事務の統一
二、各省官吏の缺員を補充せざる事

の二項を決定し用度品統一は次回に具體案を持ち寄り決定することゝし正午散會した

蔣鼎文軍が萊蕪を占領

【佐世保十三日發電通】青島發佐世保無電に依れば青島方面の蔣鼎文第九師は津浦線の陸路を迎り萊蕪を占領し進んで明水鐵路を破壞し目下山岳地帶に入り行動意の如くならず緩漫である

條約精査委員の首實檢
何れを見ても苦手
穩健な長者金子子は緩和劑

【東京特電十三日發】樞府のロンドン條約審査委員が決定した條約文の誤記誤譯、軍令部奉答文の提示問題に絡んで政府對樞府の態度が微妙にこぢれてゐる折柄その審査委員の顏ぶれは何といつても天下の視聽を引いたものだ、ところでそれがやつと極つて蓋をあけた結果は果してどうだつたか、

◇―◇

政府側は多少豫期しては居たものゝその顏ぶれは豫期以上に「不利」「失望」「困惑」ものであつたらしい、先づ政府が最も意外としたのは頼みに思ふ石井菊次郎子、闕山良平氏、富井政章氏が何れも揃つて選に漏れたことだ、又故田中政友會總裁莫逆の友たる河合操大將が委員に加つて政府側のひそかに信頼してゐた黑田雅太郎大將が出なかつた事も政府にとつては痛事だ、

◇―◇

さて愈々本舞臺に登場した審査委員九人男の顏ぶれを見るに大部分は政府にとつての苦手揃ひだ、而もそれが閱歷貫祿、面構へなど首相級乃至國務大臣級の大物揃ひで一癖も二癖もある連中ばかり、

◇―◇

そのうちでも政府にとつて第一の苦手は伊東巳代治伯であること人も知る通りだ、明治三十二年から三十何年間樞密院の奧深く鎭座して歷代の大臣を小僧扱ひにした古强者或意味では樞密院の主人ともいへる小父さんだ、有名な旋毛曲りと侃々諤々の議論ぶり、氏の[illegible]と[illegible]な權力とは何といつても政府にとつての脅威である、委員長指名の前に方つてその恐ろしい牙の手入れまでして「狂と呼び怪と云ふも亦他評に委す、他年の妖雲を一掃する時は此時に在り」と嘯いたんだから氣味惡い次第、

◇―◇

審査委員長格（といへるかどうか知らぬが）の金子堅太郎子は溫厚の長者伊東伯と共に憲法起草者の一人だが、行き方は全然違つて飽くまでも穩健な雄辯を振ふであらうから政府にとつては寧ろ賴もしい緩和劑だらう、

◇―◇

久保田讓男の整然たる論理、山川健次郎男の細緻なる觀察、田健治郎男の大局論と共に政府の二大敵國だ、更に軍部方面を代表する河合操大將の（條約反對の强硬論者たる黑田長成侯、財政家たる荒井賢太郎及び水町袈裟六兩氏何れも一世の曉將揃ひだ、中にも水町氏は濱口首相の姻戚ではあるが私情のため公事を曲げるやうな人物ではない、從つて嚴正中立正論と見れば支持もしやうが時に政府に好意を持つ味方と安心出來る人などは殆ど一人もないわけだ、

◇―◇

ライオン首相をとりまく政府の巨頭連、[illegible]の江木鐵相や安達內相達「ヘナチ」と首をかしげる相手ばかりに憂色は永田町邊に漲つてゐる、政府對樞府の關係が今後どう進展するか、こじれた空氣がどう解決するか、舞臺は漸く面白くなつて來た【寫眞　右上から伊東、金子、河合、黑田、左上から田、水町、荒井、山川の諸氏】

第二遣外艦隊球磨入港

津田司令官（向つて左）と杉坂艦長

淮河附近で激戰
戰況は南軍が比較的優勢

【佐世保十三日發電通】青島發佐世保無電に依れば膠濟線方面の戰況は南北兩軍淮河附近にて激戰中にて南軍比較的優勢である、南軍左翼は既に淮河の上流を渡り右翼張復渠軍の一部も淮河の下流を渡り房子を占領せんとしてゐる

クルド族叛亂詳報

【テヘラン（ペルシヤ）十二日發電通】當地へ到着した旅行者の談に依ればクルド族の叛亂の爲めアフガニスタンのチョラートは事態益々險惡となりまたカンダールの市街は住民避難せるため人通り殆どなく氣味惡い靜寂に包まれてゐるペルシヤ國境は嚴重な交通遮斷が行はれてゐると

露支交涉
好轉か

【ハルビン特電十二日發】ロシヤ領事館に勞農政府からエムシヤノフ、理事ウオイトフ、カリーナ技師の歸還命令をして來たが拒絕したと白系露人は騷いでゐる、若し事實とすれば露支正式會議の好轉を示すものだと支那側は觀測してゐるが眞僞の程は不明である

勞農一流官商が
北滿に進出計畫
特產出廻期を機會に

ロシヤ貿易機關ゴストルグは相當大きな痛手を受けて以來前年の如きは北滿貨物に對し殆ど手を出さない狀態に陷つたがロシヤではこのゴストルグに代つて官商エキスポートフレブを進出せしめることゝなりその代表者ウヤルコフ氏は七月哈爾賓に到り目下支店開設の準備を急いでゐるといふ、同官商の活躍開始は十月の出廻り期からだがゴストルグの浦鹽輸出集中策をエキスポートフレブは東南兩行を取扱ひ大豆の南行は混合保管とせず大連に倉庫乃至適當な置場との希望なるも滿鐵としては混保制度を實施してゐる關係上その希望は滿たされまいと見られてゐる尙大連、奉天方面へも何れは支店を開設する意嚮だといふがゴストルグに代つたエキスポートフレブが活躍期に入つて果して南行貨物をも取扱ふかは甚だ疑問視されてゐる因にエキスポートフレブは十年前に設立された穀類の海外輸出機關であつて二千七百萬留の資本

勞農、露領樺太を
アメリカに讓渡說
期限九十九ケ年で

【ハルビン特電十二日發】ロシヤは外貨を必要としアメリカに對し九十九年の契約で露領樺太を割讓したと露人は傳へてゐる

會議所聯合大會
來月下旬長春で開く

來る九月廿六日から二日間長春において第十三回滿洲商工會議所聯合會が開催に付、主催地長春商工會議所から各地會議所宛十二日付左記通知狀を發した

一、提出議案は規則第十條により開會三週間前（九月五日）に又出席者氏名通知書は九月二十日までに當所に到達する樣御差出相成度候

二、議案整理に關する書記長會議は九月二十五日（聯合會開催前日）午後一時於當所開催致候條御出席相成樣御取計被下度候

三、第九回聯合會において委員附託となり當所に於いて具體案を作製し委員會に附議する事と相成居候滿洲邦人特產物商助成振興策に關し九月廿五日（聯合會開催前日）午前十時於當所委員會相開き度目下案の作成を急ぎ居候に付成案次第正式御通知申上可候へ共右豫め御含み置被下度此段申添候

緊縮標語の消印
滿洲各郵便局で準備

遞信局では曩に滿洲公私經濟緊縮委員會が懸賞募集した標語の內、左の五種を選び郵便日付印に挿入方手配中であつたが今回現品が出來上つたので、大連、沙河口、旅順、奉天、撫順、長春、安東縣等自働消印機使用局をして順次使用せしめることゝなつた

寸暇の聞みは一生の利益
豐かな貯金明るい人生
宴は短く情義は長く
今は緊縮やがて興國
贈答は無駄と無駄との鉢合せ

九州並中國地方及朝鮮
風水害義捐金募集

今次九州並中國地方及朝鮮に於ける大暴風雨は各地に稀有の慘禍を與へ多數の罹災者は苦熱灼くが如き炎天の下に住むに家なく食ふに糧なき悲慘なる狀態にして眞に同情に堪へず依て吾等相謀り左記に依り義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮て御贊成あらむことを

義捐金募集方法

一、義捐金は大連市役所に於て受付を爲す
二、義捐金は一口五拾錢以上とす
三、寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞に廣告し受領證に代ふ
四、募集締切期日は八月三十一日とす
五、義捐金の處分方法は發起人に御一任のこと

昭和五年七月二十九日

發起人（次第不同）

大連市長	田中千吉	滿洲日報社長	高柳保太郎
大連新聞社長	寶性確成	區長	松田清三郎
區長	小島鉦太郎	區長	野村宗
長崎縣人會副會長	立石保福	福岡縣人會長	村井啓太郎
鹿兒島縣人會長	上村哲彌	熊本縣人會長	竹田菅雄
佐賀縣人會長	辻慶太郎	宮崎縣人會長	佐藤至誠
沖繩縣人會長	玉城喜四郎	大分縣人會長	小田斌
山口縣人會幹事	藤田秀助		

內相に定期叙勳

【東京十二日發電通】十二日安達內相に對し左の如く定期叙勳の御沙汰があつた

內務大臣從三位勳二等　安達謙藏
叙勳一等授瑞寶章

旗艦球磨の
颯爽たる姿
昨日午後大連に入港
十五日旅順へ廻航

第二遣外艦隊旗艦球磨は豫定の如く十三日午後一時その颯爽たる姿を港外に現はしついで防波堤第一二浮標に繫留されたが、陸よりは羽出埠頭事務所長、關根關東廳運輸長、尾崎大連、飯島水上兩署長其他新聞通信社員等挨拶に向つたが

津田司令官 はサロンで語る

六月上旬に就任して今日まで山東方面の時局がゴタ〳〵してゐたので肝腎の本據地である大連旅順には御無沙汰してやつと魚雷その他の演習の都合でこちらに來たのでついでに十四、十五兩日の入港期間中民政署、市役所、滿鐵方面に顏つなぎに出かけやうと思つてゐる、そして旅順に廻航するのだが、大連には昨年本省の方から命ぜられて北平、天津方面を視察しての時通過した、殊に杉坂艦長は旅順に駐在してゐた事があるから知合も多い事だらう、何れにしても時局柄色々責任の重い仕事だから皆さんの御厚情にまつところが多いと思ふ何分よろしく貴紙を通じ在滿邦人に傳へて貰ひたい

滿鐵貨物
主任會議
十五六兩日開く

滿鐵々道部貨物主任者會議は愈々十五、十六兩日本社において開かれるが收入減の折柄とて議案や諮問事項も相當多數に上るもその多くは秘密にされ從つて會議も或程度までは秘密會議とされる模樣である、出席者は沿線より三十名餘、本部その他より二十名、合計五十名餘であるが職制改正後の第一回會議でありまた受難時代に際會しての會議であるので先づ現業方面より一致團結して減收對策に努力の意氣込みであるなほ夏季に入れば現業方面でも酷熱のため氣がゆるみ列車事故なども相當發生するが本年は例年にない緊張を見せてゐるので列車事故など殆ど皆無で本部方面ではこの努力を非常に賞揚してゐる

郵貯利下決定

【東京十二日發電通】郵便貯金利子引下げに關し十二日の閣議で左の如く決定した

一、郵便貯金利率は四分二厘（六厘利下げ）に引下げる
一、右は十月一日より實施す
一、据置貯金は同率（六厘引下げ）引下げる
一、植民地郵便貯金利率は之に準じて引下ぐ
一、十月一日以後の預金部貸付金利率は同率（六厘）の引下げをなす
一、既往貸付金に對しても出來るだけ其の利率引下を考慮す
一、右列記せる內未決定の分に就ては藏相、遞相、商相、農相、內相に依つて之を決定する

佛國下院では今回議員に各種法案の說明をするに當つて口でシャベるだけでは充分徹底しないとあつて映畫を應用する事になり下院の委員室に映寫機を取りつけたが▲衞生問題の法案の審議に當つた委員會は既にこゝで細菌の實寫をみたが更に海軍問題の委員會では艦艇備砲の技術的說明を映畫によつて聽いた▲尤もふるつた試みは公安秩序に害があるといふので警視廳の檢閱係ではねられた映畫を發禁問題に關する審議に當つてゐる議員諸君のお目にかけた事で議員諸君のはからひでこれ等の映畫は或ひは公開差支なしとの許可が出やうといふものだ▲學校に各種の學術講演に映畫が非常な効用をしてゐる今日議會に映畫が進出するのも不思議に及ばん事ながらその先鞭をつけたのは急進的な佛國の議會だ▲どうです日本の議會でも議員諸君の教育のために始めては

錢鈔

定期後場（單位錢）　寄付　高値　安値　大引
期近　[illegible]
出來高　期近八十一萬圓

現物後場（單位錢）　銀對金　銀對洋　金對洋
一時半　[illegible]
二時半　[illegible]
出來高　銀對金二萬圓　銀對洋一千圓

商品

後場　出來不申

東京株式（長期）　[illegible]
大阪株式　[illegible]
大阪綿糸　[illegible]
大阪期米　[illegible]
東京期米　[illegible]

滿日地方版

奉天

貸金返濟説諭や持逃げなど激增
悩まされる奉天署

不景氣の深刻化か最近金錢貸借關係による返濟方の説諭願、持逃げ搜査願ひ、保護願等毎日の如く數件も續發し奉天署でも之が整理處置に多忙を極めてゐるがその主なるものを擧げると左の通りである

◇

淀町十一番地露人(氏名不詳)に對し信濃町五番地衞藤章は十三圓四十四錢の品物を貸與し五月となつて七十錢を受取つたのみで殘金は再三催促するも返濟しないのみか却つて鉄を逆手に持つて脅しつける始末に手に負へず遂に其筋へ説諭願ひを出した

◇

平安北道生れ金義孫(二〇)は浪速通洗濯業福屋方に外交員として雇はれその後解雇されても得意先から洗濯物を持ち來るので之を仕上げて配達に出した處得意先には持ち行かずそのまゝ品物を持ち逃げたので目下所在搜査中である

◇

長崎縣壹岐郡生れ倉本すが(四一)は大正十一年二月無斷家出しその後同年四月奉天から一度便りがあつたのみ音信がないので所在搜査中であるが本人は相變人となつてゐると

◇

柳町松鶴抱藝妓立足靜子(二六)は病氣のため名古屋に歸郷し靜養してゐたがその後歸滿を促しても歸奉せぬのみか去月十九日轉居したまゝ行方不明となつたので搜査願ひを出した

◇

兵庫縣揖保郡小宅村メリヤス行商人中島仙太郎(二六)はメリヤス行商のため本年四月朝鮮に渡り各地を行商中資本なく金錢に窮し安東まで辿りついて職を探したが思ふ處なく意を決して安奉線を線路傳ひにテクリ八月九日着奉したしかし奉天においても全く之といふ職もなくその中無一文となつたので遂に十二日奉天署へ保護願ひに出た

缺食兒童の救濟策

缺食兒童救濟策として滿鐵當局は沿線における各小學校に對し貧困にして辨當持參し得ざるもの又は持參辨當が榮養不足にして給食を要するもの等の救護をなすべく學校給食することゝなり奉天各小學校に對しても來る十五日まで貧困兒童につき左記調査の上報告をなすやう命ずる處あつたがその數は相當多數に上る模樣である

一、家族の生活状態に就て
二、經歴は世帶主の經歴を概略記入すること
三、兒童の就學状況について
(イ)貧困にして辨當を持參し得ざるもの…氏名學年男女別
(ロ)辨當の榮養不足のもの…氏名學年男女別
(ハ)現在は辨當を持參するも將來給食を必要とする者の氏名學年男女別

醫療代の値下研究
奉天醫師會で

大連醫師會では時代に順應して藥價、診察料の値下げを斷行することに決定し奉天醫師會でも右同樣考慮中で來る九月七日の例會に於て之を提案し協議することゝなつてゐるが西田醫師會長は語る

値下げについては充分考慮する餘地があるとなし目下藥價につき調査中である、奉天の診察料は好況時代も現在も五十錢で左程高くはあるまいと思つてゐる藥價は大連に比し輸入税が約一割五分もかゝるのでこの點も調査研究しなければならぬが、出來るだけ一般患者の負擔を輕減することに努力する考へである何れ來月の例會には色々打合せがある筈であるから同席に於て何等かの具體的案が出來上るものと思つてゐる

全奉スポンヂ大會
廿四日擧行申込は十七日迄

奉天體育協會主催全奉天スポンヂ大會は廿四日午前九時から淺間町において擧行されるが出場希望者は十七日までに野田運動具店まで申込まれたいと尚主催會議は十七日午後八時半申込所にて開催の由

◇

豫て飲食店組合で申請し認可された麵類値下げは十二日からかけ十錢を九錢にして實行することになつた

人事

▲三宅關東軍參謀長　十一日過奉長春へ
▲錦織生氏(吉長鐵路局長)　十一日長春へ
▲慶大陸上競技部選手一行三十一名　十一日來奉

町の便り

市内春日町五番地福井光次は十一日午後二時頃中村某振り出しの約束手形(額面二千圓)を所持し春日町中村陶器店から市場正門通りを經て滿洲銀行に行く途中紛失したのでその筋へ屆け出た

◇

奉天驛管内中間驛長事務打合せ會は十一日午後一時から本溪湖倶樂部に於て開かれ種々打合せをなす處あつた

◇

ログと云つて知られてゐた奉天一の大犬は去る八月三日飼主なる江島町三番地林照榮方から姿を消したのでその筋へ搜査願ひを出したが同犬は目方十六貫あり兩耳を切られ短くされてゐた

瀋滴

柳町天狗の藝妓照也が「妾は藝業が嫌だから何とかして是非廢業さして下さい」前借千七百圓はそちのけにして實に虫の好い事を願ひ出で▲斡旋役の救世軍と當の警察を手古摺らし獸々をこねた揚句大連の實妹が前借の後始末を引受けてアッサリ足を洗ひ大連に引上げて行つた▲琴平町七番地カフエー鈴蘭の女給玲子(一七)も金物屋の色男と勝手な眞似をして妊娠しこれでも夫婦になれないなら死んであの世で添ひ遂げますとこれ亦勝手な注文を持ち出し猫いらずをあふつた▲照也の自廢も金のかゝらぬ獸々をこねとほしてどうやら成功、玲子の毒藥嚥下も命は助かるし今は晴れて夫婦の仲、生れ出る子供の處置に窮したものが一日も早くお芽出度をお待ち兼ねの有樣▲一寸した事ではあるが斯界の娘子軍女給連にとつては重大問題でそんなに容易に出來ることなら妾も妾も……▲とどつこい警察の目玉が光つてゐる社會の秩序を亂すやうなことがあればそれこそ思ひもよらぬ罪人となる▲だがく何ぼ籠の鳥でも智慧をしぼれば何とかならぬ世世の中でもないぜ

旅順の悩み(七)
一記者一

國際都市の施設

◎旅大は國際都市だと云ふ、或は國際都市たらしむべしと云ふ、これに對して未だ關東廳にも滿鐵にも反對論のあることを聞かない、然らば國際都市としての施設が完全に行はれてゐるかどうか、或は着々として進められてゐるかどうか。

◎道路も立派、並木も綺麗、殊に諸建築物は堂々たる石材や煉瓦で文化を誇り、少くとも形の上では斷然國際都市の名に恥ないけれども其建物のおかげで吾等在滿邦人は、障子一重に大自然と親み、新しい空氣と日光とを滿喫してゐた内地の生活から、一轉してロシヤ式の窓の少いそれも二重ガラスの家に疊を敷いて塵埃をうづまかせセツセと肺病を製造してご座る。

◎更に旅大住民の最大多數を占むる中國人に對しては、所謂内地延長主義とやらの國幹論で人情風俗の相異もおかまひなしに内地そのまゝの法規命令で縛つてゐる事が多い。

◎此頃も大連中國人の賭博類似の營業を取締るとか、中國人のみの倶樂部にも賭博類似の事は嚴禁するとか新聞に傳へられてゐるが、民國では上は軍閥の頭領より下は苦力に至る迄、賭博は最愛の樂しみの一であつて決して罪惡ではない。

◎苦力の天國小崗子の露天市場では、銅子兒で菓子を買ふにもくぢを引いたり玉をころがしたりして喜んでゐるではないか、子供等は錢の打つ付けつこを何よりの遊びとしてゐるではないか。

◎民國の大官紳商ほど日常手許に多額の現金を用意してゐる者は他國に其比を見ないと云ふ、信用して預金し得べき外國銀行が傍にあつても、彼等が相當額の現金を手許に必要とするのは他でもない賭博の爲めである。

◎租界内は絶對の安住地とされた上海や天津も近頃は大分不安住地となりつゝあるに拘らず、依然として多くの亡命客や富豪を惹き付けるのは、民國人として民國人らしい生活が出來るからではあるまいか、上海の競馬や犬の競馬(は一寸可笑しいが競犬では尚判り惡い)大デパートメントストアの各種娛樂設備等の繁榮振りは實に大したものではないか。

◎歐米式に完備した上海の三四の映畫館が歐米の映畫やニュース物を上演してゐながら、觀客の大多數は民國の紳士子女である事も見逃してはならない。

◎顧みて旅大兩市を通じ、最大多數の住民たる民國人に對し、民國人の爲の施設や設備が果してどれだけあるか。

撫順

州外相撲大會
百餘名の猛者を蒐め 來月七日擧行の豫定

撫順相撲協會主催で九月七日第一回州外相撲大會が擧行される、參加力士は百有餘名、撫順、安東はまづ二チームを、奉天また醫大軍、四平街等參加し未曾有の盛況を呈する筈である、右は十一日夜の相撲協會及び同關係者會議の結果決定したもので目下夫々準備中である

撫順軍惜敗
對同志社柔道戰

關西武道界の梟雄同志社大學軍と撫順柔道部の肉彈相搏つ大接戰は十二日午後三時半より奉天の館岡六段審判裡に紅白試合が行はれたが、撫順軍の立技に對し同志社軍の寢わざ功を奏し大將黒川の不戰者を殘して同志社軍辛勝した闘戰五時半その經過次の如し

(○印勝、×印分、△印負)
(一級)松口○―△上田千(一級)
(一級)松口△―○石田(一級)
(一級)佐土原×―×石田(一級)
(一級)上田×―×上田(一級)
(初段)高橋○―△河合(初段)
(初段)清水×―×永谷(初段)
(初段)大板×―×金岡(初段)
(初段)池邊△―○森田(初段)
(初段)山口×―×綱島(二段)
(二段)大串△―○二宮(二段)
(二段)阿萬○―△二宮(二段)
(二段)練山△―○木下(二段)
(二段)練山×―×木下(二段)
(三段)三雲×―×福見(二段)
(大將)(不戰)黒川(三段大將)

東郷、庶務の兩チーム 愈々けふ決勝戰
全撫體育ボール大會

吾が社主催來る二十四日奉天において行はれる體育ボール大會出場豫選を兼ねたオール撫順體育ボール大會は十一日午後四時より中央事務横コートにおいて梅田、中島林田等の各氏交々審判裡に出場選手九十人、華々しく行はれたが東郷及び庶務の二チーム二勝優勝候補となつたが日沒のため決勝戰は今十四日行ふ事とし六時四十分終了した、尚全滿鐵體育ボール大會へ撫順よりの出場チームは前記東郷、庶務の二チームと今一チーム計三チームである、當日の試合經過次の如し

第一回戰

A	楊柏堡	二―零	運輸
B	庶務	二―零	大山A
C	東郷	二―零	工務
D	經理	零―二	大山B
E	老虎臺	二―一	青年團

第二回戰

東郷	二―零	楊柏堡
庶務	二―一	老虎臺
撫順		同志社

不都合な愛輪タクシー 嚴罰に處されん
運轉手等三名も過失致死罪に 森内投手轢殺事件關係者處罰

去る六日午前零時三分撫順野球部森内投手を轢殺した事件發生以來撫順署司法係では事件を重大視し各關係者を連日喚問嚴重取調中の處 十二日取調べ漸く一段落したが撫三〇號を運轉せる無免許運轉手王家賢、電氣機關車運轉手何裕憲、踏切番劉文の三名とも業務上當然の注意を缺きし事明瞭となり何れも業務上過失傷害致死として送局に決定した、尚愛輪タクシーは本年六月以降數度の警告をも肯ぜず無免許運轉手をして連續的に乘客自動車を運轉せしめつゝあつた事暴露し自動車營業取締規則違反として輕くて營業停止乃至營業取消の嚴罰に處せらるゝ如くである

古城子で爆發物盜難
採炭所内部に連累者?

炭礦部古城子採炭所は近來秘密主義を執りすぎると非難の的となつてゐる、七月二十三日午前四時三十分古城子露天掘第三エンドレス附近に貯藏せる鑿岩用の硝安火藥四十五グラム包八十六個及び電氣雷管五十六個、その他導火線數十米突と云ふ物騷極まる盜難に逢ひながら報告、屆け出は勿論せず、何等の善後策も講じなかつたこと暴露し大問題となり十二日正午古城子採炭所粉土係りの責任者桑村某その他は警察の取調を受けてゐたが、前記火藥を窃取されたる個所はすぐ近くに見張番も居り、而かも約二十日間も秘密裡に葬り去られてゐたのは内部從業員と連絡あるに非ずやと奇怪視せられてゐる

死體を遺して遁走す
六人組匪賊

十三日午後七時十分頃南昌洋行露天掘事務所前にて長銃二挺拳銃四挺所持の六名組強盜を特別警戒中の撫順署丁巡捕の一行が發見、約四十分に亘り交戰し遂に賊の一名を射殺、急報に接した撫順署では寺田署長以下雨を衝いて總出動したので賊徒は死體を遺棄して[illegible]毛部落方面に逃走した

瓦房店

最後の奮戰奏功 凱歌再び金州軍に
州内北部庭球リーグ戰

十日普蘭店驛コートにおいて金州、貔子窩、普蘭店の三チームは本社寄贈優勝旗の爭奪戰を擧行した、前年の優勝者金州軍より優勝旗の返還あり本社瓦房店支局長及び普蘭店民政支署長池田公雄氏より一場の挨拶ありて午前十時より試合を開始、この日貔子窩より署長以下四十餘名の應援團來着し金州よりは本丸氏外三十餘名普蘭店は地元の事とて署長外多數の應援ありて應援旗をおしたて中々の熱中振であつた、第一回は金州、貔子窩の對戰にて金州軍の勝となり、第二回は貔子窩、普蘭店の戰にて貔軍よく戰ひしが惜敗、第三回は金州、普蘭店の對戰にて五組までは兩軍同點なりしが最後二組にて勝敗は決せられ金州軍に凱歌上る、優勝旗授與、經過左の如し【寫眞は優勝旗授與、向つて左より普蘭店、金州、貔子窩】

第一回戰

貔子窩軍		金州軍
池端・久保	○―四	竹氏・藤原
井上・井上	四―○	池下・藤井
山口・堀	四―一	中村・楠美
木曾我部・長須	一―四	高見・川人
米村・下川	一―四	中原・阪成
成島・瀧口	四―一	太田・青山
二見・一三	一―四	辰田・鹽田
十五點	對	十八點

第二回戰

貔子窩軍		普蘭店軍
木曾我部・長須	四―一	山路・石森
井上・井上	二―四	孫・高橋
山口・堀	三―四	一尺八寸・市川
二見・一三	四―三	林・鈴木
田中・張	○―四	梅本・川端
成島・瀧口	三―四	西川・中川
米村・下川	四―三	町田・山元
二十點	對	二十三點

第三回戰

普蘭店軍		金州軍
梅本・川端	一―四	中村・楠美
西川・中川	二―四	竹氏・藤原
山路・石森	三―四	中原・阪成
一尺八寸・市川	四―○	太田・青山
孫・高橋	四―二	辰田・鹽田
町田・山元	○―四	高見・川人
林・鈴木	○―一	池下・藤井
十四點	對	十九點

東大尉十五日出發

獨立守備隊第二大隊第二中隊長東大尉は既報の如く臨時第二十四聯隊に榮轉、來る十五日十八時四十分發列車にて赴任の途に就く事と決定した、尚大垣庶務課長、寺田署長、田村憲兵隊長、山口鄕軍分隊長、寺西滿委員長、中島協會長窪田老等發起人となり記念品を贈ることになつゐる

長春

講習會二ツ

長春社會係主催で十五日ウイルミナ女學院教頭西野貞子女史の「文化の叫び」と題する講演會十七日夜成城學校玉川學園主事小原國芳氏の「家庭教育の實際」と題する講演會が開かれるが場所は滿鐵倶樂部の豫定

お名殘の水泳大會
十五日西公園プールで

西公園プールは毎日輝々の繁昌であるが、閉場期間が近づいて來たので社會係では來る十五日の金曜日同所で水泳大會を開催する事に決定した、競技は二十米、三十米五十米であると、因に餘興もある由

長春署の精勤者
證書を授與

長春署では十二日午前八時半から樓上で左記十名に對し署員全部參集し嚴粛に精勤證書の授與式を行つた

德永清△佐藤源太郎△池水喜一△鵜木親雄△門脇喜三郎△川添忠次郎△甲斐大三郎△園田國太郎△松木賢次郎△山野内久

合同キャンプ

長春健兒團では十三日から向ふ一週間西公園において鐵嶺哈爾賓台同のキャンプ生活を實施すると

西山は窃盜常習

數日前池田司法刑事の手に逮捕された原籍熊本縣飽託郡生れ住所不定無職西山一雄事西山眞男(三〇)は目下取調中であるが、窃盜前科三犯あり、安東では數百圓の窃盜を働いたものらしく十二日朝安東署より司法刑事一名來長し引續き嚴重取調中

鐵嶺

民會議員の任期
◇二ケ年に變更さる◇

豫て懸案中であつた鐵嶺居留民會規則の改正は民會において改正案を協議し領事館に申請中の處八月五日附を以て十二日に館令で發表された、改正規則は第四條を始めとして一部分に過ぎないが主要點は、從來民會議員の任期一ケ年を二ケ年とした事である、新規則は公布の日より實施される筈であるから來年三月の民會議員改選は行はれぬ事となり今後は商議、地方委員同樣二ケ年目に一度づゝ改選となる譯である

簡閲點呼終了
成績頗る良好

鐵嶺管内の本年度の簡閲點呼は十二日午前八時半より小學校において高木中佐執行官となつて行はれたるが應召者六十一名のうち入院中の一名を除き六十名出席一人の遲參もなく既教育四十一名、未教育十九名二班に分れて點檢、動作及び講話であつたが何れも優秀の成績を示して執行官から賞讚された

營口

附屬地附近に多數の馬賊現る
公安局の討伐隊出動

數日以來三家子及侯家油房を荒した六十餘名より成る馬賊の一團は漸次南下して今や營口附屬地附近の高粱畑に移動し來り十六日夜は露國人墓地東方の畑中に夜を明かしたるものゝ如く新市街を距る僅かに十五六丁餘の競馬場附近の大和莊屯、崔家窩房、大川心甸等に出沒し危險極まりない、牛家屯公安分局では本局に對し即時討伐隊の派遣を請ひ既に本局より同方面に向け多數の騎馬巡警隊出動した

俄に激增 驛の乘降客
支那鐵道不通で

營口驛の乘降客數は鐵安と支那鐵道當局の活躍によりて大影響を蒙り一日平均僅かに乘客五百八十名降客五名に過ぎざりしが、降雨にて支那鐵道の不通により乘降客一躍二千餘名に達し、同鐵道の開通までには尚此現象をつゞくべしと貨物方面に於ても同一現象をあらはすべき筈なるも差したる增加なきは洪水の爲各地に於て荷動きの停止によるものにて、之を以て直に支那鐵道貨物の輸送がさまで增加したるものにあらずと樂觀するは早計であると

小學同窓會盛況

營口小學校同窓會は十日午後零時から同校講堂に於て開會、會員及來賓七十餘名の來會者あり各種の餘興に次で各自懷舊談に耽り散會であつた

兒童暑休終了

開原小學兒童等が樂しんだ夏休みも愈々十五日で終り十六日は全校兒童が登校して始業式を行ひ十八日から授業が始まると

國勢調査打合會

開原警察署樓上講堂において十三の兩日午前九時より國勢調査委員を召集し行政警察部補講師となり打合並びに訓練を行つたと

高橋主事出連

高橋消費組合主事は大連において開催の主事會議に出席のため十四日出連すると

貔子窩

赤痢十餘名
警察官舍の清潔檢査

昨今の炎天續きに赤痢患者十餘名内五名の入院患者を出し大部分は警察官吏の家族であるがこれが豫防と根絕のため警察官舍の清潔檢査を十三日より十五日までの豫定で實施してゐる

警務對總務野球戰
同點で無勝負

十一日の豫定であつた警務對總務課の野球は十二日貔子窩公園で行はれたが十六對十六の同點で無勝負となつたと

精勤證書授與
警官十二名

當署警務課では十一日午前九時より近藤巡査外七名巡捕五名に精勤證書授與式をなした

鞍山

煙草立毛授賞
鞍山は六名

鞍山瓦房店間の煙草立毛品評會は十日完了し熊岳城溫泉において審査結果を發表し夫々賞品授與されたが鞍山の成績は頗る良好にて入賞者左の如し

△一等平田勇吉△二等康春星△三等細川磯吉△平野健太郎△四等杉野與次郎△田中吉助

秋季大運動會打合會

全鞍山秋期大運動會は九月二十八日井々寮横陸上競技運動場において開催せられるが本年は體育協會も成立し運動競技も極めて組織的となつたので、來る十六日午後一時より製鐵所應接室において各方面有志及び體育協會役員會を開催し諸般の協議をなすと

スポンヂ戰主將會議

體育協會スポンヂ野球部では近く全鞍山優勝戰を行ふので十三日正午より製鐵所應接室において主將會議を開催した

小原氏講演

東京成城學校長兼玉川學園主事小原國芳氏は十二日來鞍し社會係主催にて午後七時三十分より實業會館公會堂において一般のため家庭教育の實際、少青年期の教育等に就き講演した聽講者多數で盛況

四平街

四洮線の復舊工事進捗

過般來の豪雨で四洮線郭家屯玻璃山間浸水し列車の運轉不能に陷り旅客は徒步連絡に多大の困難をせしは既報の如くであるが、其の後之れが復舊工事に全力を傾注せし結果遲くも十四日には復舊通車し得る見込である

馬賊頻に出沒

昨今當附屬地外四洮鐵路局附近に馬賊の出沒頻繁にして同局公館の人々に著るしく脅威を與へるのであつたが、愈々同局考工課に於て之れが豫防對策について協議中であつたが、高級公館にはそれぞく警報ベルを取りつけ馬賊來襲に備へることゝなつた

市民協會の役員會

四平街市民協會は十四日午後八時三十分より協會事務所に役員會を招集左記につき協議會開催の筈

一、昭和製鋼所滿洲設置贊否の件
一、土地貸付料金値下に關する件
一、市場經營計畫に關する件
一、諸物價值下に關する件
一、町名改正に關する件

開原

四巡査に精勤證書授與

開原警察署にては十二日午前八時同署講堂において山部大藏、浪越藤一、光增俊晴、宮崎智文の四巡査に對し精勤證書授與式を擧行

本溪湖

壯烈な武道試合
滿鐵道場の土用稽古納會

本溪湖滿鐵道場に於ける本年度の土用稽古納會は十一日午後一時より盛大に擧行された、試合は少年組の劍道より始まり三十餘名の柔劍士に紅一點の少女劍士をも交へての熱戰に參觀者の血を湧かした試合終つて賞品授與、植田警察署長の挨拶を以て會を閉ぢたが當日の受賞者左の如し

劍道部
△一等白井△二等王丸△三等山名△四等淵出△五等柳田

柔道部
△一等有馬△二等藤本△三等國武△四等北川

尚今後も引續き毎日午後六時より滿鐵道場にて柔劍道の練習をなすと

中間驛長打合

本溪湖地方事務所の主催に關する管内中間驛長打合會は十一日午後一時より滿鐵クラブにおいて開催、歪頭山より祁家堡までの中間驛長を網羅した他、關係方面よりも出席、協議する所があつた、當日の協議事項左の如し

△集會所に關する事項△社宅に關する事項△戶籍に關する事項△衞生に關する事項△土地建物に關する事項△其他一般事項

小山氏講演

念佛軍曹として有名な小山龜太郎氏の信仰講演會は十日午後七時より小學校講堂において開催、守備隊を始め聽衆多數參會、十一日午前十一時よりは西本願寺においても同樣講演を行つた

天津

吾等の町を語る
塘沽と併合必要
天津大貿易港完成のため
新行政委員會長 臼井忠三氏談 (五)

北平は今や反蔣聯合軍の旗色のよきと共に、再び北京の名を復し得可きかにも見ゆる、併し乍ら北平は四百餘州の政治の中心首都たり得ると否とに拘らず、其教育文化の都としては、今既に儼として民國の首都に外ならぬのである、歴代數百年、四百餘州に君臨した北京首都の文化が、清朝末期に於ける其思想界及び政治界の墮落頽廢と共に、今や形態の上からは見る影もなく凋落して、西山一帶の宏壯なる大伽藍の日々に荒廢し行くさまは、徒に往昔の盛時を偲ばしむるのみに過ぎぬやうだが、數百年培はれた文化の流れは涸盡きたのではない

民國創造の數年前から、泰西の文化に刺戟された新しき老大國の新文化は、此古き流れの中から芽生え來つたのである、民國十有九年にして、今や北平の内外に開設されたる大學校の數は十指を屈するにちかい、滿市劍戟を帶ぶるものゝ濶歩するありて、武斷時を想はする北平の西北、降佛寺街の一角には、數千坪の地域を劃して現に平民大學が其工事を急いで居る、南方支那が上滑りの新思想と新文化の形式だけに走つて政治に、教育に、社會組織に徒らに急を追ふ時、北方支那は尚多くの因襲の軍閥財閥の天下として、之を淺薄なる觀察眼からは見逃すであらうが、教育の都北平には幾萬の

青年子女が、日夜孜々として學んで居る、第二民國を形成する彼等の搖籃の地が北平である事は刮目して見ねばなるまい。斯の如くにして、政治の首都北京を失ひたりとも、北平の前途は教育文化の都として其の運命は悠久である、貴社が望まれたる「吾等の町天津」を語るには、私は餘りに日本人を離れ過ぎたかも知れぬ。乍併天津、北平を語るに、其日本人の存在は餘りにも小さくみじめだ、二十年近き内亂の餘波は、小さなる力弱き日本人を飜弄し盡して吾等は今、全く氣息奄々である在留三十年營々として築き上げた可憐なる在留民の地盤は、今や世界的不況の大波に、將に此地盤を洗ひ去られんとして居る、而も國を擧げて母國の朝野は、國難來の叫びに、先づ各自の足元に注目するのみか、然らざれば徒らに政權の爭奪に狂奔するものゝみ、遂に

海外發展の遠大なる畫策に眼を馳するものは寥々たるの有樣である、然りと雖も吾等は徒らに失望してはならぬ、吾等が大天津の前途の洋々たる、上來説く處の如くである、如何にしても、あらゆる艱苦に堪え、堅忍不拔吾等も亦大天津の建設完成に精進するの大勇猛心を堅く〱有たねばさらぬ。然るに多年權威居留地の讃辭に浴した、吾が居留民の集團的生活の内情は悲しむべきものがある、此三四年來徒らに平地に波瀾を捲き起さして、村政々權の爭奪の爲めには醜状を極め、さらでだに不況に泣くものが、更に不生產的の奔命に疲るゝもの夥しとせない、家貧しうして孝子出でず、放蕩兒續出の悲運とも云ひ得よう、之を語るは私の餘りに愧かしく忍び得ない處である(完)

不景氣物語 (六)

喫煙黨も大いに緊縮

▼…濱口首相が未だ大藏大臣の時代、煙草の値上理由を反對黨の人から詰問されたとき正直な濱口氏は「これは贅澤品で人間は煙草を喫はなくとも死ぬものでない」と答辯したことは有名である、禁煙家から觀れば其の通りで、否むしろ煙草が人體に有毒であることは科學者の説明を聞かなくとも誰もが知つてゐるが、さて……作業後一服の煙草がどれだけの身體を息め如何に能率を增進させることか、また朝床を離れる前に先づ煙草一服などの醍醐味などは到底煙草嫌ひの想像し得ざるところであつて、嗜好品といふよりはこれ等の人々にはむしろ生活必需品と云つても敢て過言でない

▼…その煙草でさへ今日この頃の不景氣や緊縮が響いて賣行の減收を來たし、政府當局はこれが埋合せのためとあつて煙草元賣捌制度を廢止し、これを政府の手によつて經營しやうと決定したのだから世の中に不景氣ほど偉大な力を有するものはない、今こゝに其の營業成績なるものを見ると、量的には不良どころか人口增加に正比例して需要は少しづゝ膨脹してゐるが、昨年度あたりまでは其の增加率が年二割四五分であつたのが昭和四年度は僅かに九分といふ成績である。

▼…大阪專賣局管內に於ける最近一ケ年間の數字を拾つて見ると口付が百六十二億七十二萬餘本で前年に比し五億千八百九萬本を減少し、兩切の方は百二十五億七千五百七十一萬本で前年よりは十億八千七百二十七萬本と約一割の增加である、即ち敷島、朝日黨が嗜味經濟の兩道でバツト其他の兩切に肩換はりしたものである、次ぎに賣上額から見ると、敷島、朝日の口付一億千百五十七萬二千餘圓で前年より六百十三萬餘圓の減收を示し、バツト、スター等の兩切は七千九百五十二萬三千餘圓で七百三萬餘圓の增收である。

▼…右の外に年々需要が漸減するのは刻煙草で二十四萬圓の減收であつたから、結局數量を多く出しても金額に於いて大差ない結果を見せてゐる、更に品種別にすると兩切はバツトが七十パーセント價格五千五百萬圓、口付は其の大部分が朝日と敷島で前者が六割後者が四割と從來とは反對の比率になつた、これも不景氣の生んだ新現象である。

酒藏に張る蜘蛛の巣

政府は千六百萬圓の大減收

▼…昔から我國の風習として冠婚葬祭に酒、また成功しては祝杯、失敗しては自暴酒と兎角我國民には附物であるが、節約の宣傳が利いたのか、それとも不況のドン底に喘ぐ多數失業者がもう自暴酒をあふるだけの餘裕さえないまでに窮迫したものか昨年の消費高は前年に比較してうんと減つたゝめ、本年の全國讓造高は一割方の減少で、殊に京阪神を中心とした關西地方に特に賣行きが悪い

▼…この原因は全く不景氣の祟りと、一つはビール、洋酒の躍進にもあるらしいが、現に角全國酒造高の一割を醸造するといふ酒都灘五郷の今日この頃、酒藏に蜘蛛の巣の張つたものが百棟近くあるといふ、賣行きは悪るい、揖は集らぬ、おまけに賣値を引下げねばならぬなど銘酒王國も火が消えたやう對策について頭を惱ませてゐる、某大酒造家の如き十數萬圓を投じ酒藏新築披露の名目で十日間に亘り全國の取引先や關西知名の士を招待して大園遊會を試み、不景氣を吹き飛ばしてこの難局を打開し大いに活躍すべく目下準備中であつたが他家へ氣兼ねして遂に沙汰やみになつたとか

▼…それにしても政府の消費節約緊縮宣傳のおかげで、日本一の納税額を持つ西ノ宮税務署だけでもこの本年の新酒造石高七萬六千餘石減で、三百五萬二十餘圓減收した、全國では前年よりも四十一萬八千餘石減じてゐるから千六百七十二萬餘圓の酒造税がフイになつたわけである

醫療の合理化 (上)

在東京　山田生

◇風の便りに據れば、嘗て大連病院の醫療藥價値下げ追隨に反對した大連醫師會は、其後その値下げを行ふ事に決したさうだが、內地では今や醫療合理化の聲が高くなつて來た。何でも彼でも合理化と言はねば時代的でないと考へてゐると見へ、醫療にまでも合理化の名を附けたのであらうが、その合理化なるものは醫療藥價の値下げ、貧困者への減額診療或は無料診療實費診療などで、多年の問題たる醫藥分業にまでは突進し得ないものと考へられる。

◇內務省衞生局が各府縣における官公立病院の醫療藥價値下げを斷行せしめんとした時、大連醫師會が公立大連病院の醫療藥價値下げに反對したるが如く、日本醫師會は鋭い鼻息を以つて之が反對を聲明した。だが日本醫師會はそれと同時に醫療の合理化を叫び、經濟的負擔能力に乏しい患者の減額診療券の發行をほのめかし、値下げ反對によつて起るべき社會的非難の豫防線とした。官公立病院と開業醫との利害の衝突はこゝにも展開されたのである。

◇日本醫師會が官公立病院の醫療藥價値上げに反對したのは、これが一般開業醫に追隨を餘儀なくせしむるからであるが、それにも拘らず、府縣の公立病院の中には早く既に値下げを斷行した者があり、地方醫師會の中にも幾割かの値下げを行つた者があつた。それと相俟つて、醫療合理化の聲は次第に昂まり來り、一部町村會では町村營の實費診療所を設けやうといふ氣勢が强くなつて來た。そのトツプを切つたものか何うかは知らないが、東京府北多摩郡代々幡町の町會では、實費診療所設立豫算案一萬七百六十餘圓を滿場一致で難なく通過せしめた。

新刊紹介

▲增補新刊滿蒙日本人紳士錄（附滿蒙銀行會社要覽滿洲日報社編）本著は昨年滿洲日報社によつて編輯されたもので更にその後の民官の異動による滿鐵の異動を精査增補し卷尾に附して發行したものである、收める所三千五百餘名會社銀行約七百有餘件公私人の生活內容を知り滿蒙を中心に活躍する人を知るには絕好の著である滿蒙日本人の個人的歷史として亦は社交上事案上の好參考書として一般人士に必携を奬めたい快著である、尙ほ卷頭には「滿蒙日本人發展小史」の快文を掲げて小書刊行に至るまでの滿蒙發展の情勢を簡明に記錄してゐる（六百五十頁塗藥版の大册定價一圓八十錢大連滿洲日報社發行）

時の人

横顔を描く (二)

濱口さんの素描 (下)

「ライオン」の異名をとつた濱口さんの顏は上から見ても下から仰いでも、位置を替へて横から眺めても、決して夏向きの顏ぢやない。

太い眉毛、落ち込んだ眼、どつかと座つた凄い獅子鼻、ベラボーに太くて廣くて、一向にしまりのない口髭、どれをとつて見ても暑苦しい。

◇―◇

しかし、濱口さんの顏には無駄なところは無い。何事につけても無駄のないのは彼の一番の特徴だ。この間の總選擧の時に、演説をトーキーに吹き込んだが、その演説も八分は八分と決められた時間に、キチンと濟ませる。長くもなければ短くもない。

あまり正確なので、その理由を聞くと濱口さん、

「我輩の演説は、一分間百九十八語から、二百十六語とチヤンと定まつてゐます、秘書官に命じて統計をとらしてあります、ですから定められた時間だけ、キチンと喋るのです」

と濟まして答へた。

◇―◇

濱口さんには無駄はないが、その代り味もない。顏を見ても其の通りだ。キチンと凝く出來てゐるが、何處を探してもユーモラスなところは更にない。

第一、滅多に笑はない。よつぽど可笑しい時には僅に口をゆがめて、大きな口髭の下でかすかにウフフ……」とやる。

議會での首相の答辯を聞いても如何にも味がない。豫じめ打ち合せた答辯の文句をそのまゝ何度も繰返すだけだ。その點は故田中義一大將と同じだが、しかし田中大將のやうな危な氣はない。

◇―◇

正面構へから見た濱口さんの神經は荒繩のやうに太さうだ。が、案外さうでないらしいところがある緊縮のやり方を見ても、扇風器はいけない、自動車は取り上げろ、電燈を小さくする、といつた具合に、見やうによつてはヒステリツクに見えることさへある。

だが、萬事此の調子で、多少行過ぎの感じはあつても、危なつかしいところは割合に少ない。此點を總理の顏の中で最もよく證明してゐるのは偉大な獅子鼻の座り方だ。

天を仰いで鐵壁したところは、チヨコでも動かぬといつた恰好だ。

◇―◇

濱口さんの歩きつぷりを見ると尙更この感じを深くする。一分間に二、三歩しか歩くまいと思はれるやうな足取でノツソリ〱と一歩々々踏みしめて歩く。あれでは滅多に轉ぶやうなことはあるまい。

◇―◇

が、それにも拘らず、濱口さんは組閣間もなく官吏減俸案で泥をつけた、何故あんなヘマをやつたか？

なるほど歩調はゆつくりして危なげはないが、一本氣な濱口さんゆとりのない濱口さんには行く手の的ばかり睨んでゐて、足許の小石に氣がつかないことがある。

小石に躓いて轉ぶくらゐなことは、元氣な若者には何でもないがそれが若し老人だつたら、それが原因で頓死しないとも限らぬ。減俸案の失敗は組閣匆々であつたから、あれで濟んだ。しかし、今もしも、あの失敗をやつたとしたらなか〱さう簡單に濟まないかも知れない。

正直で一本氣な濱口さんは、もうゆとりし、世間を知る必要があるらしい。（東京支社一記者）

八相

投書歡迎（中傷を目的とするものは採らず）（原稿行數五十行以內のこと）

少年の私から

勝啓生

私は渡滿したばかりの小さき少年ですが、こちらの散髮料の高い事には一驚致しました。內地の二倍も取りますからね、なぜ大連市民は値下運動をしな、だらうか內地はあんなに安く、そしてまだ下るといつて居るのに、こちらは內地より不景氣でないのだらうか？早く大連の市民が自覺して値下運動をして貰ひ度いとこんな小さい僕まで思つてゐます、もう一つはこちらの婦人方は一寸、用達し又は遊びに行くにもう馬車なり人力車なりに乘つて參ります、そんな所へ使ふ金がありましたら、九州或は朝鮮の兒童の鉛筆代にでもしてやつて貰ひ度いものです

秀水生に與ふ

三木生

去る九日の八相欄で町名の改正と題する、一文を一讀した、その意味が瞭りしないけれども、要するに日露戰役當時の大將達の名を町名に冠する事が、支那側に對する思惑上面白く無いから時代思想の推移に伴ひ、然るべき町名に改正せよと云ふ趣意らしい、然し考へても見給へ、町名を改正しても租借地と云ふ現實が消へる譯けではない、且つ亦區々たる町名の改正位で感情の緩和が出來るものでも無い、荀くも支那と云ふものを少しでも研究して居るものから見ると、そんな問題は滑稽の沙汰である、地名の如きは時代推移するとも、矢鱈に改正すべき性質のものではない、再考を望む

海邊ドレス パリで流行のビーチコスチユームの一つ、純白の上着、眞紅のズボンにマツチングハツトといふウルトラモダーンのクレープパジヤマである、どうですこんなのをこしらへて見るモダーンガールはありませんか

耳―に水が入つたら…？
海水浴で 「注意をしなければならぬこと」

海水浴に 行つて中耳炎に罹る人が少くありません、水浴の時に注意せねばならぬのはかつて耳を患つた人殊に醫者から鼓膜に穴があいてゐると注意された人である。こんな人は水浴に限らず、風呂、洗面の時も決して水を耳に入れぬやうにしなければいけません。水が入れば必ず中耳炎を起します。鼓膜に傷のない人は耳に水が入つたからとて何でもありません、耳を下に傾けて耳たぶのはしを引つ張つて穴を大きくし頭をふれば水は出てしまひます。しかし

傷のない 人でも安心は出來ません飛込んだ刹那、平手でシタヽカぶたれた時位の壓迫を外聽道の中にある空氣に與へますから氣壓に變化を起し鼓膜が破れ水が入り、中耳炎を起すことがあります。また、水を潜ることもいけません。で水泳の時は潜つても飛んでも大丈夫のやうに外聽道にフタをしておくことです。百貨店などで賣つてゐる粘土で作つたのでもいゝですが、普通の綿をつめ、ピンツケを塗り込んでおけば大丈夫です

脱脂綿だ けでは水がシミ込んで來てあまり効果はありません。また、水を飲んでむせる時鼻孔の後の歐氏管を通つて浸入して行つて中耳炎を起すこともあります。これは特に注意せねばなりません。なぜ水がはいつて中耳炎を起すか、水そのものにも黴菌はゐますが、外聽道、口腔、鼻孔には無數の黴菌がゐます。それを水と一緒に運び込むからです

夏から秋への 養鷄の注意（二）
定森幹哉

綠餌の給與

殊に青物の給與如何に依つては鷄の健康保持及産卵の數に影響する事は言ふ迄もなくこれを怠る時は青色の便を出すもの、水を澤山飲んで水瀉便をするもの、冠尾を紫黒色に變ずるもの等何れも綠餌の不足より生ずるものである。四五日青菜の給與を怠る時は必ず冠尾を紫黒色に變ずるものを見受ける、之は他の餌料にも多く青菜の不足のものが多い、更に夏は菜類の手に入り難い時であるからこういふ時は野山の雜草を代用するをよしとする、殊にアカシヤの葉、芝生の新芽、野生のアカザ等は良い、其内アカザは多少の臭味が有るので一度熱湯に通して與へると宜敷い、又一層雜草を煎じて其の煎汁を飲むのも惡くない、尚亦海邊では海の藻類等結構である、現今日本内地では之を乾燥して多量の綠餌として盛に給與してゐる様である。

飼料の配合

飼料の價の比較的安い時期である陽春の産卵期には飼料の配合に依つて抑制休産せしめ夏秋の高價な時節に貴産卵せしめると云ふ人が有る様であるが一九三〇年の尖端時代には産卵も超スピードを以つて其の尖端を行くべきであらう、現時一ケ年三〇〇の産卵は朝飯前の茶飯事であつて春の産卵を抑制せしむるまでもなく晝夜兼行で産卵せしむべきである、

七月から八月にかけての休産の原因は何であるかといふとそれは暑さのためで、殊に糟糠類は餌器の中に殘留せしめる事が多くなる若し食慾が減退して殘すものが出來る時は其の材料を良く調べて次回からは之を減じ良く食ふものだけを與へる様にする、即ちこの場合は夏季飼料配合中に一定の比例を用ひず選擇給與法に依るを以つて利とする、夏季は餌さへ充分に攝取すれば産卵は引續いて相當の利益を見る事が出來る、

餌の攝取が不充分なる時は必ず換羽を早める衰弱鷄が出て來る、その衰弱鷄は日増しに度を増しますぐ〳〵肉は落ちて遂に斃れてしまふ、

けふのラヂオ
實用支那語會話
滿鐵興務課 秩父固太郎

第五十二課

1 您吃乾飯麽
2 我 稀飯
3 這是小米兒粥
4 那更好
5 您吃[illegible]米麽
6 怎麼吃不來吃
7 裡頭有綠豆
8 吃這個可以去熱
9 都那麽說
10 比大米粥好的多
11 請嘗鹹菜
12 您別張羅
13 這個醬蘿蔔好
14 我吃醃黄瓜
15 擱點兒醋麽
16 不用了，謝謝
17 您沒吃飽罷
18 再不能吃了
19 您請寛坐
20 您慢用

譯文

1 貴方は普通の御飯を上りますか
2 私は粥が欲しう御座ゐます
3 これは粟の粥ですよ
4 それは尚更結構です
5 貴方[illegible]れますか
6 何で頂けぬ事が有りませうか
7 中に綠豆が這入つて居ます
8 これを喰ると暑氣を拂ひます
9 皆そう申しますね
10 米の粥よりもズツト好いです
11 何卒漬物を御上り下さい
12 貴方お構ひ下さるな
13 この味噌漬の大根が好いです
14 私は黄瓜の漬物を戴きます
15 酢を入れますか
16 入りません、有難う
17 貴方は十分に上がつて居ないでせう
18 もう戴けません
19 貴方御自由にしていらしつて下さい
20 貴方御緩り召上れ

（新字）稀。米。綠。豆。鹹。羅。蔔。醃。醬。

天候が決まつてから 虫干は

滿洲も例年ならばボツ〳〵雨期も去つて初秋らしい快晴を見せ虫干の頃となるのであるが本年は低氣壓の中心が執念深く一ケ所にこびりついて居るので仲々カラツとした空を見せない、從つて空氣の濕度も八十度から九十度といふ高度を保ち室内には黴が跳梁を逞しうしてゐる、しかし若草山觀測所員の語るところによると風もだいぶ北の方に廻つて來たからこゝ數日中には雨期も完全に去りそれと同時に濕度もぐつと低下して二十日頃までには天候もすつかり決まるだらうとのことである。虫干をするのも天候が決つてからがよい

ローマ字は日本語に適せず（一）
ヨシタケ・タケシ

先日このらんで「孰れのローマ字が……」と論ぜられて居ましたが今一歩退いてローマ字そのものゝ良否を述べて見たい。

◇

あの田中館博士の電報文はどんな意味を持つか一寸解し兼ねるが文章通り解譯すれば日本式は日本語を表はすに適さないと解すべきでせう。

◇

外國から借りた文字は、國語を表はすに不都合を生ずる事は遠くトルコを例に引く迄もなく、我國が漢字を取入れた結果が明かに示してくれてゐる。國語を表はすに不便である許りでなく、國語自體をカク亂する結果になる。ローマ字を國字に採用するなんて事はこの根本の理由から誤つてゐる。但し外國語の中に日本語を挿入する等の特殊の場合は別として、この場合は國字と云ふ問題の外である國字としてのローマ字はあらゆる方面から觀察しなくてはならない

◇

一、單字の呼び名の不合理 アルフアベツト二十六文字の呼び名が各國に依つて異なる事Aと書いてエーと呼びアーと呼ぶJをヂエーとよびヨツトと稱へ又ヨートと讀むのはA、Jなどを多面的に見たもので音文字でなく象形文字の一つである。

◇

二、文字の呼名と發音の不一致 文字の呼名と發音の一致が理想である、それも世界的でなくてはならない。エスペラントや日本式ローマ字は幾分この點に注意されてゐるが、日本式ローマ字は日本のみの弊があつて世界的であるとは云はれない。

そして發音と呼び名の不一致は略字の時にその缺點が表はれる。Y、M、C、Aはヤ、ム、ク、アと呼びU・S・Aはユ、ス、アと呼ぶべきである。

◇

三、文字は一字一音であれ 私の云ふ一字一音は嚴密に云ふのではない、只同一音範圍中に入る音であればよい。

の缺點だけはサスガに取入れてないが少しはある。それはあとに述べる。

◇

四、大文字小文字のちがひ 良くローマ字は廿六文字で數が少いと聞くが、決して二十六字ではない。大文字小文字と全然違つた感じのする二種類の文字で廿六字の二倍即ち五十二字となる、併しこの中C、O、P、V等の如く同一文字の只大小の違ひだけのものを引き去り四十二三字とするが當を得たものでしよう。ローマ字の發達史によると大文字が進歩して小文字になつたと云つてゐる。若しそうだとしたら最も進んだ小文字のみを採用して歴史的文化の殘骸である大文字を今でも頭の天邊にチヨンマゲの樣に殘して置く必要もない筈だ。そこにローマ字のナヤミがある。小文字二十六字―日本式は僅に十九字―では語を作る上に不足がある。語を作る上に、又見易くするために文字が必要ならはC、O、P、V等同一形の大文字が、ゴヂツクでも使つたらいゝと思ふ。

◇

五、筆記體と活字體の相違 筆記體不要論も出てゐる時だがまあ筆記體は必要としても活字體と筆記體の隔たりの近きものが文字の理想である事は何人も異存はないでせう。ローマ字の現狀では筆記體のA、B、F、G等は活字體と、想像も付かない程離れすぎてゐる、これは小文字についてであるがまだこの外に大文字がある活字體に大小筆記體に大小と四種の字體があり少くとも七十の文字から成つてゐると云ふのが至當でしよう。

六、I、Oが數字と共通する點OとIが數字の0と1に共通（タイプライターの文字等）である事は一面便利である樣だが他面に大きな不便がある。それは數字と言葉とを連結し得ない、1200Zの如く事實混同することは少いが何だか不安で分けて書いてゐる。

◇

以上はローマ字の總體論であり文字の理想に合致せぬ點である。改良すれば改良出來る問題であるがはたして今のローマ字論者に全世界を動かしこの缺點を注て改良できる意志があり熱意があるたらうか？。

健康美を誇る

滿州踏破（第七信）
全コースを無事に終る
二中徒歩旅行隊

八月五日―

午前七時半三澗堡の土城子派出所を出發

今日は二隊に分れて旅順に行く事にしました。即ち本隊は水師營を經て旅順に、別隊の二名は双頭堡を經て旅順に。本隊は自動車道路をゆつくり歩いて、午後一時半旅順の驛前に着きました。

別隊は悪い道を通り、大分辛苦して午後六時半ヘトヘトになつて旅順に着きました。聞けば別隊の取つた道は十二里もあつて、一日の行程としては少し無理だつたといふことです。

晩は黄金臺の海岸に寢ました。

八月六日―

午前四時起床

早速、昨日作つたと云ふパンを詰込む。

六時黄金臺を出發し兵營の前を通つて旅大道路に出た。

旅大八景の白銀山、玉ノ浦を眺めて龍王塘派出所に着いたのは午前十一時。

晝食が濟んでから有志三名が派出所の前方の高い嶮しい山に登つた。此の山には、日露戰役に於て殉死した我が忠勇の士の碑がある

午後三時半、派出所を出發し、六時小平島の派出所に着いた。

今晩が最後の夜なので夕食には持參した食糧品を全部鍋の中に入れ、此れに途中の溝の中で捕へたボラの子と、茄子等を投げ込んで煮ました。此のお菜はとても美味くて何とも言へぬ味がありました

八月七日―

午前七時半小平島派出所を出發

今日は家に歸るのかと思ふと足の速やさが何時もと違ひ、驢馬迄が勇んで歩くのでした。

志津間先生がわざ〳〵途中までお迎ひに來られて、寫眞を取つて下さいました。

十時二十分無事最終地の黒石礁に着き、電車に乘る、學校で疲れを休めた後一行が解散したのは午後一時でした。

思ひ出せば十六日の長い間少しも豫定が狂はずに、否豫定以上に行動することの出來たことは、此の計畫が今年の正月より始まり、團員が皆一致して何事にも相扶け合つたこと及び、途中到る處の警察のお方が皆親切にして下さつたことに因ると思ふのであります。

地方の派出所では、同胞が懷しいことも加つて何れも數々の便宜を計つて吳れました非常にもてなして吳れたことは、實に感謝に堪へない所であります。

一行は亦、天候にも惠まれた方で、途中に於て雨に出會つたのはたつた一日だけでした。

探偵小說 **女妖**（167）

江戸川亂步作　橫溝正史

伊藤幾久造畫

剝がれた假面（一）

黄昏の色が、深く濃く、この建物の窓から落ちこんで來た。靜まり返つた夜氣が、ひた〳〵と四方の隅々から忍び込んでゐる。

これはこの建物の中の、誰一人知らぬ一室である。四方の壁は厚い木材で打張られ、そこには窓もなければ入口もない。まるで木箱を伏せたやうな奇妙な部屋の有樣である。

今この箱のやうな一室の中には世にも凄慘な事件が進行しつゝあつた。

この部屋の隅に、見るからに、この部屋とは不調和な、大きな鏡臺が据へつけてある。それはかうした殺風景な部屋とは全く度外れて不調和に立派なものだつた。大きな天蓋には金だの銀だのゝ細工が入念に施してあつて、其處から厚ぼつたいカーテンが血のやうな色をして垂れてゐる。

その鏡臺の中に、今しも一人の男が囮になつてゐる。いや、囮になつてゐるなどといふ暢氣な光景ではないのだ。よく見れば、彼の身體は太い荒繩を以て、鏡臺の上に十重二十重と縛りつけられてゐるのだ。

男——いふ迄もなくそれは成瀬子爵であつた。子爵は蒼ざめた顏の所々に、痛ましく血を滲ませ、きつと唇を嚙みしめてゐるが、もう決心の臍を定めたのだらう。何事をも言はうとはせずに、觀念の眼を閉ぢてゐる。

その鏡臺の側に、椅子を引寄せそこに腰をドして、ちびり〳〵と獰猛な嘲を啜つてゐる男——それは千家鷹麿に違ひなかつた。彼の眼は最早常人のそれではなかつた。まるで氣違ひのやうな、物凄い輝きが、ギロ〳〵とその眼の中に燃えてゐる。

暗い窓のない部屋の中に點じられた蠟燭の灯が、いつそ物凄くその顏を隈どつてゐた。

「花子さん、どうですね。もういゝ加減にうんと言つたらどうだね。これ程思ふ心中男だ。まんざら捨てたものでもありますまいよ」

千家鷹麿の火を吐くやうな聲が、部屋の中をつゝ抜けるやうに響いた。

然しそれに答へるものはない。千家鷹麿はやけにぐいと酒を呷つた。と思ふと、床の上に身を屈めて、ぐいと其處に俯伏してゐる誰かの肩を摑んだ。

花子だ！春日花子に違いない。

打續く恐ろしい刺戟に、花子はもう早すつかり憔悴し切つて、その眼は何を見る力も、何を思考する力もないらしい。それでも遉に、男に肩を摑まれると、ブル〳〵と身を慄はせて、二三歩膝をにぢるやうにして後退りをした。

「花子さん。あんたはまだ剛情をはるつもりだね。よろしい。あれ程言つてきかせても駄目なら、もうこの俺も辛抱する事は出來ん。可哀さうだが、子爵の生命は貰ひましたぞ」

「アレ！」

子爵ときいて、さすがに花子も氣がついたらしい。彼女は周章てゝ鷹麿の腕に縋りついた。

「あゝ、いつそあたしを殺して下さい。生きてこんな恐ろしい目に遇ふくらゐなら、あたしはいつそ死にたい。殺して下さい。殺して下さい」

花子の兩頰に亂れかゝつた髮の毛は、バラ〳〵と解けて無殘に肩のあたりにこぼれる。

「何を馬鹿な。あなたを殺すくらゐなら、こんな苦勞はしやせん。よし？さういふ氣なら、もう俺はあんたの言葉はきかん。自分の思ひ通りにするばかりだ」

千家鷹麿はさういふと、つと立上つて、鏡臺の脚に仕掛けてあつた釦を押した。

「アレ！あなた！そればかりは……」

花子は狂氣のやうになつて鷹麿の膝に武者振りついた。然し、子爵は自若として一言もない。

あゝ、さるにても、由良子の毒刄から、危ふく蛭田檢事に救はれた筈の花子！彼女はどうして又、鷹麿のために捕へられたのだらうか……。

タコマ號を翔って
愈一週間内に壯擧決行
霞ケ浦から出發

【土浦十三日發電通】ブロムリー中尉はゲッティ機關士を伴ひ十三日午前八時十五分上野發田中航空官に伴はれ霞ケ浦航空隊に赴き山本少佐の案内で飛行場の實地檢分を行つたが、滑走路千八百メートル有り優にタコマ市號の要する滑走路を三百米位越へてゐるので愈々霞ケ浦飛行場から出發するに決し十一時半土浦發歸京した兩氏は東京着後直ちに横濱に赴きタコマ市號を空輸する準備をした後二、三日中に空輸を敢行し一週間内に晴れの壯途に上る事となつた、出發地は霞ケ浦飛行場と決定したので遞信省では外務省を通じ十三日該飛行場に關する一切の許可を與へた

乾新兵衞氏が 收容されるまで
渡邊倉庫沒落の祟り

【東京十二日發電通】乾新兵衞氏が收容に至つた事件の内容は左の如くである、即ち乾氏は豫て沒落した渡邊治右衞門家に數百萬圓の債權を持つてゐたが、昭和二年三月渡邊銀行の破綻に端を發し渡邊系の會社は何れも

沒落の悲運 に際會したので、乾氏は債權の回收に腐心し悪辣な不正手段を以て渡邊家の同族會社中唯一の無疵會社たる渡邊倉庫會社に目を付け、自己が債務を有する渡邊銀行に對し保證債務辨濟の契約を結ばしめ同社所有の建物、土地一切を取上げて同社を破滅に陷らしめた(背任横領私文書僞造詐欺)事件で、發端は昨年九月十七日渡邊倉庫社長土中尚明氏が元同社取締役にして乾氏夫人スヱ子の實弟に當り乾と共謀して右保證債務契約運動を行つた阿部純隆を東京地方檢事局に訴へたに端を發し

石郷岡檢事 の取調は遂に告訴人が目指した阿部に止まらず、乾氏の收容に進展したものである

乾氏起訴 免れまい

【東京十三日發電通】十二日午前市ケ谷刑務所から檢事局へ引出された乾新兵衞氏外二氏は一通りの取調の後午後は刑務所に戻された同事件は一部に傳へらるゝ如き多方面に亘るものでなく渡邊倉庫會社内に絡まる背任横領詐欺事件に止まり來週早々處分が決せらるゝ筈であるが、檢事局が財界への影響を考慮し乍ら敢然乾氏の收容を決行したのには確證を握り充分の自信を持つてゐるものと見るべく乾氏の起訴は免れぬものと見られてゐる

渡邊倉庫事件
證據固めに入る

【東京十三日發電通】乾新兵衞氏等に係る渡邊倉庫會社事件に就いては十三日取調べを行はず專ら外部の證據固めに入り倉庫會社取締役渡邊六郎氏も元監査役兒玉保氏を午前十時より召喚石郷岡檢事の手で取調べ兒玉氏は歸宅を許され渡邊氏の取調べは午後に及んだが兩氏共乾の對派と目される人物で兩氏の陳述は乾氏等に採つて頗る不利であらうと見られてゐる

聯興號内には 多數の負傷者
救助船の到着を待つ サルベージ船急航

支那汽船聯興號の遭難事件に關し其の後大連無線電信局に到着した情報に依ると、船員船客中に尚ほ數多の負傷者あり上陸して醫師の手當を受けしむる必要あり、一方荷物引卸し長時間を要するので救助船に紛炭搭載の上、至急派遣方を要求してゐる、尚同船は目下營城子灣口に投錨、一番船艙より浸水あり日夜排水に努めてゐるが差向安全であるが、大風に遭ふと船體危險なので威海衞沖に避難の希望を有してゐる模樣である、同船の救助には昨日旅順港管内營城子灣に於いて大中號を救助の上、大連に引上げた東京サルベージ會社所屬サルベージ船、那須丸(六〇〇噸)が大連三井物産からの命を受け内地へ歸航の途中遭難地に向つて引返した

和洋食とも 約二割の値下げ
大連飲食店組合で 來る九月一日から實施

大連飲食店組合臨時總會は十三日午後一時より岩代町遊樂館に於て大連署原田保安主任、高瀨衞生主任臨席のうへ開會した、組合豫算變更の件を可決し、組合加入金變更の件即ち一等三十圓、二等二十圓、三等十圓に變更する件は委員附託、次いで問題の飲食物値下の件は種々議論が戰はされた結果、和洋定食一圓五十錢以下、和洋一品料理四十錢以下、ビール四十五錢以下、日本酒廿五錢以下と二割強方の値下げを決定し九月一日から實施することゝなつた、次いで現在の組合名を「大連和洋料理店組合」と改稱する件は考慮の餘地ありといふので委員附託、組合費賦課方法變更の件及び組合内規制定の件も同様委員附託となり、最後に評議員三名の補缺選擧を行つて五時三十分無事閉會したが、閉會後原田保安主任から保安事項に關し、高瀨衞生主任から夏期衞生に關しそれぞれ一場の訓示をなすところあつた

支那人夫が 十餘名溺死
北寧線の復舊工事で

【奉天特電十三日發】北寧線水害箇所白旗堡、繞陽河間は支那側で復舊工事に努め十三日より羅聘子まで運轉を開始する豫定であつたが、十二日夜の豪雨で亦も柳河の増水六尺に達し復舊工事に從事してゐた支那人夫は十數名溺死した尚復舊には數日を要する見込みで同地は材料運搬自由ならず復舊作業に非常に苦められてゐるらしい

お母さんも魚掬ひ

水害の狀況

北寧線の水害箇所に電信不通のため詳かならざるも十三日迄に判明せる事實は白旗堡、饒陽間、線路浸水、大凌河、双羊店間、橋梁破損北戴河、馬守營間線路決潰等にして漸次減水しつゝあるも浸水箇所は泥土にて線路を數尺埋沒せる爲め復舊には尚十日間位を要すべしと

全國中等學校 野球大會始まる
先づ八對一のスコアにて 松山商業甲陽に勝つ

【大阪十三日發電通】第十六回全國中等學校野球大會は十三日から甲子園球場に開始された、今日は始球の日も照らず東北の微風薄曇である、一萬の定席は文字通りの滿員で松山商業甲陽中學の試合に幕は切つて落された、松山の先攻にて開始結局八對一で松山の勝利に歸した

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
松商	4	0	0	0	2	0	2	0	0	8
甲陽	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

小倉工業勝つ

【大阪十三日發電通】甲子園に於ける全國中等學校野球小倉工業對鹿兒島二中戰は小倉工業の先攻にて開始小倉第一回一點、第八回三點を得たるに對し鹿兒島は第六回二點を奪取したるのみ四對二にて小倉工業勝つ

大邱中學快勝

【大阪十三日發電通】大邱中學對米子中學戰は四A對零で大邱中學が快勝した

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
米子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大邱	3	0	0	0	0	0	1	0	A	4A

颶風止む
各汽船出港

【門司特電十三日發】風速三十九米突といふべら棒な暴風雨に見舞はれた關門兩地の被害は實に慘憺たるものであつたが、十三日午前二時ごろから颶風止み朝來時々雨が降るのみで門司港で一日風浪にもまれた各汽船も本日定刻に出港した

時代の尖端へ!
新橋藝者の發奮
深刻な不景氣に弱り果て 舊い殼を脱捨てる

【東京特電十三日發】深刻な不景氣は各種の事業會社、中小商人を打ちひしいだばかりでなく待合、藝者、料理屋などの花柳界も何れも火の消えたやうな寂れかた、併し一面

カフエー は日毎に軒を並べジャズに緑酒に紅い灯に狂亂の盛りを極めてゐるカフエーの隆盛と藝者の凋落同じ花柳の巷にして此移り變りを見せやうとしてゐるのは時代は移る千九百三十年とは云へ其處に大衆を捕へ行くものと大衆から置き去りにされて行くものとの何かなければならぬ、漸く此點に目覺め始めた東京の各藝者業組合では柳橋、芝神明、新橋など何れも玉祝儀の値下などをやり

對策を講 じてゐるが東都藝者業組合の代表である新橋では苦心研究の結果、昔からの型にはまつてゐた「新橋藝者」を俄然殼から飛出した千九百三十年時代の尖端を行く藝者に造りあげることになつた、それはこれ迄の三味線のお座敷ばかりでなくダンス、西洋音樂も出來中には即興詩を唄ふ藝者もあればお客の作つた歌や詩を其場で作曲したり、振付をする藝者もあると云ふ具合に藝者を

一定の型 に入れずに趣味に應じ天分を育てゝ行かうと云ふのであつてダンスは取敢ず原せい子に習はす事になり今後時代の尖端を行く接客方法研究のため知名の文士、政治家、藝者を招き講習會を開くとのことであるが此企ては從來の所謂「藝者」なるものに革命を齎すものとしてセンセーションを起してゐる

世界記録の 第二位
今度の風速

【東京十三日發電通】中央氣象臺發表、颶風はその後も北進を持續し十三日午前六時には釜山の北東二百キロの海上に達し長崎、福岡山口等に相當被害ある模樣である今朝入電ありし南大東島の報告に依れば同島の最低氣壓六百九十二ミリ最大風速五十七メートルにして日本記録を破り世界記録の二番目のものである速度漸次鈍りつゝあるも北進を續ける模樣で日本西南部、朝鮮南東部一帶嚴重警戒を要す

雄圖空し
太平洋横斷の ワーク機の破損

【ヴアンクーバー十二日發電通】太平洋横斷の雄圖挫折の已むなきに至つたワーク氏の機體の破損は慘憺たるもので、着陸裝置は滅茶々々となりプロペラも碎かれ損害を受けずに殘つたのはエンジン丈けであつた、ワーク、ブラウン兩氏は若し此の飛行機が東京に到着する事が出來たとしたら夫れこそ奇蹟であつたと語つた

起重機折る
珍らしい事故

十三日午前九時半頃第一埠頭六番バース繋留中のドイツ汽船マインツ號で珍しい事故が發生した、右は同船前部甲板第二ハッチの重量起重機が鐵の積卸し作業中ポッキリ折れたもので、ヘビーデレッキが折れるとは珍しい事で、五十二噸ばかりの鐵を卸したもので或ひはその重量に堪えなかつたものか專門家が調査中だが、船の損害は多い見込であるが死傷者のなかつたのは何よりである

頗るモダーン
關稅係で新造の モーターボート

埠頭における民政署關稅係りでは上海天津方面よりの入港船舶に對しては煙草、酒に對し係員を派し臨檢してゐるが、多年の懸案であつたモーターボートがこの程西森ドックで建造された、頗るモダンでスピードのあるもので名前も東海道超特急にちなんで「富士號」長さは三十尺二十馬力で二十五六人は樂に乘られると云ふ、この間甘井子へ試運轉を行なつたが、十五分位かゝるところを十分で行つたと係員は鼻が高い、四五日したら大連港の方に廻航して活躍する筈であると

力戰及ばず
州外聯合軍敗る
槍投で岡田選手が新記録 慶應との對抗競技

【撫順特電十三日發】日本陸上競技の花形慶大と州外聯合軍との對抗競技は、前日來見舞はれた雨も全く晴れ微風そよぎ緑濃き萌ゆる撫順永安臺トラックに於て十三日午後四時五分より擧行された、定刻約十分前トラック東端よりスクールカラーの三色旗を保持せる慶應チームは淺野監督、黑田主將を先頭にて三十餘名の選手は足どりも輕げにトラックにそひ進めば、彗星旗を掲げたる州外軍は堀監督淺坂主將を先頭に堂々入場式を行ひ中央役員席に向ひ整列兩主將の挨拶に次ぎ大垣大會長の挨拶あり正四時兩軍主將に依りチーム旗の掲揚式後四時五分百米をきつかけにプログラムを追ふて競技は進められたが第九回槍投に於て撫順の岡田新記録を作つたが結局慶應五十九點、州外四十五點、十四點の差で州外慘敗し七時前兩軍のエール交換後和氣裡に散會した

▲百米 一着阿武巖夫(慶應)十一秒六、二着井利武(州外)、三着田中盛一(州外)、四着吉田信章(慶應)

▲圓盤投 一等黑田保次(慶應)三七米三一、二等板橋政二郎(慶應)三六米八六、三等川野達也(州外)三四米八八、四等中西榮八(州外)三三米二二

▲走巾跳 一等出中禾(州外)六米四九、二等坂本恒夫(慶應)六米三九、三等柴田義儀(州外)六米三四、四等磯武雄(慶應)六米二九

▲四百米 一着柏木寶丸(州外)五五秒八、二着奈良龍雄(慶應)、三着高西輝(慶應)、四着末永繁正(州外)

▲棒高跳 一等淺坂正一(州外)三米六〇、二等岩本重秋(慶應)三米四〇、三等坂本恒夫(慶應)三米二〇、四等宮田誠作(州外)三米一〇

▲砲丸投 一等齋藤眞衞(慶應)十二米二〇、二等山本定治(慶應)十二米一一、三等西村政平(州外)十二米、四等須藤直章(州外)一〇米六一

▲百十米高障碍 一着中濱軍治(慶應)記錄なし、二着柴田義敏(州外)、三着曲淵景一(慶應)、四着須城市武三郎(州外)

▲四百米繼足 一着慶應チーム(阿武、吉田、菅沼、深野)四六秒二、二着州外チーム(田中、今井、田中、柏木)

▲走高跳 一等金子鐵二(慶應)一米七、二等山崎滿夫(州外)三等柴田義敏(州外)四等岩本重秋(慶應)

▲千五百米 一着渡邊綱太郎(慶應)四分四二秒四、二着大數寬一(州外)、三着岩本哲一郎(慶應)、四着多田敏夫(州外)

▲槍投 一等山本定治(慶應)五三米五一、二等岡田淋義(州外)五三米四三、三等門田重文(慶應)四九米五六、四等鐘ケ江勇(州外)四五米三六

	百米	圓盤投	走巾跳	四百米	棒高跳	砲丸投	高障碍	走高跳	千五百米	槍投	四百米繼走	合計
州	5	3	6	5	5	3	4	5	4	6	1	45
慶	5	7	4	5	5	7	6	5	6	4	3	59

大評判の 三大全集特賣

天下の人氣を沸騰せしめわが出版界に驚異の新記録を作つた講談社の修養、講談、落語三大全集は目下一册壹で又々引ッ張り凧!此特賣は本月末日限りです、御急ぎ下さい。

全滿對遼寧 四種競技
猛練習を開始

今秋擧行される遼寧省對全滿洲のア式、籠球、庭球、陸上の四種目對抗試合は着々準備されつゝありまた同對抗ゲームを目指して各チームも猛練習中であるが、滿鐵ア式蹴球部を中心に二三名市中側より參加のうへ毎日午後四時より大連運動場に於て練習を行ひつゝあり參加希望者は滿鐵本社審査課飯澤氏宛申込まれたしと

日支軍警協力して
大馬賊團を包圍す
營口附近の高粱畠で

【營口特電十三日發】三十四名より成る馬賊團が大石橋、營口中間の無名村落に侵入し高粱畑に潛伏せるを十三日發見し支那巡警、大石橋警察、及び守備隊は協力して包圍中であるが、營口警察署から應援として署員全部午前十時半急行した、目下賊は包圍狀態にあり

洞穴で暴行
姦婦が夫に 揶揄の手紙

市内惠比須町二〇八滿洲醫徐啓吾の第二夫人劉眉雲は去る一日外出したまゝ行方不明となつたが、徐は自分があまり老齡であるため情夫の許に走つたものと思ひ別に捜査もせずにゐたところ、五日突然妻の劉より差出し場所不明の

私は先日外出して瞬時に敗けての歸途、知り合の汪某からタクシーにのせられ暗黒の洞穴に監禁暴行を加へられた更にそこには前から二人の娘がをり、二名共某家の令孃で誘拐されたもので、私は元使用人の林坤山、金張氏等から汪某に三百元で賣却された

といふやうな意味の手紙が舞ひ込んだので、徐啓吾は小崗子署に捜査願を出した、同署では直ちに林坤山を引致取調べた結果かゝる事實はなく、汪某は市内監部通り七三仕立業興發祥方の職人汪濟淸と稱する劉眉雲の情夫で、兩人は老人の徐啓吾を揶揄ふつもりで前記手紙を出したこと判明、同署では目下情夫汪濟淸を捜査中

五萬圓を拐帶
昭和銀行小使が

【東京十三日發電通】十二日午前十時五十分頃昭和銀行淺草支店小使鈴木八十松は行金六萬三千餘圓を日本橋本店に持參の途中日本橋區本石町の自宅に銀貨、銅貨取交ぜ六千五百圓を遺棄し紙幣のみで五萬數千圓を拐帶何れにか逃走姿を晦ました事午後三時頃に至り發見銀行當局は非常に驚き象潟署に訴へた、同人は六年前から小使となり最近信用を得て行金の送り屆を爲してゐたものである、なほ妻子は栃木縣下に避難せしめてゐたと

第二七星丸お灸

釜山遞信局漁船第二七星丸(四十三噸船長石川健市)は長山列島附近に漁業從事の目的で漁夫四十六名を搭乘せしめて入港したが、定員超過の理由で十三日海務局より始末書をとられた

保釋の伊達内地へ

拳銃の名手として官憲を吃驚せしめた伊達順之助は特に保釋を許可されこの機會に久しぶりで上京し一ケ月位したら歸ると約束の上十三日出帆のはるびん丸で内地に向つた、一時世人の耳目を聳動せしめた立役者丈けに同人の乘船を見たものは目ひき袖ひき後姿をながめてゐた

旅順戰蹟憑弔會

淨土宗山本派本願寺滿東別院にては例年の如く旅順戰蹟憑弔會を八月十七日執行することに決定、此度は往復共に自動車を借切りとし戰蹟全部を見學すると、尚會費は四圓にして辨當持參のこと申込は本願寺へ

歡迎圍碁會

滿遊中の經原正美四段、小杉丁四段の歡迎圍碁大會を十四日午後四時より星ケ浦大和理事宅において開催すると

海の唄 〔三〕

仲木貞一作 一木浮畫

オペラ女優(九)

……もう一時を過ぎてゐる。

何うして、此の門が今頃開いてゐたのだらう。と和雄は思つた。が、それも亦、夢のやうな歡喜であつた。……何といふ仕合せであらう……然う思つて、和雄は、そつと內から其の扉を閉めた。

が、次の瞬間、扉は開いてゐたのだから、そのまゝにして置かうかと氣附いた。そして、そのまゝ門番の平吉の室の方を覗た。

「誰方?」

……それまで、そつと樣子を窺つてゐたといふやうに、其の室の內からは、がらりと表の戶が明いた。と同時に、然う大きな聲で呼んだ。さうして、俄に電燈の光が戶の闇から、門の邊りにまで映じたのだ。

「おゝ、あなたは秋月さんぢやありませんか」

「……………」

和雄は眼くやうな身體をぢつと地に踏みしめて、平吉の前に立つた。

「この潜り戶は閉めなくてもいゝんですか」

オロ〳〵聲で然な言を云つた。

「えゝ、然し今晚はね、あの佐々山樣から、何度も〳〵お電話や、お使者で殿樣をお迎へに見えたのですが、殿樣が今日はまだ何處へ御出ましになられたのやら……其の行き先きがわからないもんですからね、隨分困つたんですよ。ところが今しがたお歸りになつて、それで復直ぐお出ましになつたんです……えゝ、佐々山樣へね。それで然うして開けとくんですからなあに、私の手落ちやないんですよ」

「あゝ、それでは彼方の御殿樣が矢張りお悪いのでせうか。それア大變ですね……」

和雄は、それが爲めに、何だか自分の行爲が、幾分かは、その瞬間だけでも見逃されてゆくやうに思へてほつとした。だが、一方、伯爵夫人に對しての良心の呵責は一層苛々してきた。

「奥樣は、今頃何んなでせうね。御心配なすつておいでなさるでせうな、御前はもうお歸きになつた時分でせうか?」

平吉は、さう云つた和雄の顏をぢつと透すやうにして覗たが、

「ぢや、あなたも、先刻、一緒に何處へか行つたんですか?、何んにも知らないんですかえ、だが、まだ、何うして殿樣と一緒に歸つて來なかつたのです? 私やまた、あなたは然ういふ晚だから、屹度いで其處等邊りを見廻つておいでなさるのかしら、と思つたが……いや、これは餘程、剛腹な晚ですわえ……矢張り然んな晚にや、此の潜り戶を閉めて置く方が確です ね……」

平吉は、然う云つて、今、和雄の思案してゐた潜り戶の扉を、もう一度開けて外を見廻してから、カチリと其の鎖金を卸した。

「いや、どうも有難う……」

和雄は、また早鐘を打ち出したやうな胸を抑へて、そこ〳〵に裏の方へ廻つた。

何時も、眞黑に突つ立つてゐる洋館の窓に明々とした灯が、其のカーテンの隙間から洩れてゐた。閉ぢ切られてゐる日本建の母屋には、雨戶を二三枚開け放つて、白い障子の上に、大きな女の影の動いてゐるのが、葉末の枯た木の間から透けて見えてゐた。和雄は殆ど息を殺すやうにして、自分の室の方へ忍び寄つて行つた。

滿日柳壇

『雨』

雨宿りから見知り合ふ友が出來 大連 よし坊
雨乞ひに長く續いた馬の列 大連 うめ子
入相に合せるやうに小雨降り 大連 紫浪
これからの雨百姓は愚痴をいひ 大連 白水
俄雨日傘の赤い色が褪め
雨の日は飯遣上も影ひそめ
俄雨苦力麻袋を着て平氣 遼陽 みのる
雨宿り地藏の背へ何か書き
吹き降りに女黑切りからげ 大連 凡稚
雨を呼ぶ蛙へしやくな空模樣
洗濯がたまつてうつとしい入梅 大連 淀月
雨上り隣の竿も借りて干し
に入り
俄雨どや〳〵と來る百貨店
雨乞ひの裏でみにくい水喧嘩 本溪湖 御村
雨漏りに馬尻も坐る奧座敷
雨乞ひの鐘や太鼓もやけで打ち 大連 一三
ひと雨が堂島邊の浮き沈み 大連 白鷺
からりつと晴れて番傘持て餘し
掠奪の標に干物入れる雨 鞍山 久枝
俄雨當觀ひとり名を殘し
夕立に满足の子の身を案じ 本溪湖 銀杏
俄雨トタン屋根から先に降り
銅像になつて名士の雨曝し 旅順 都一
雨降りの日曜を居る賑やかさ 大連 猿夢
雨降りに今日のドライブ暇潰になり
雨漏りの盥へ借間狹くゐる 旅順 柳生柳月
俄雨夜店植木屋だけ殘り 大連 高木滿山
內の人選りわけてゐる迎ひ傘 大連 市村喜一
ルーフの火消へて沸しい雨になり 大連 寺山青々庵
デパート雨宿りする暇間をもち 大連 兒山凡稚
娉當の未練の殘る朝の雨 大連 宮崎白鷺

○

襲返ればいつそ沸しい雨の音 高橋月南
急用へ鳥羽繪の型で雨をかけ

滿日俳壇募集規定

次回課題「立秋」「蟲譜」

「萩の花」▲句數無制限▲用紙半紙、各題別紙▲各紙に雅號氏名記入の事▲締切八月二十五日▲封筒に「滿日俳句」と朱記▲原稿送り先、東京市牛込區若松町八二 島田青峰宛

川柳募集課題

▽題「星」「相談」「腰辨」
▽句 各題五句限必ず別記
▽限 八月十五日〆切
▽宛 大連市彌生町高橋月南

文藝滿日係

新刊紹介

◆富士(九月號) 無双の國士八代六郎(伊東研齋)幾靈塔(黑岩漁郎)長篇小說「炎を踏む女」三上於菟吉、義士銘々傳「義士中の実男吉田澤右衞門の卷」小島政二郎、等(定價五十錢東京本鄕駒込坂下町大日本雄辯會講談社發行)

◆文藝倶樂部(九月號) 江戶時代私娼風俗として色々な面白い話を載せ、エロ・グロ都會紅淚記として「構內電車で尾行をすれば」「赤い鬪してダンサー待てば」等あり(定價五十錢東京日本橋本石町博文館發行)

◆講談倶樂部(九月號) 有りの儘の話「漫畫家白鷗傳は例に依つて水島、細木原等が讀者を笑はせ、好散手好取組物語では「佐藤水原早慶戰を彩る二人男」「山本安英孃と田村秋子さん」等十氏の面白い組合せが載せてある(定價五十錢東京本鄕區坂下町大日本雄辯會講談社發行)

白川氏を廻りて奇怪なる新事件
ベンゾリン事件の餘燼として 意外の波紋を描くか

第二の阿片事件として世人の注目を集めたベンゾーリン大密輸事件の立役者、目下保釋中の元代議士白川友一氏の身邊に最近奇怪な新事件が發生し

意外な波紋 を描かんとしてゐる、事件發生を探知した大連地方法院檢察局ではベンゾーリン事件の餘燼として極度に神經を尖らし大連署高等係をして、新事件をめぐる數多人物の動靜に監視の眼を放つてゐるが、渦中に投ずる利權屋等には近く再び司法權の發動を見るべく當局の態度は注目の焦點となつてをる、新事件の經緯は左の如くで利權屋の裏面史を遺憾なく暴け出してゐる

ベンゾリン事件の立役者奥野豊光 覺書から新事件發生

事件の發端は遡ぐる昭和三年四月に遡ぼる、當時白川友一氏はドイツよりベンゾーリンの密輸を企てこれが資金四萬圓の調達方を市内西廣場元高等演藝館主小田澄道に依頼した

小田は直ち に市内南山麓金貸業福本伊六を通じ市内近江町奥野豊光(三)から四萬圓の借用契約を結び、白川はベンゾーリン買付のため大阪在住常光新一(未逮捕)と共にドイツへ渡つたのである、この奥野豊光こそベンゾーリン密輸事件の立役者として活躍し、今回の新事件の中心人物である、而して小田は白川がハルビンを出發する際手渡されてゐる四萬圓の約手と委任狀によつて奥野の手より四萬圓は借受けんとしたが赴獨後白川の手に

他方面より 六萬圓の入手があつたので奥野からは二萬四千圓を借受けることゝなつたが、その際奥野は小田に對し貸金條件として密輸による利益分配を要求したので小田は勝手に白川の輸入したベンゾーリンの半數は奥野の手を通じて賣捌かせるとの意味の覺書及び擔保差入書を奥野に交附し二萬四千圓を借受けドイツの白川の元に送金したのであつた、即ち右の覺書が今回の新事件發生の端をなしてゐるのである

保釋を待つて交渉を開始 覺書に物云はせて

問題のベンゾーリンは白川の手によつて昭和三年十一月、まんまと要路の官憲を瞞着し密輸陸揚げしたのであつたが、奥野と小田との間に結んだ賣捌き契約は

白川の關知 するところでないといふので奥野に對しては少量のベンゾーリン賣捌きをなさしめたのみで借用の二萬四千圓はベンゾーリンの現品を以つて奥野に返却したのであつた、胸中納まらぬのは奥野である、殊に當時奥野は來連中の元自由黨の壯士山本久雄から支那側に阿片輸入の許可を取つてやると欺かれ運動費として六萬圓を騙られ殆ど破産狀態に陷つてゐたので、白川との契約を履行さすべく彼は狂奔し初めたのである、然しその時

既に白川等 の身邊には檢事の手が伸びて來たので白川は逸早く内地に逃亡全く行方不明となつたが、奥野は直ちに内地に赴き白川の跡を追つて各地を尋ね廻つたので司法當局の眼は奥野の身邊に光り大連檢察局の依囑により當時神戸檢事局で奥野を召喚取調べたこともあるが、巧に言ひ拔け白川が自首收容されて後も彼は目的貫徹の爲め白川の動靜に目を注ぎ先月末

保釋と同時 にいよいよ大掛りな談判を開始し、遂に新事件としての波紋を描くに至つたものである

白川に對して八萬圓を要求 奥野は近く召喚か

即ち奥野は談判開始の瞻立として神戸在住の俠客北政こと濱岡清次郎(?)を本月五日呼び寄せ、さらに市内聖德街二丁目一九二番地吾水こと岩城末三(?)の兩名に

事件解決方 を依頼し自宅で獄中の疾病療養中の白川に對しベンゾーリンの賣捌き契約を履行しなかつた代償として金八萬圓を提出せよと吹きかけたのである白川氏も相手の交渉が餘りに大きいので言下に之を拒絕し一時は兩者の間に穩かならぬ空氣が漂つてゐたが、同事件を大連檢察局に探知されたと知るや奥野は身の危險を惧り數度會見の後、包金として五千圓の提供ならびに奥野等が費消した遊興費一千圓を負擔するといふに白川氏との間に

交渉成立し 十二日正午之が受渡を終了したが、事件發生以來一味の策動に鋭い眼を放つてゐる檢察局では彼等の間の紛糾が解決したので十三日より新らたな刑事々件として活動を開始してゐるが、奥野が白川等のベンゾーリン密輸の情を知つて資金を貸付けさらに密輸品の賣捌きを行つたとは共犯關係免れぬものと見られ近く召喚取調を受ける形勢である

鮮人多數を捕縛し殘酷な拷問を加ふ
共産黨の陰謀說に狼狽したる支那官憲が敦化で

【吉林特電十三日發】一兩日前敦化より吉林に來た支那人のもたらせる情報によれば、共產黨、不逞鮮人等は敦化地方を中心に通信及び交通機關を破壞し暴動を惹起する陰謀ありとの報に接した軍警は七月卅一日夜より敦化城内に

戒嚴令を布 き、警備を嚴重にすると共に共產黨、不逞鮮人及び共產黨支那人の檢擧、證據の蒐集につとめ、軍警等は主として鮮人檢擧に全力を傾注し、鮮人居住の家宅に對しては家毎に嚴重なる家宅搜査を斷行し、暴徒事件に關係ある無きに區別なく鮮人と見るや無茶苦茶に檢擧を行ひ八月五日大體檢擧を終つた、その結果檢擧せられたる鮮人は敦化第七旅團本部の倉庫に九十九名、縣署留置場に三十名、軍隊の倉庫に五十名、他に支那人二十名を留置處分に附し、收容者には一日一回粟飯を與へ、取調べに當りては足を縛し又は棍棒にて毆打し、倘抵抗する者には

鼻から水を 入れる等殘酷な拷問をしてゐる、又敦化北門内鮮人醫師李富春は爆彈を隱匿したるを發見せられたので敦化暴動事件の主謀者と認められ拷問せられ身體數ケ所に重傷を負ひ生命危篤である、八月九日吉林全省清鄉局審判官及び督軍軍法處長等は二名の鮮語通譯を連れ八月十日敦化第七旅團本部で取調べを始めたが、事件の主謀者は逃走し現在收容されてゐる者は大半は關係なき者である、此の檢擧を恐れて良民は耕作もせず山奥に逃げ農民は戰々兢々としてゐる、尚田舍地方の多數鮮人は慘殺せられたりとの噂あり

支那人間に も官憲の殘酷な態度に憤慨してゐる向きがある

乾氏の收容 政界に波動

【東京十二日發電通】乾新兵衛氏召喚收容の結果政界各方面にも波動を及ぼす模樣なので、警視廳は異常の緊張を呈し相川刑事部長は十二日午前九時半丸山警監と密議した後立山第一課長を招致して六時間に亘り凝議したが、檢事局の命令あり次第大活動を開始する準備を整へたものゝ如くである

日滿電線復舊

九州及び中國西部地方大暴風雨の爲め不通中の日滿間各陸上電信線は孰れも十三日朝七時五十分迄に恢復し又海底線にて不通中の佐世保、大連線も亦目下下關大連線を臨時構成の上代用通信中であるから日滿間電信線は一先づ全部復舊の形であるが、只内地に於いて長崎及び下關より九州中國方面に不通線が多數ある模樣であるから今日中位は同方面宛電報は幾分遲延を免れぬ

上海の虎疫 漸次增加の模樣
先週には六名發生

十三日當地海務局檢疫課へ上海駐在入倉防疫官よりの情報によると本月九日に終る一週間に上海共同居留地政廳衛生部公表によればコレラ患者外人一名、支那人五名(うち一名死亡)の眞性患者を見た本週間の當地方のコレラは大體において前週と大差なく未だ流行には至らないが漸次增加の傾向があるので注意を要すると、今のところ一日平均下痢性新患者五十名內外あると、これによつて當地檢疫課ではなほ眞性患者增加の際は檢便を行ふ意向である

岩下孃逝く

大連憲兵分隊柔道教師岩下敬治氏長女澄子(?)はかねて滿鐵醫院入院加療中のところ藥石效なく十二日午後四時逝去十三日午後四時滿鐵醫院屍室にて告別式を執行

又も自廢
大幸の藝者二名が救世軍へ駈け込む

藝妓娼婦の自由廢業續出し抱主に大恐慌を與へてゐる折柄、またも市内逢坂町大幸こと大西耕一方抱藝妓若丸こと岩谷ミチエ(?)小千代こと河合こゝゑ(?)の兩名が十二日午後六時ごろ

しめし合 せて家を拔け出で市内播磨町救世軍婦人ホームへ「自廢をさせて下さい」と駈込んだ、大連署では樓主の屆出でにより直ちに兩名を本署に呼び出し事情を取調べたうへ一先づ身柄を留置保護を加へてゐる、自廢を企てた動機及び目的は樓主の冷遇から醜業が嫌になつたといふのみで判然しないが、裏面に糸を操つてゐる者があるらしい

なほ若丸 は本年四月二日瓦房店から二千四百圓で抱えられ小千代は同月七日兵庫明石から一千五百圓の前借で抱えられたものである、逢坂組合では相次ぐ自廢問題に頗る狼狽し目下役員會を開き之が善後策に鳩首協議中である

鹿島立つた朝日校選手(下圖は見送人)

全國大會に優勝の夢を載せて鹿島立
可愛い朝日校の野球選手たち 今日はるびん丸で

全國優勝への少年の夢をしつかり抱いて本社主催の滿洲少年野球大會に華々しく覇權を握つた朝日小學校野球選手内海主將始め十三名は久留島、芝草兩教員並びに實業の安齋忍氏等に引率され

十三日出帆 のはるびん丸で旅立つた、埠頭には愛兒の鹿島立ちを見送る父兄等のオロオロした顔、如何もけに小供等の頭ましいユニホーム姿に見入るもの、そのうちには大阪商船の旅客係主任の山邊さんや、前の土木出張所長長澤さんの顔も見える、銅鑼の音、出帆だ、岸壁には小旗を手にした學友達、ワツとのぼる喚聲、小學生で無くては見られない純眞なシーンだ、内海小主將の氣焔を聞く

一生懸命にやつて來ます、折角行くんですから大連の名折れにならない樣にガン張つて來ますよ

可愛い元氣 久留島教師 は又

私は今までに内地におつた頃大會に選手を連れて行つた經驗がありますが、こんな事を云ふと妙ですが内地の選手より遙かに好い樣に思はれます、投手の方に補缺を二三つれて行きます、打擊はこの四五日メツキリ打つてきましたから調子の好い時試合に打つかれば好いと思つてゐます、櫻井校長は既に先に行つてゐます、何分子供の事だし元氣をつけなければいけないと氣をもんでゐますよ

高石選手が日本新記錄 五十米背泳で

【東京十三日發電通】十二日夜神宮プールに行はれた昭和五年度全日本選手權水上競技大會關東豫選大會五十米背泳決勝に於て高石勝男選手は三十三秒二の日本新記錄を出した

太平洋橫斷を中止

【ヴアンクーヴアー十二日發電通】ワータ氏の太平洋橫斷飛行は機體の破損と氏の負傷で挫折し一先づ中止する事となつた

料理店にお灸

市内沙河口京町廿四料理店蔦家こと島崎岩太郎(?)は六月廿七日より八月六日までの間に抱へ藝妓龍川ミサヲをその筋の許可前より數回に亘つて稼業せしめ、更に客の不拂を龍川に負擔せしめるのみならず稼業日記帳を許可より廢業まで一回も記入せないのを十二日沙河口署に發見され、樓主島崎は十九圓、龍川は五圓をそれぞれ科料に處せられた

復興記念章受領者三萬五千

【東京十二日發電通】帝都復興記念章下賜に關し十三日附勅令を以て發布さるゝ事となつた記念章受領者は既報の如く三萬五千人に達する豫定である

精勤證書授與式

小崗子署では十三日前八時より同署講堂において署員原口一人巡査外十二名に對し精勤證書の授與式を行つた

大連神社月次祭

來る十五日の大連神社の月次祭には氏子代參常番町磐代町區の氏子役員等參列の上午前十時より月次祭典を執行する

うらる豫定通出帆

既報の如く定期船うらる丸は九州地方の暴風のため大連入港は豫定より一日遲れて十五日入港することゝなつたが、出帆日時には變更なく豫定通り十六日午前十時大連出帆の筈

台所メモ

品目	單位	價	價
鯛 生	百匁	七五〇	四〇〇
鯛 氷		四二〇	二五〇
まぐろ	同	七〇〇	五〇〇
ぐち	同	一〇〇	〇八〇
かながしら	同	一〇〇	｜
えび	同	六〇〇	一五〇
ひらめ	同	二〇〇	一〇〇
すゞき	同	四〇〇	一五〇
さはら	同	二五〇	一五〇
めばる	同	三〇〇	一〇〇
あぶらめ	同	三〇〇	一〇〇
ぼら	同	三〇〇	一〇〇
かれい	同	二五〇	一〇〇

全滿洲體育ボール大會 申込締切十五日

主管 滿鐵運動會
主催 滿洲日報社

俠艷一代男 (24)

華紅作　藤幾久造畫

盲目長家騷動(七)

「私ア奥山の矢場女、お粂と云ふものでござんす。先刻からポンポンと勝手なことを申しましたのによく耐へてお聞きなすつた。お噂はよく大名お抱への火消やお役者衆の口から伺つて居りまして、陰ながらお慕ひ申して居ります。聞きしに勝るとは、お前さんのことでござんしやうよ」

しんみりと、どこを押せばこんな音が出るかと云ふ優しい調子で薄氣味惡い程に媚びて始めた。猫の眼と云ふが、こんなに僅かの間に豹變をするのも珍しい。

矢場女お粂は、何を思つたか？後の雨戶をピツタリと締め切つて座敷へ上ると膝すりに、鐵太郎の側へ。

「鐵太郎さんとやら！私ア年甲斐もなく、お前さんにあんなことを云つたのが、今更氣まりが惡くてなりませんのさ」

男を知らない處女でもするやうに、羞しさうな素振で、身をくの字なりに嬌へ左手を突いて

「ねえ鐵さん！私アお千賀さんの爲めよりは、お前さんの氣心にぞつこん……！オホヽヽヽ、嫌な男に口說かれてゐますので、適には男らしいお前さんを口說いてみたくなりました。須文が連れ出したとなれば、行先は心配はござんせぬ。乾度私が探し出してあげますが……さうなつた曉に！ねえ鐵さん—お前さんは私をどうなさるお積りでござんす」

ジリジリと樹に燃える瞳を据えて、はだけた膝前から紅い蹴出が眼に浸れる。

「そんな事アどうでもいゝ！千賀どのが行方が氣懸りなんだ。からしてゐる一刻が惜しい谷底へ引づり込まれる思ひでならぬ」

迷惑を眉間にありありと見せて場所柄を辨へない女を一思ひに蹴飛ばして、外へ飛出したい衝動に驅られたが、不快を無理に押し隱しながら

「お前の親切は仇おろそかには考へぬが、一刻を爭ふ今の場合、道が行先を知らして貰ひたいものだ」

「それは、それ、何とやら云ふではござんせんぬか？魚心あれば水心、な、鐵さん！もし鐵太郎さんえ！お前さんは本當に罪な方でござんすな。私を一目で、これ程に迷ひ込ましてさ、えいッ！憎らしい人……」

淫らな眼付、先刻の女とは打つて變つたねつとりした色仕掛けで媚を浮した熱つぽい様子をし、執拗にジリジリと寄り添ふと、突如に白い腕を蛇とうねらせ、鐵太郎の首に絡みつけやうとした途端！さつと手首を押へつけ、怒氣を含んだ調子で

「何をするんだッ？」

「など、野暮臭い！私がこれ程に思ひ焦がれてゐるのが憎らしいのかえ！もし鐵太郎さん、鐵さんえ？お前さんだとて、加洲の八丁火消、一人や二人の情婦もあらう？あんまり邪險ではござんせぬか？」

「場所を知れッ！場所を！ここを何處だと思ふんだ？」

「盲目長家さ！世間の癈れ者が寄り合ひ世帶なのですよ。それがどうかしましたか？」

「大變受けた師匠の家だ。しかもその仇敵の道文と、お鐵さんの行方を血眼になつて探してゐる際だ、そんな吞ん氣な眞似がしてゐられるか？」

「私ア眞劍だよ、蝮と異名をとつた寶家のお粂がかうと思ひ込んだからにや、思ひを遂げないぢや置かないんだから……」

「そんな事より、千賀どのが身の上が案じられる。お前の話は後で聞く！た、よいか？須文の行方を知らしてくれ」

振り拂つても、齟齬してもやりたい女の手首をぐつと掴んだまゝ鐵太郎は火を呑む口惜しさを耐へて言葉低く頼んだ。

「嫌です！私ア嫌ですよ」

お粂は自棄に吐き捨る言葉で

「鐵さん！お前さんも男なら私の切ない思ひを遂へて下さい！さうすりやア……ね」

キネマと演藝

防火宣傳映畫 火中之勇姿 その梗概(一)

豫て計畫中であつた滿洲消防新報社の日支親善防火宣傳映畫の製作はいよいよ進捗し後藤詩吉氏の原作脚色「火中之勇姿」八巻の撮影に近く着手することになつた、また華語タイトルは大内鑑一氏が翻譯する筈で、その梗概は左の如くである

不幸内地で烈風中四十餘戶を灰燼に歸せしめた火元の安田は保險金詐取の嫌疑を受けて警察へ引かれた、妻のおきぬは極度に焦瘁の餘り病氣に罹り其不在中亡くなつた、安田の嫌疑が晴れて引越先の裏長屋に歸つた時は妻のおきぬは白木の位牌と變つて居るのに一時は呆然自失したが兄の激勵に發奮した安田はみどり子の愼一を兄に托し餘生を罪亡しの爲め恐るべき火災の防止に奮鬪すべく內地をあとに渡滿したのはもう廿三年の昔である。安田は懸命の努力を防火の宣傳に注ぎ名も火の用心と銘打ち湯屋を開いて居た、涙ぐましい迄に防火の宣傳に狂奔する安田を人呼んで防火狂と綽名した▲みどり子の愼一は慈愛にあふるゝ兄の懷で生長し大學を卒へた後父を尋ねて來連した、久方振りに我子との對面に夜の目も寢ずに喜んだ安田老人は其前夜市内に小火のあつた爲め例の火の用心を高潮して走り廻つたのでとうとう寢過し廿三年前の我子の寫眞と見比べて發見すべく下僕の竹藏を伴れて埠頭に愼一を出迎へたけれどとうとう上陸客中愼一を見出す事は出來なかつた。埠頭に上陸した愼一も無論出迎人の父を見出す事は出來ず一警官に火の用心湯安田の息子である事を告げて其道順を尋ねた警官は名物男防火狂安田の息子と聞いて恰度交通整理で見咎められて居る自動車に愼一を火の用心湯迄送り屆ける事を依頼したが相憎中にはお客があるので運轉手は當惑した然しお客は歸り途だと言ふので氣にも留めず快く同車をすゝめたので愼一は多少はにかみ乍らも同乘した車中の客は愼一に物珍らしい支那人の相當の家庭の者とおぼしき夫人と其娘らしい二人であつた、愼一は今始めて見る父が經營の火の用心湯の前で同車中の支那夫人の丁寧な挨拶を受けて別れた。下女のお濱は東京からのお客だと聞いて一時は驚いたがそれが愼一だと別つてあはてふためいた、安田老人と下僕の竹藏が歸つてからは四方山の話に夜の更けるのを知らなかつた愼一を歡迎の爲めに開かれた火の用心宴會の席に侍つた藝妓牡丹は新進の大學卒業の主客愼一を戀慕したが愼一は振向もせなかつた

麻雀をしながら千惠藏「今年は一度も嵐山へ泳ぎに行かないと思へば毎日麻雀で暮してゐた」と▲他人のやうなことを言ひながら昨日は午後から麻雀のぶつ通し▲衣笠淳子はわたし人々を歩くのが大好きよと浪速町から連鎖商店を散步して▲寶石屋をひやかし「このダイヤモンド百二十圓でなくて千二百圓なの、滿洲は寶石が安いなん、嘘なのネ」▲それからボンペイに行つていゝ氣持になつて十二時までダンス▲また千惠藏が煙草は何がよいかと聞けば傍の人「劍劇俳優だからキレアジがいゝネ」▲但し慌てゝキレアジを持ち込んでも御本尊は目下禁煙中で▲麻雀の相手ならば牌を賭して寄らば斬るぞといふところ

ラヂオ

大連 JQAK

八月十四日午後七時三十分

▲ニユース
▲ラヂオ體操
▲支那語講座(第五十二課)滿鐵學務課 [illegible]固太郎
▲浪花節(義士傳赤垣源藏)市川紋十郎
▲ハーモニカ 一、美しき流れ(編曲) 二、春雨(竹岡富三郎編曲)三、蛇使ひの踊り(サメリニツク作) 四、小さな支那人(スミス作)五、ホームスイートホーム(ビショプ作)竹岡富三郎
▲箏曲(夕顏)三味線福永大勾當、替手同森川とし子、前唄後唄、琴木次初榮
▲料理獻立
▲天氣豫報

東京 JOAK

十四日午後六時二十五分

▲趣味講座(人體改造の將來)醫學博士高田義一郎
▲深川富岡八幡祭(一)宮神樂(竹山金太郎社中)二、式樂(富岡八幡宮伶人五名)三、木遣、まる、てこ、五萬石(深川中町連中)四、深川囃子(池田彌五郎社中)
▲尺八獨奏と合奏(一)寒月(紙谷白山)二、朝綠(一部紙谷白山)(二部山崎不山)
▲管絃樂(一)靑きドナウ(二)シルヴイアの行列ドリーブ作(三)ボレロ(ビリ作)四、アイーダ(ヴエルゲク作) 日本放送交響樂團(指揮篠原正雄)

演藝新刊紹介

▲舞臺(八月號)銷夏號と稱して喜劇のみを輯めてゐる。園池公功作「スポーツ時代」大村嘉代子作「小猫」小林宗吉作「山に入つた詩人」中野實作「入選」等皆喜劇である。研究欄では寺田廉氏の「トーキー概觀」がある。寺田氏は長年アーチスト社にゐた映畫人である。其他小說隨筆百十頁、岡本綺堂監修、額田六福編輯、東京小石川高田豐川町武藏野書院發賣定價三十錢

滿洲日報

社説

支那既成政局と共匪の跳梁

擴大會議、名あつて實ありとも覺えず、北方政府の樹立、遲々として進まず、よし樹立したりとて何程のことかあらんと思はしめられる。

蔣介石の獨斷專行といふことが失意者側の問題となり、汪精衛らは盛んに地方分權や國民會議などと提唱する。併しながら、今日の支那にありて中央集權を說き、地方分權を論じても、事實問題としては何らの價値も存在せぬことを知らねばならぬ。まして國民會議などといふことも、今に始めぬことながら、支那の現實と相伴はぬこと、從來、必ずしも遠きにあらずである。

一體、支那の今日にありては、分權とか集權とかを爭ふ前に、まづ主權の歸着點を具象化せねばならぬ筈である。孫文がいつた如く主權は人民にあり、と斷じたところで、實際問題とは何らの關係もないことになる。勿論、支那の國主權が人民にあることは抽象的には間違ひのないところであるが、主權が國家統制力として事實上に具體化せねばならぬ。

……換言すれば來るべき何らかの活動の豫備智識、觀測が構成せられたりとも揚言されてゐる。果して然らば、現在までの共匪活とは何らの交渉なきものたるは……

(社説続き：……この共匪に對し、蔣介石も北方も南方黨ほどに重大視せず、北方も南方黨も、むしろ歡迎してゐる傾きがあるのは、南北ともに身のほど知らずといふの外ない。若しこれを放置し、南北の對峙に沒頭せんか、ロシヤ第三インターの乘ずるところとならんこと必定なりと申さねばなるまい。)

北方政客、學良氏と黨制問題を協議
奉派は依然中立態度

【天津特電十二日發】張學良氏は本日午後英國軍艦ケンド號に赴き參觀し、夜は夫妻共に司令官の晩餐會に臨んだ、張群、方本仁、羅文幹その他多數の政客北戴河に集まり北方黨部の問題に關し愼重に協議をしてゐる、東北側は依然として中立を執るもの、如きも山西側は軍惠總氏等を派遣して張氏を說得することに決定し今明日中に北戴河に赴くが政府組織は右張氏の回答と軍事の勝利如何を問はず成立を見るであらう

失ふ處を低資融通に依り一般社會の利益に還元せしめ得る又更に預金部資金貸出し方法に依つては一層社會の必要に應ぜしめ得べきを以て此の點に就ても當局の考慮をなしたる處である……と報告し別項の郵便貯金利率引下げを決定し幣原外相より常設國際司法裁判所議定書批准に關する件並に目下商議中の日支海底電線問題につき報告し財部海相より長沙事件の情勢報告あり正午散會した(電信故障延着)

共匪意外に強く何鍵軍退却
長沙大混亂に陷いる

【佐世保十二日發電通】長沙發佐世保鎭守府着無線電信に依れば入城した何鍵軍は逮捕せる共匪一千名を銃殺し十日劉陽方面で猛威を振ひつゝある、共匪軍討伐に向つてゐるが共匪軍の勢力意外に强く何鍵軍は長沙より十四支里の地點まで退却した、これが爲め何鍵氏入城以來平穩に歸してゐた人心は再び動搖し避難のため大混亂を呈し在留邦人は十一日午後三時全部中の島に避難した軍艦二見來港當地の警備に當つてゐる

濰縣邦人青島へ避難
大連を經由して

【天津十二日發電通】濰じめ婦女子全部を青島に避難せしめ引續き濰縣に踏み止まつてをつた在留邦人男子三十五名は濟南經由本日午前當地到着明日の便船にて大連經由青島へ赴くことになつた

定例閣議々事

【東京十二日發電通】十二日の定例閣議は旅行中の松田拓相缺席の外全閣僚出席の下に開會、小泉遞相より郵便貯金利率は近年市場金利との均衡上高率なるのみならず最近郵便貯金に吸收される資金多く制度本來の目的を越えんとするものありよつて郵便貯金利子を今引下げる事は直ちに預金部資金貸出し利率を低下し産業、社會政策、公共事業資金を低利ならしめ預金者が利率において……

郵貯利下決定

【東京十二日發電通】郵便貯金利子引下げに關し十二日の閣議で左の如く決定した
一、郵便貯金利率は四分二厘(六厘利下げ)に引下げる
一、右は十月一日より實施す
一、据置貯金は同率(六厘引下げ)引下げる
一、植民地郵便貯金利率は之に準じて引下ぐ
一、十月一日以後の預金部貸付金利率は同率(六厘)の引下げをなす
一、既往貸付金に對しても出來るだけ其の利率引下を考慮す
一、右列記せる內未決定の分に就ては藏相、遞相、商相、農相、內相に依つて之を決定する

海軍補充計畫費は最少限度三億數千萬圓
軍縮剩餘による負擔輕減至難

【東京特電十三日發】ロンドン條約による海軍補充計畫は未だ軍令部にて決定されず、從つて財政計畫上留保された主力艦並びに補助艦の建造財源が果してどれだけ餘剩となつて國民の

負擔輕減に充當されるか全く見込みがついてゐない、明年度豫算編成は今や各省において着々進行してゐるのであるから、一般豫算と切り離して補充計畫の豫算を計上するにしてもおそくも十月一杯には大藏省の査定を終らねばならない、故に軍令部にては目下補充計畫の細目に亙り調査研究を進めてゐるが、その內容は航空機の擴張、大巡改造、潜水艦の編成替、驅逐艦の建造年限繰上げなど種々あり、その計畫如何によつて

補充計畫に要する經費の上に多大の差異を生ずべきも、先づ最少に見ても三億數千萬圓を要するといはれてゐる、然るに昭和十三年度までの海軍留保財源は五億二千萬圓であり結局一億數千萬圓の餘剩財源を生ずる勘定であるしかもこれは補充計畫を最少に見た場合の計算であるが事實上海軍補充計畫が三億數千萬圓に止まらず更に巨額の計畫を必要とされるにおいては餘剩財源等期待し難かる可く、現に明年度の如き保留財源二千萬圓に對し、殆ど同額の補充計畫を必要としてゐるので、政府がかねて言明した如く軍縮剩餘金によつて國民負擔の輕減を行ひ得るや否や

全く疑問である、また明年度以降においても補充計畫の如何によつては財源不足し一般歲入の激減見込みと相待ち、財政の餘裕を生ずる事は期待し難く、從つてこれに依り減稅を實現する事は甚だ困難な事情にあるので、政府としてはこの國民に對する公約履行を如何にするかに就き非常に苦心するであらう

が、各省での省議の模樣では陸、海軍兩省を始め農林商工その他も新規事業費を多少に拘らず計上し、失業救濟又は法律上止むを得ざる事業費として要求する方針に出でやうとして居り、これ等は何れも大體において海軍々縮剩餘金を目當の要求と察せられるがその軍縮剩餘金は既に六年度の減稅の財源に振り當てることに決定してゐるので各省の新規要求は到底これを容認する餘地なく、大藏省は豫算編成の基礎方針に從ひ斷然これを拒否することに肚を決めて居るから本月末各省の豫算概算書出揃ふと同時に猛烈な豫算爭奪戰が開始される模樣である

豫算爭奪戰
今月末頃開始されん

【東京特電十二日發】明六年度の各省豫算概算書は各省當局で目下調製中であるが完成迄にはなほ相當の時日を要し豫定期日たる八月十五日までに提出されるものは商工省一省に止まりその他の省は何れも月末までかゝるものと觀られて居る、明年度の豫算編成は蠶の閣議で決定した如く各省共新規事業は一切計上しないことになつて居る

勞農、露領樺太をアメリカに讓渡說
期限九十九ケ年で

【ハルビン特電十二日發】ロシヤは外貨を必要としアメリカに對し九十九年の契約で露領樺太を割讓したと露人は傳へてゐる

勞農一流官商が北滿に進出計畫
特産出廻期を機會に

ロシヤ貿易機關ゴストルグは相當大きな痛手を受けて以來前年の如きは北滿貨物に對し殆ど手を出さない狀態に陷つたがロシヤではこのゴストルグに代つて官商エキスポートフレグを進出せしめることゝなりその代表者ウヤルコフ氏は七月哈爾賓に到り目下支店開設の準備を急いでゐるといふ、同官商の活躍開始は十月の出廻り期からだがゴストルグの浦鹽輸出集中策をエキスポートフレブは東南兩行を取扱ひ大豆の南行は混合保管制度を實施してゐる關係上その希望は滿たされまいと見られてゐる……ルグに代つたエキスポートフレブが活躍期に入つて果して南行貨物をも取扱ふかは甚だ疑問視されてゐる內にエキスポートフレブは十年前に設立された穀類の海外輸出機關であつて二千七百萬留の資本を擁してモスクワに本店を有し各地に支店を置きロシヤ一流の官商であると

特産檢査委員會設立

【ハルビン特電十二日發】東鐵西部線安達驛は西部特産の集散地として知られてゐるが、昨年不正品の輸出で信用を失墜したので本年特産出廻り期には特産輸出檢査委員會を設立したいと豫て行政長官公署に申請中であつた處許可の指令があつたと

遼寧當局の不況對策

遼寧省政府では最近財界不況のため各方面よりこれが救濟請願頻々たるに鑑み臧主席は此程各關係當局者を召集討議の結果左の如き對策を實施することにしたと
一、各縣長、公安局長、商工會等に訓令し商民の金票による取引を禁止す
一、金利の引下げを斷行す
一、銅元の密輸出を取締る
一、官銀號を經て各縣、號に通令し
一、貸出し利子を一分六厘とし三千元限度の資金を貸出す
一、金票の思惑賣買を禁ず

露支交涉好轉か

【ハルビン特電十二日發】ロシヤ領事館に勞農政府からエムシヤノフ、理事ウオイトフ、カリーナ技師の歸還命令をして來たが拒絕したと白系露人は謂いでゐる、若し事實とすれば露支正式會議の好轉を示すものだと支那側は觀測してゐるが眞僞の程は不明である

會議所聯合大會
來月下旬長春て開く

來る九月廿六日から二日間長春において第十三回滿洲商工會議所聯合會が開催に付、主催地長春商工會議所から各地會議所宛十二日付左記通知狀を發した
一、提出議案は規則第十條により開會三週間前(九月五日)に又出席者氏名通知書は九月二十日までに常所に到達する樣御差出相成度候
二、議案整理に關する書記長會議は九月二十五日(聯合會開催前日)午後一時於常所開催致候に付御出席相成樣御取計被下度候
三、第九回聯合會において委員附託となり當所において具體案を作製し委員會に附議する事と相成居候滿洲邦人特産物商助成振興策に關し九月廿五日(聯合會開催前日)午前十時於當所委員會相開き度目下案の作成を急ぎ居候に付成案次第正式御通知申上可候へ共右豫め御含み置被下度申添候

中心教首魁康の爲人
革命家の息子

【安東特電十二日發】寧邊中心教の檢擧取調は尙ほ續行され終了い分は續々新義州檢事局に送致され更に檢事局において取調が行はれて居る

平北における中心人物は康弘國(こ)で今猶寧邊において取調を受けてゐるが同人は相當學識あり實父は例の甲戊事變の亂に義軍を起して遂に悲慘の最後を遂げた者である、が生前常に弘國に向ふ父の遺志を繼ぎ國事に奔走して立派なる最後を遂げよと教訓したもの、弘國は成長の上或時は基督教に走り或時は天道教に參じたが何れもその意に滿たず失望してゐたが三年前中心教を知りこれを研究するに從つて大いにその意を滿たすものあり最も熱心に研究して遂に重きをなし目下平北總領として采配を振つて居たものである

哈銀、滿銀合併問題
愈よ圓滿成立か

【ハルビン特電十二日發】哈爾賓銀行の定時並に臨時株主總會の結果支配人の永井利夫氏は鮮銀に還り、天野氏が專務に就任に決したが滿洲興業銀行は左の如き聲明書を出した
鮮銀は哈銀株二萬五千株を有し哈銀を子銀行として經營するの機會が到來したから勇退するに至つた、必らずや鮮銀は地方銀行の使命を果されるものであらう
滿鐵と哈銀の合併は昨年來から鮮銀が仲介となつて斡旋に努めたが進捗せず今日に及んだが、鮮銀重役をして一部の銀行業務を取扱ふに至れば機會の到來は再び滿銀と哈銀の合併を圓滿に成立せしめるものだと見られてゐる

濱町發電所安東に移轉

南滿電氣では、近年安東における電力の需要頓に增加し、到底現在の同地發電力六千キロワツトにては供給不充分となつたので、今回右補給策として現大連濱町發電所五千キロワツト發電機一臺を同地に移轉增設三千キロワツトを發電せしめ、合計九千キロワツトの……

緊縮標語の消印
滿洲各郵便局で準備

遞信局では曩に滿洲公私經濟緊縮委員會が懸賞募集した標語の內、左の五種を選び郵便日付印に挿入方手配中であつたが今回現品が出來上つたので、大連、沙河口、旅順、奉天、撫順、長春、安東縣等自働消印機使用局をして順次使用せしめることゝなつた

クルド族叛亂詳報

【テヘラン(ペルシヤ)十二日發電通】當地へ到着した旅行者の談に依ればクルド族の叛亂の爲めアフガニスタンのチヤラート……

條約精査委員の首實檢
何れを見ても苦手
穩健な長者金子は緩和劑

【東京特電十三日發】樞府のロンドン條約審査委員が決定した條文の誤譯、軍令部長答文の提示問題に絡んで政府對樞府の交渉が妙にこぢれてゐる折柄その審査委員の顏ぶれは何といつても天下の視聽を引いたものだ、ところでそれがやつと纏つて蓋をあけた結果は果してどうだつたか、
◇―――◇
政府側は多少豫期しては居たものゝその顏ぶれは豫期以上に「不利」「失望」「困惑」ものであつたらしい、先づ政府が最も意外とした……

……かに信賴してゐた顧問雅太郎氏が出なかつた事も政府にとつて痛事だ、
◇―――◇
……ら政府にとつては寧ろ頼もしい緩和劑だらう、
◇―――◇
久保田讓男の整然たる論理、山川健次郎男の細微なる觀察、田健治郎男の大局論と共に政府の二大難關だ、更に軍部方面を代表する河合操大將の(條約反對の强硬論者たる黑田長成侯、財政家たる荒井賢太郎及び水町袈裟六兩氏何れも一世の剛の者揃ひだ、中にも水町氏は濱口首相の嫌嫌ではあるが私情のため公事を曲げるやうな人物ではない、從つて嚴正中立正論と見れば支持もしやうが特に政府に好意を持つ味方と安心出來る人など殆ど一人もないわけだ、
◇―――◇
ライオン首相をとまく政府の亘頭連、智慧者の江木鐵相や安達內相迄「ヘテナ」と首をかしげる相手ばかり、變色は永田町邊に深まつてゐる、政府對樞府の關係が今後どう進展するか、こじれた兩者がどう解決するか、興味は深く面白くなつて來た【寫眞　右上から伊東、金子、河合、黑田、左上から石田、水町、荒井、山川の諸氏】

關東軍異動者赴任日割

今般の陸軍定期異動に伴ふ關係者の出發到着(旅順帰)は左記の通り決定したが……

九州並中國地方及朝鮮風水害義捐金募集

今次九州並中國地方及朝鮮に於ける大暴風雨は各地に稀有の慘禍を與へ多數の罹災者は苦熱灼くが如き炎天の下に住むに家なく食ふに糧なき悲慘なる狀態にして眞に同情に堪へず依て吾等相謀り左記に依り義捐金を募集し救護の一端に資せむとす大方諸君奮て御贊成あらむことを

義捐金募集方法

一、義捐金は大連市役所に於て受付を爲す
二、義捐金は一口五拾錢以上とす
三、寄附者の芳名は滿洲日報、大連新聞に廣告し受領證に代ふ
四、募集締切期日は八月三十一日とす
五、義捐金の處分方法は發起人に御一任のこと

昭和五年七月二十九日

發起人(次第不同)

大連市長　田中千吉
大連新聞社長　寶性確成
區長　小島鉦太郎
長崎縣人會副會長　立石保福
鹿兒島縣人會長　上村哲彌
佐賀縣人會長　辻慶太郎
沖繩縣人會長　玉城喜四郎
山口縣人會幹事　藤田秀助
滿洲日報社長　高柳保太郎
區長　松田淸三郎
區長　野村宗
福岡縣人會長　村井啓太郎
熊本縣人會長　竹田菅雄
宮崎縣人會長　佐藤至誠
大分縣人會長　小田斌

海務局の豫算打合せ

關東廳海務局長、篠崎同局海務課長は明六年度同局豫算打合のため十二日東京旅順關東廳において來往地方課長十河氏に豫算案の內容を說明し午後四時離旅したが、明年度は關東廳の豫算編成方針が緊縮主義であるため何等目新しき事業もないと

內相に定期敍勳

【東京十二日發電通】十二日安達內相に對し左の如く定期敍勳の御沙汰があつた
內務大臣從三位勳二等　安達謙藏
敍勳一等授瑞寶章

關東廳辭令(十一日附)

關東廳中學校教諭(大連一中)　今北順吉
正六位勳六等
任關東廳高等女學校教諭　敍高等官七等
關東廳高等女學校教諭　今井順吉
四級俸下賜
旅順高等女學校勤務を命ず
關東廳高等女學校教諭(旅順高女)
陸軍步兵少尉從六位　平野爲作
任關東廳中學校教諭　敍高等官五等
關東廳中學校教諭　平野爲作
六級俸下賜
大連第一中學校勤務を命ず

うらる丸の船客

【門司特電十二日發】十四日入港のうらる丸船客左の如し
大森吉五郎(滿鐵新理事)田中新吾、松本……

滿日地方版

奉天

貸金返濟説諭や持逃げなど激增
惱まされる奉天署

不景氣の深刻化か最近金錢貸借關係による返濟方の説諭願、持逃げ捜査願ひ、保護願等毎日の如く數件も續發し奉天署でも之が整理處置に多忙を極めてゐるがその主なるものを擧げると左の通りである

◇浪速町十一番地□譯人（氏名不詳）に對し信濃町五番地海關章は十三圓四十四錢の品物を貸與し五月となつて七十錢を受取つたのみで殘金は再三催促するも返濟しないのみか却つて鉄を逆手に持つて脅しつける始末に手に負へず遂に其筋へ説諭願ひを出した

◇平安北道生れ金義孫（二〇）は浪速通洗濯業福屋方に外交員として雇はれその後解雇されても得意先から洗濯物を持ち來るので之を仕上げて配達に出した處得意先には持ち行かずそのまゝ品物を持ち逃げたので目下所在捜査中である

◇長崎縣壹岐郡生れ倉本すが（四一）は大正十一年二月無斷家出しその後同年四月奉天から一度便りがあつたのみ音信がないので所在捜査中であるが本人は相識人となつてゐると

◇柳町松鶴樓藝妓立花雪子（二六）は病氣のため名古屋に歸郷し靜養してゐたがその後圖滿を促しても歸奉せぬのみか去月十九日轉居したまゝ行方不明となつたので捜査願ひを出した

◇兵庫縣揖保郡小宅村メリヤス行商人中島仙太郎（二〇）はメリヤス行商のため本年四月朝鮮に渡り各地を行商中資本なく金錢に窮し安東まで辿りついて職を探したが思ふ處なく意を決して安奉線を線路傳ひにテクリ八月九日着奉したしかし奉天においても全く之といふ職もなくその中無一文となつたので遂に十二日奉天署へ保護願ひに出た

缺食兒童の救濟策

缺食兒童救濟策として滿鐵當局は沿線における各小學校に對し貧困にして晝食辨當持參し得ざるもの又は持參辨當が榮養不足にして給食を要するもの等の救護をなすべく小學校に對して來る十五日まで缺食兒童につき左記調査の上報告をなすやう命ずる處あつたがその數は相當多數に上る模様である

一、家族の生活狀態に就て
二、經歷は世帶主の經歷を概略記入すること
三、兒童の就學狀況について
（イ）貧困にして晝食辨當を持參し得ざるもの、氏名學年男女別
（ロ）辨當の榮養不足のもの、氏名學年男女別
（ハ）現在は辨當を持參するも將來給食を必要とする者の氏名學年男女別

全奉スポンヂ大會
廿四日擧行申込は十七日迄

奉天體育協會主催全奉天スポンヂ大會は廿四日午前九時から滿蒙間町において擧行されるが出場希望者は十七日までに野田運動具店まで申込まれたいと尚主將會議は十七日午後八時半申込所にて開催の由

人事

▲三宅關東軍參謀長　十一日過奉長春へ
▲韓麟生氏（吉長鐵路局長）　十一日長春へ
▲關大陸上競技部選手一行三十一名　十一日來奉

町の便り

市內春日町五番地編井光次は十一日午後二時頃中村某振り出しの約束手形（額面二千圓）を所持し春日町中村陶器店から市場正門通りを經て滿洲銀行に行く途中紛失したのでその筋へ屆け出た

◇奉天驛管內中間驛長事務打合せ會は十一日午後一時から本溪湖倶樂部に於て開かれ種々打合せをなす處あつた

◇ロッグと云つて知られてゐた奉天一の大犬は去る八月三日飼主なる江島町三番地森盛榮方から姿を消したのでその筋へ捜査願ひを出したが同犬は目方十六貫あり兩耳を切られ短くされてゐた

滿滴

◇柳町天狗の藝妓照也が「妾は稼業が嫌だから何とかして是非廢業さして下さい」と前借千七百圓はそちのけにして實に虫の好い事を願ひ出で▲斡旋役の救世軍と當の警察を手古摺らし駄々をこねた揚句大連の實妹が前借の後始末を引受けてアッサリ足を洗ひ大連に引上げて行つた▲琴平町七番地カフエー鈴蘭の女給玲子（二）も金物屋の色男と勝手な眞似をして姙娠しこれでも夫婦になれないなら死んであの世で添ひ遂げますとこれ亦勝手な注文を持ち出し猫いらずをあふつた▲照也の出願も金のかゝらぬ駄々をこれとほしてどうやら成功、玲子の毒藥騷ぎも命は助かるし今は晴れて夫婦の仲、生れ出る子供の處置に窮したものが一日も早くお芽出度をお待ち兼ねの有様▲一寸した事ではあるが斯界の娘子軍女給連にとつては重大問題でそんなに容易に出來ることなら妾も妾も……▲とどつこい警察の目玉が光つてゐる社會の秩序を亂すやうなことがあればそれこそ思ひもよらぬ罪人となる▲だが〳〵何ぼ籠の鳥でも習慣をしぼれば何とかならぬ廿世紀の世の中でもないぜ

醫療代の値下研究
奉天醫師會で

大連醫師會では時代に順應して藥價、診察料の値下げを斷行することに決定し奉天醫師會でも右同樣考慮中で來る九月七日の例會に於て之を提案し協議することゝなつてゐるが西田醫師會長は語る

値下げについては充分考慮する餘地があるとなし目下藥價につき調査中である、奉天の診察料は好況時代も現在も五十錢で左程高くはあるまいと思つてゐる藥價は大連に比し輸入税が約一割五分もかゝるのでこの點も調査研究しなければならぬが、出來るだけ一般患者の負擔を輕減することに努力する考へである何れ來月の例會には色々打合せがある筈であるから同席に於て何等かの具體的案が出來上るものと思つてゐる

旅順の惱み（七）
一記者

國際都市の施設

◎旅大は國際都市だと云ふ、或は國際都市たらしむべしと云ふ、これに對して未だ關東廳にも滿鐵にも反對論のあることを聞かない、然らば國際都市としての施設が完全に行はれてゐるかどうか、或は着々として進められてゐるかどうか。

◎道路も立派、並木も綺麗、殊に諸建築物は堂々たる石材や煉瓦で文化を誇り、少くとも形の上では既然國際都市の名に恥ないけれども其建物のおかげで吾等在滿邦人は、障子一重に大自然と親み、新しい空氣と日光とを滿喫してゐた內地の生活から、一轉してロシヤ式の窓の少いそれも二重ガラスの家に疊を敷いて塵埃をうづまかせセッセと肺病を製造してご座る。

◎更に旅大住民の最大多數を占むる中國人に對しては、所謂內地延長主義とやらの國粹論で人情風俗の相異もおかまひなしに內地そのまゝの法規命令で縛つてゐる事が多い。

◎此頃も大連中國人の賭博類似の營業を取締るとか、中國人のみの倶樂部にも賭博類似の事は嚴禁するとか新聞に傳へられてゐるが、民國では上は官吏から下は苦力に至る迄、賭博は最愛の樂しみの一であつて決して罪惡ではない。

◎苦力の天國小崗子の露天市場では、銅子兒で菓子を買ふにもぐぢ引いたり玉をころがしたりして喜んでゐるではないか、子供等は錢の打つ付けつこを何よりの遊びとしてゐるではないか。

◎民國の大官紳商ほど日常手許に多額の現金を用意してゐる者は他國に其比を見ないと云ふ、信用して預金し得べき外國銀行が傍にあつても、彼等が相當額の現金を手許に必要とするのは他でもない賭博の爲めである。

◎租界內は絶對の安住地とされた上海や天津も近頃は大分不安住地となりつゝあるに拘らず、依然として多くの亡命客や富豪を惹き付けるのは、民國人として民國人らしい生活が出來るからではあるまいか、上海の競馬や犬の競馬（は一寸可笑しいが競犬では何判り悪い）大デパートメントストアの各種娯樂設備等の繁榮振りは實に大したものではないか。

◎歐米式に完備した上海の三四の映畫館が歐米の映畫やニュース物を上演してゐながら、觀客の大多數は民國の紳士淑女である事も見逃してはならない。

◎顧みて旅大兩市を通じ、最大多數の住民たる民國人に對し、民國人の爲の施設や設備が果してどれだけあるか。

撫順

州外相撲大會
百餘名の猛者を蒐め 來月七日擧行の豫定

撫順相撲協會主催で九月七日第一回州外相撲大會が擧行される、參加力士は百有餘名、撫順、安東はまづ二チームを、奉天また醫大軍中軍を編成すべくその他鞍山、四平街等參加し未曾有の盛況を呈する筈である、右は十一日夜の相撲協會及び同關係者會議の結果決定したもので目下夫々準備中である

撫順軍惜敗
對同志社柔道戰

關西武道界の梟雄同志社大學軍と撫順柔道部の肉彈相搏つ大接戰は十二日午後三時半より奉天の館岡六段審判裡に紅白試合が行はれたが、撫順軍の立技に對し同志社軍の寢わざ功を奏し大將黒川の不戰者を殘して同志社軍辛勝した 五時半その經過次の如し

撫順　同志社
（○印勝、×印分、△印負）

（一級）松　口△—○石　田（一級）
（一級）佐土原×—×石　田（一級）
（一級）上　田×—×上　田（一級）
（初段）高　橋○—△河　合（初段）
（初段）高　橋×—×永　谷（初段）
（初段）清　水×—×金　岡（初段）
（初段）大　板×—×森　田（初段）
（初段）池　邊△—○網　島（初段）
（初段）山　口×—×網　島（二段）
（二段）大　串△—○二　宮（二段）
（二段）阿　萬○—△二　宮（二段）
（二段）練　山△—○木　下（二段）
（二段）練　山×—×木　下（二段）
（三段大將）三　雲×—×福　見（二段）
（不戰）黒川（三段大將）

東鄕、庶務の兩チーム愈々けふ決勝戰
全撫體育ボール大會

吾が社主催來る二十四日奉天において行はれる體育ボール大會出場豫選を兼ねたオール撫順體育ボール大會は十一日午後四時より中央事務所横コートにおいて梅田、中島林田等の各氏交々審判裡に出場選手九十人、華々しく行はれたが東鄕及び庶務の二チーム二勝優勝候補となつたが日沒のため決勝戰は今十四日行ふ事とし六時四十分終了した、尚全滿鐵體育ボール大會へ撫順よりの出場チームは前記東鄕、庶務の二チームと今一チーム計三チームである、當日の試合經過次の如し

第一回戰
A　楊柏堡　二—零　運輸
B　庶務　二—零　大山A
C　東鄕　二—零　工務
D　經理　零—二　大川B
E　老虎臺　二—一　青年團

第二回戰
東鄕　二—零　楊柏堡
庶務　二—一　老虎臺

嚴罰に處されん
不都合な愛輪タクシー 運轉手等三名も過失致死罪に 森內投手轢殺事件關係者處罰

去る六日午前零時三分撫順野球部森內投手を轢殺した事件發生以來撫順署司法係では事件を重大視し各關係者を連日喚問嚴重取調中の處 十二日取調べ漸く一段落したが撫三〇號を運轉せる無免許運轉手王家歡、電氣機關車運轉手何裕泰、踏切番劉文の三名とも業務上當然の注意を缺きし事明瞭となり何れも業務上過失傷害致死として送局に決定した、尚愛輪タクシーは本年六月以降數度の警告をも肯ぜず無免許運轉手をして連續的に乘客自動車を運轉せしめつゝあつた事暴露し自動車營業取締規則違反として輕くて營業停止乃至營業取消の處分に處せらるゝ如くである

死體を遺して遁走す
六人組匪賊

十三日午後七時十分頃南昌洋行露天掘事務所前にて長銃二挺拳銃四挺所持の六名組強盜を特別警戒中の撫順署丁巡捕の一行が發見、約四十分に亘り交戰し遂に賊の一名を射殺、急報に接した撫順署では寺田署長以下雨を衝いて總出動したので賊は死體を遺棄して露見毛部落方面に逃走した

古城子で爆發物盜難
採炭所內部に連累者？

炭礦部古城子採炭所は近來秘密主義を執りすぎると非難の的となつてゐる、七月二十三日午前四時三十分古城子露天掘第三エンドレス附近に貯藏せる綱岩用の硝安火藥四十五グラム入十六個及び電氣

天津

吾等の町を語る
塘沽と併合必要
天津大貿易港完成のため
前行政委員會長　臼井忠三氏談（五）

北平は今や反蔣聯合軍の旗色のよきと共に、再び北京の名を復し得可きかにも見ゆる、併し乍ら北平は四百餘州の政治の中心首都たり得ると否とに拘らず、其教育文化の淵叢としては、今既に儼として民國の首都に外ならぬのである、曩に京首都の文化が、清朝末期に於ける其思想界及び政治界の墮落腐敗と共に、今や形骸の上からは見る蔭もなく凋落して、西山一帶の宏壯なる大伽藍の日々に荒廢し行くさまは、徒に往昔の盛時を偲ばしむるのみに過ぎぬやうだが、數百年培はれた文化の流れは潤盡きたのではない

民國創造の數年前から、泰西の文化に刺戟された新しき老大國の新文化は、此古き流れの中から芽生え來つたのである、民國十有九年にして、今や北平の內外に開設されたる大學校の數は十指を屈するにちかい、滿市鐵路を帶ぶるもの、闊歩するありて、武殿戰時を想はする北平の西北、降佛寺街の一角には、數千坪の地域を劃して現に平民大學が其工事を急いで居る、南方支那が上滑りの新思想と新文化の形式だけに走つて政治に、教育に、社會組織に徒らに急を追ふ時、北方支那は尚多くの內亂の戰亂暗黒の天下として、之を淺薄なる觀察眼からは見逃すであらうが、教育の都北平には幾萬の

青年子女が、日夜孜々として學んで居る、第二民國を形成する彼等の搖籃の地が北平である事は刮目して見ねばなるまい。斯の如くにして、政治の首都北京を失ひたりとも、北平の前途は教育文化の都として其の運命は悠久である、貴社が望まれたる「吾等の町天津」を語るには、私は餘りに日本人を離れ過ぎたかも知れぬ。乍併天津、北平を語るに、其日本人の存在は餘りにも小さくみじめだ、二十年近き內亂の餘波は、小さなる力無き日本人を翻弄し盡して吾等は今、全く氣息奄々である在留三十年營々として築き上げた可憐なる在留民の地盤は、今や世界的不況の大波に、遂に此地盤を洗ひ去られんとして居る、而も國を擧げて母國の朝野は、國難來の叫びに、先づ各自の足元に注目するのみか、然らざれば徒らに政黨の爭奪に狂奔するものゝみ、遂に

海外發展の遠大なる國策に眼を馳するものは寥々たるの有樣である、然りと雖も吾等は徒らに失望してはならぬ、吾等が大天津の前途の洋々たる、上來說く處の如くである、如何にしても、あらゆる艱苦に堪え、堅忍不拔吾等も亦大天津の建設完成に精進するの大勇猛心を堅く〳〵有たねばならぬ。然るに多年模範居留地の讃辭に浴した、吾が居留民の集團的生活の內情は悲しむべきものがある、此三四年來徒らに平地に波瀾を捲き起さして、村政々爭の爭鬪に不況に泣くものが、更に不生産的の爭命に疲るゝもの少しとせない、家貧しうして孝子出でず、故に蕩兒續出の悲運とも云ひ得よう、之を語るは私の餘りに愧かしく忍び得ない處である（完）

瓦房店

最後の奮戰奏功 凱歌再び金州軍に
州內北部庭球リーグ戰

十日普蘭店驛コートにおいて金州、貔子窩、普蘭店の三チームは本社寄贈優勝旗の爭奪戰を擧行した、前年の優勝者金州軍より優勝旗の返還あり本社瓦房店支局長及び普蘭店民政支署長池田公雄氏より一場の挨拶ありて午前十時より試合を開始、この日貔子窩より署長以下四十餘名の應援團來着し金州よりは本丸氏外三十餘名普蘭店は地元の事とて署長外多數の應援ありて應援旗をおして中々の熱中振であつた、第一回は金州、貔子窩の對戰にて金州軍の勝となり、第二回は貔子窩普蘭店の戰にて貔軍よく戰ひしが惜敗、第三回は金州、普蘭店の對戰にて五組までは兩軍同點なりしが最後二組にて勝敗は決せられ金州軍に凱歌上る、經過左の如し【寫眞は優勝旗授與、向つて左より普蘭店、金州、貔子窩】

第一回戰
貔子窩軍　金州軍
（池端 久保）○—四（竹氏 藤原）
（井上 井上）四—○（池下 藤井）
（山口 堀）四—一（中村 楠美）
（木須 曾我部）一—四（高見 川人）
（米村 下川）一—四（中原 阪成）
（成島 瀧口）四—一（太田 青山）
（二見 一三）一—四（辰日 鹽田）
十五點 對 十八點

第二回戰
貔子窩軍　普蘭店軍
（木須 長曾我部）四—一（山路 石森）
（井上 上）二—四（高橋 孫）
（山口 堀）三—四（布川 一尺八寸）
（二見 一三）四—三（鈴木 林）
（田中）○—四（梅本 川端）
（成島 瀧口）三—四（西川 中川）
（米村 下川）四—三（町田 山元）
二十點 對 二十三點

第三回戰
普蘭店軍　金州軍
[illegible]
（市川 一尺八寸）四—○（太田 青山）
（高橋 孫）四—二（辰日 鹽田）
（町田 山元）○—四（高見 川人）
（鈴木 林）○—一（池下 藤井）
十四點 對 十九點

長春

お名殘の水泳大會
十五日西公園プールで

西公園プールは毎日非常々の繁昌であるが、閉場期間が近づいて來たので社會係では來る十五日の金曜日同所で水泳大會を開催する事に決定した、競技は二十米、三十米、五十米であると、因に餘興もある由

講習會二ツ

長春社會係主催で十五日ウイルミナ女學院教頭西野貞子女史の「文化の叫び」と題する講演會十七日夜成城學校玉川學園主事小原國芳氏の「家庭教育の實際」と題する講演會が開かれるが場所は滿鐵倶樂部の豫定

長春署の精勤者
證書を授與

長春署では十二日午前八時半から樓上で左記十名に對し署員全部參集し嚴肅に精勤證書の授與式を行つた
德永清△佐藤源太郎△池水喜一△鶴木親雄△門脇喜三郎△川添忠次郎△甲斐大三郎△園田國太郎△松本賢次郎△山野內久

合同キャンプ

長春健兒團では十三日から向ふ一週間西公園において鐵嶺哈爾賓台同のキャンプ生活を實施すると

西山は窃盜常習

數日前池田司法刑事の手に逮捕された原籍熊本縣飽託郡生れ住所不定無職西山一雄事西山眞男（二〇）は目下取調中であるが、窃盜前科三犯あり、安東では數百圓の窃盜を働いたものらしく十二日朝安東署より司法刑事一名來長し引續き嚴重取調中

鐵嶺

民會議員の任期
◇二ケ年に變更さる◇

豫て審議中であつた鐵嶺居留民會規則の改正は民會において改正案を協議し領事館に申請中の處八月五日附を以て十二日に館令で發表された、改正規則は第四條を始めとして一部分に過ぎないが主要點は、從來民會議員の任期一ケ年を二ケ年とした事である、新規則は公布の日より實施される筈であるから來年三月の民會議員改選は行はれぬ事となり今後は商議、地方委員同様二ケ年目に一度づゝ改選

簡閲點呼終了
成績頗る良好

鐵嶺管內の本年度の簡閲點呼は十二日午前八時半より小學校において高木中佐執行官となつて行はれたるが應召者六十一名のうち入院中の一名を除き六十名出席一人の遲參もなく既教育四十一名、未教育十九名二班に分れて點檢、動作、應答分列等に次いで十時より學科及び講話であつたが何れも優秀の成績を示して執行官から賞讚された

四平街

四洮線の復舊工事進捗

過般來の豪雨で四洮線鄭家屯玻璃山間浸水し列車の運轉不能に陷り旅客は徒歩連絡に多大の困難を來せしは既報の如くであるが、其の後之れが復舊工事に全力を傾注せし結果遲くも十四日には復舊竣工し得る見込である

馬賊頻に出沒

昨今當附屬地外四洮鐵路局附近に馬賊の出沒頻繁にして同局公館の人々に著るしく脅威を與へるのであつたが、愈々同局考工課に於て之れが豫防對策について協議中であつたが高級公館にはそれ〳〵警報ベルを取りつけ馬賊來襲に備へることゝなつた

市民協會の役員會

四平街市民協會は十四日午後八時三十分より協會事務所に役員會を招集左記につき協議會開催の筈
一、昭和製鋼所滿洲設置賛否の件
一、土地貸付料金値下に關する件
一、市場經營計畫に關する件
一、諸物價値下に關する件
一、町名改正に關する件

營口

驛の乘降客俄に激增
支那鐵道不通で

營口驛の乘降客數は鞍安と支那鐵道當局の活躍によりて大影響を蒙り一日平均僅かに乘客五百八十名降客五名に過ぎざりしが、降雨にて支那鐵道の不通により乘降客一躍二千餘名に達し、同鐵道の開通までには尚此現象をつゞくべしと貨物方面に於ても同一現象をあらはすべき筈なるも差したる增加なきは洪水の爲各地に於て荷動きの停止によるものにて、之を以て直に支那鐵道貨物の輸送がさまで增加したるものにあらずと樂觀するは早計であると

小學同窓會盛況

營口小學校同窓會は十日午後零時から同校講堂に於て開會、會員及來賓七十餘名の來會者あり各種の餘興に次で各自懷舊談に耽り盛會であつた

附屬地附近に多數の馬賊現る
公安局の討伐隊出動

數日以來三家子及侯家油房を荒した六十餘名より成る馬賊の一團は漸次南下して今や營口附屬地附近の高粱畑に移動し來り十六日夜は露國人墓地東方の畑中に夜を明かしたるもの如く新市街を距る僅に十五六丁餘の競馬場附近の大和庄屯、崔家窩房、大川心甸等に出沒し危險極まりない、牛家屯公安分局では本局に對し即時討伐隊の派遣を請ひ既に本局より同方面に向け多數の騎馬巡警隊出動した

開原

兒童署休終了

開原小學兒童等が樂しんだ夏休みも愈々十五日で終り十六日は全校兒童が登校して始業式を行ひ十八日から授業が始まると

國勢調査打合會

開原警察署樓上講堂において十二、十三の兩日午前九時より國勢調査委員を召集し行政區劃說明講師となり打合並びに訓練を行つたと

高橋主事出連

高橋地方事務所主事は大連において開催の組合主事會議に出席のため十四日出連すると

四巡查に精勤證書授與

開原警察署にては十二日午前八時同署講堂において山部大藏、渡邊一、光增俊晴、宮崎智文の四巡查に對し精勤證書授與式を擧行

貔子窩

赤痢十餘名
警察官舍の清潔檢査

昨今の炎天續きに赤痢患者十餘名內五名の入院患者を出し大部分は警察官吏の家族であるがこれが豫防と根絶のため警察官吏官舍の清潔檢査を十三日より十五日までの豫定で實施してゐる

警務對總務野球戰
同點で無勝負

十一日の豫定であつた警務對總務課の野球は十二日貔子窩公園で行はれたが十六對十六の同點で無勝負となつたと

精勤證書授與
警官十二名

當署警務課では十一日午前十時より近藤巡查外七名巡捕五名に精勤證書授與式をなした

鞍山

煙草立毛授賞
鞍山は六名

鞍山瓦房店間の煙草立毛品評會は十日完了し熊岳城溫泉において審査結果を發表し夫々賞品授與されたが鞍山の成績は頗る良好にて入賞者左の如し
△一等平田勇吉△二等平野健太郎△三等細川磯吉△三等杉野與次郎△田中吉助

秋季大運動會打合會

全鞍山秋期大運動會は九月二十八日井々寮横陸上競技運動場において開催せられるが本年は體育協會の組織も成立し運動競技も初めての試みとなつたので、來る十六日午後一時より製鐵所應接室において各方面有志及び體育協會役員會を開催し諸般の協議をなすと

スポンヂ戰主將會議

體育協會スポンヂ野球部では近く全鞍山優勝戰を行ふので十三日午後より製鐵所應接室において主將會議を開催した

小原氏講演

東京成城學校長兼玉川學園主事小原國芳氏は十二日來鞍し社會係主催にて午後七時三十分より會堂において一般のため家庭教育の實際、少青年期の教育等を講演した聽講者多數で盛況

本溪湖

壯烈な武道試合
滿鐵道場の土用稽古納會

本溪湖滿鐵道場に於ける本年度の土用稽古納會は十一日午後一時より盛大に擧行された、試合は少年組の劍道より始まり三十餘名の柔劍士をも交へての熱戰に參觀者の血を湧かした試合終つて賞品授與、植田警察署長の挨拶を以て會を閉ぢたが當日の受賞者左の如し

劍道部
△一等白井△二等王丸△三等山名△四等淵田△五等柳田

柔道部
△一等有馬△二等藤本△三等國武△四等北川

尚今後も引續き毎日午後六時より滿鐵道場にて柔劍道の練習をなすと

中間驛長打合

本溪湖地方事務所の主催に關する管內中間驛長打合會は十一日午後一時より滿鐵クラブにおいて開催、歪頭山より祁家堡までの中間驛長を網羅した他、關係方面よりも出席、協議する所があつた、當日の協議事項左の如し
△集會所に關する事項△社宅に關する事項△戶籍に關する事項△衞生に關する事項△土地建物に關する事項△其他一般事項

小山氏講演

救世軍曾として有名な小山龜太郎氏の信仰演會は十日午後七時より小學校講堂において開催、守備隊を始め聽衆多數參會、十一日午前十一時よりは西本願寺においても同樣講演を行つた

不景氣物語 (六)

喫煙黨も大いに緊縮

▼…濱口首相が未だ大藏大臣の時代、煙草の値上理由を反對黨の人から詰問されたとき正直な濱口氏は「これは贅澤品で人間は煙草を喫はなくとも死ぬものでない」と答辯したことは有名である、禁煙家から觀れば其の通りで、否、むしろ煙草が人體に有毒であることは誰もが知つてゐるが、さて……作業後一服の煙草がどれだけの身體を息め如何に能率を増進させることは科學者の説明を聞かなくとも、また朝床を離れる前に先づ煙草一服などの醍醐味などは到底煙草嫌ひの想像し得ざるところであつて、嗜好品といふよりはこれ等の人々にはむしろ生活必需品と云つても敢て過言でない

▼…その煙草でさへ今日この頃の不景氣や緊縮が響いて賣行の減收を來たし、政府當局はこれが埋合せのためとあつて煙草元賣捌制度を廢止し、これを政府の手によつて經營しやうと決定したのだから世の中に不景氣ほど偉大な力を有するものはない、今こゝに其の營業成績なるものを見ると、景氣的には不良どころか人口増加に正比例して需要は少しづゝ膨脹してゐるが、昨年度あたりまでは其の増加率が年二割四五分であつたのが昭和四年度は僅かに九分といふ成績である。

▼…大阪專賣局管内に於ける最近一ケ年間の數字を拾つて見ると口付が百六十二億七十二萬餘本で前年に比し五億千八百九萬本を減少し、兩切の方は百二十五億七千五百七十一萬本で前年よりは十億八千七百二十七萬本と約一割の増加である、即ち敷島、朝日黨が嗜味經濟の兩道でバット其他の兩切に肩換はりしたものである、次ぎに賣上額から見ると、敷島、朝日の口付一億千百五十七萬二千餘圓で前年より六百十三萬餘圓の減收を示し、バット、スター等の兩切は七千九百五十二萬三千餘圓で七百三萬餘圓の增收である。

▼…右の外に年々需要が漸減するのは刻煙草で二十四萬圓の減收であつたから、結局數量を多く出しても金額に於いて大差ない結果を見せてゐる、更に品種別にすると兩切はバットが七十パーセント價格五千五百萬圓、口付は其の大部分が朝日と敷島で前者が六割、後者が四割と從來とは反對の比率になつた、これも不景氣の生んだ新現象である。

酒藏に張る蜘蛛の巣 政府は千六百萬圓の大減收

▼…昔から我國の風習として冠婚葬祭に酒、また成功しては祝杯失敗しては自暴酒と兎角我國民には附物であるが、節約の宣傳が利いたのか、それとも不況のドン底に喘ぐ多數失業者がもう自暴酒をあふるだけの餘裕さえないまでに窮迫したものか昨年の消費高は前年に比較してうんと減つたゝめ、本年の全國釀造高は一割方の減少で、殊に京阪神を中心とした關西地方に特に賣行きが悪い

▼…この原因は全く不景氣の祟りと、一つはビール、洋酒の躍進にもあるらしいが、現に角全國酒造高の一割を釀造するといふ酒都灘五郷の今日この頃、酒藏に蜘蛛の巣の張つたものが百軒近くあるといふ、賣行きは悪るい、掛は集らぬ、おまけに賣値を引下げねばならぬなど銘酒王國も火が消えたやう對策について頭を惱ませてゐる、某大酒造家の如き十數萬圓を投じ酒藏新築披露の名目で十日間に亘り全國の取引先や關西知名の士を招待して大園遊會を試み、不景氣を吹き飛ばしてこの難局を打開し大いに活躍すべく目下準備中であつたが他家へ氣兼ねして遂に沙汰やみになつたとか

▼…それにしても政府の消費節約緊縮宣傳のおかげで、日本一の納税額を持つ西ノ宮税務署だけでもこの本年の新酒造石高七萬六千餘石減で、三百五萬二十餘圓減收した、全國では前年よりも四十一萬八千餘石減じてゐるから千六百七十二萬餘圓の酒造税がフイになつたわけである

醫療の合理化 (上)

在東京 山田生

◇風の便りに據れば、嘗て大連病院の醫療藥價値下げ追隨に反對した大連醫師會は、其後その値下げを行ふ事に決したさうだが、内地では今や醫療合理化の聲が高くなつて來た。何でも彼でも合理化と言はねば時代的でないと考へてゐると見へ、醫療にまでも合理化の名を附けたのであらうが、その合理化なるものは醫療藥價の値下げ、貧困者への減額診療或は無料診療實費診療などで、多年の問題たる醫藥分業にまでは突進し得ないものと考へられる。

◇内務省衛生局が各府縣における官公立病院の醫療藥價値下げを斷行せしめんとした時、大連醫師會が公立大連病院の醫療藥價値下げに反對したるが如く、日本醫師會は鋭い鼻息を以つて之が反對を聲明した。だが日本醫師會はそれと同時に醫療の合理化を叫び、經濟的負擔能力に乏しい患者の減額診療劵の發行をほのめかし、値下げ反對によつて起るべき社會的非難の豫防線とした。官公立病院と開業醫との利害の衝突はこゝにも展開されたのである。

◇日本醫師會が官公立病院の醫療藥價値上げに反對したのは、これが一般開業醫に追隨を餘儀なくせしむるからであるが、それにも拘らず、府縣の公立病院の中には早く既に値下げを斷行した者があり、地方醫師會の中にも幾割かの値下げを行つた者がある。それと相俟つて、醫療合理化の聲は次第に昂まり來り、一部町村會では町村營の實費診療所を設けやうといふ氣勢が強くなつて來た。そのトップを切つたものか何うかは知らないが、東京府豐多摩郡代々幡町の町會では、實費診療所設立豫算案一萬七百六十餘圓を滿場一致で難なく通過せしめた。

時の人

横顔を描く (二)

濱口さんの素描 (下)

「ライオン」の異名をとつた濱口さんの顔は上から見ても下から仰いでも、位置を替へて横から眺めても、決して夏向きの顔ぢやない。

太い眉毛、落ち込んだ眼、どつかと座つた凄い獅子鼻、ベラボーに太くて廣くて、一向にしまりのない口髭、どれをとつて見ても餘る暑苦しい。

◇—◇

しかし、濱口さんの顔には無駄なところは無い。何事につけても無駄のないのは彼の一番の特徴だ。この間の總選擧の時に、演説をトーキーに吹き込んだが、その演説も八分は八分と決められた時間に、キチンと濟ませる。長くもなければ短くもない。

あまり正確なので、その理由を聞くと濱口さん、

「我輩の演説は、一分間百九十八語から、二百十六語とチャンと定まつてゐます、秘書官に命じて統計をとらしてあります、ですから定められた時間だけ、キチンと喋るのです」

と濟まして答へた。

◇—◇

濱口さんには無駄はないが、その代り味もない。顔を見ても其の通りだ。キチンと凝く出來てゐるが、何處を探してもユーモアなところは更にない。

第一、滅多に笑はない。よつぽど可笑しい時には僅に口をゆがめて、大きな口髭の下でかすかにウフフ……」とやる。

議會での首相の答辯を聞いても如何にも味がない。豫じめ打ち合せた答辯の文句をそのまゝ何度も繰返すだけだ。その點は故田中義一大將と同じだが、しかし田中大將のやうな危な氣はない。

◇—◇

顔構へから見た濱口さんの神經は荒鋼のやうに太さうだ。が、案外さうでないらしいところがある緊縮のやり方を見ても、扇風器はいけない、自動車は取り上げろ、電燈を小さくする、といつた具合に、見やうによつてはヒステリックに見えることさへある。

だが、萬事此の調子で、多少行過ぎの感じはあつても、危なつかしいところは割合に少ない。此點を總理の顔の中で最もよく證明してゐるのは偉大な獅子鼻の座り方だ。

天を仰いで鎮座したところは、テコでも動かぬといつた恰好だ。

◇—◇

濱口さんの歩きつぷりを見ると何更この感じを深くする。一分間に二、三歩しか歩くまいと思はれるやうな足取でノッソリ〳〵と一歩々々踏みしめて歩く。あれでは滅多に轉ぶやうなとはあるまい。

◇—◇

が、それにも拘らず、濱口さんは組閣間もなく官吏減俸案で泥をつけた、何故あんなヘマをやつたか?

なるほど歩調はゆつくりして危なげはないが、一本氣な濱口さんゆとりのない濱口さんには行く手の的ばかり睨んでゐて、足許の小石に氣がつかないことがある。

小石に躓いて轉ぶくらゐなことは、元氣な若者には何でもないがそれが若し老人だつたら、それが原因で頓死しないとも限らぬ。減俸案の失敗は組閣匆々であつたから、あれで濟んだ。しかし、今ももしも、あの失敗をやつたとしたらなかなかさう簡單に濟まないかも知れない。

正直で一本氣な濱口さんは、もうすこし、世間を知る必要があるらしい。(東京支社一記者)

八面相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

少年の私から

勝啓生

私は渡滿したばかりの小さき少年ですが、こちらの散髮料の高い事には一寸一致しました。內地の二倍も取りますからね、なぜ大連市民は値下運動をしないんだらう、內地はあんなに安く、そしてまだ下るといつて居るのに、こちらは內地より不景氣でないのだらうか?早く大連の市民が自覺して値下運動をして貰ひ度いとこんな小さい僕まで思つてゐます、もう一つはこちらの婦人方は一寸、用達し又は遊びに行くにもう馬車なり人力車なりに乘つて參ります、そんな所へ使ふ金がありましたら、九州或は朝鮮の兒童の鉛筆代にでもしてやつて貰ひ度いものです

秀水生に與ふ

三木生

去る九日の八面相欄で町名の改正と題する、一文を一讀した、その意味が瞭りしないけれども、要するに日露戰役當時の大將達の名を町名に冠する事が、支那側に對する思惑上面白く無いから時代思想の推移に伴ひ、然るべき町名に改正せよと云ふ趣意らしい、然し考へても見給へ、町名を改正しても租借地と云ふ現實が消へる譯けではない、且つ亦堂々たる町名の改正位で感情の緩和が出來るものでも無い、苟くも支那と云ふものを少しでも研究して居るものから見ると、そんな問題は滑稽の沙汰である、地名の如きは時代推移すると共に、矢鱈に改正すべき性質のものではない、再考を望む

新刊紹介

▲増補新刊滿蒙日本人紳士錄(附滿蒙銀行會社要覽 滿洲日報社編)本著は昨年滿洲日報社によつて編輯されたもので更にその後の民官の異動を檢べ殊に本年六月滿鐵職制改革による滿鐵の異動を精査增補し卷尾に附して發行したものである、收める所三千五百餘名會社銀行約七百有餘件公私人の生活內容を知り滿蒙を中心に活躍する人を知るには絶好の著である滿蒙日本人の個人的歷史として亦は社交上事業上の好參考書として一般人士に必携を奬めたい快著である、尚ほ卷頭には「滿蒙日本人發展小史」の快文を掲げて小書刊行に至るまでの滿蒙發展の情勢を簡明に記錄してゐる(六百五十頁菊版大册定價一圓八十錢大連滿洲日報社發行)

海邊ドレス パリで流行のビーチコスチュームの一つ、純白の上衣、濃紅のズボンにマッチングハットといふウルトラモダーンのクレープパジャマである、どうですこんなのをこしらへて見るモダーンガールはありませんか

耳——に水が入つたら……？——
海水浴で
——注意をしなければならぬこと

海水浴に 行つて中耳炎に罹る人が少くありません、水浴の時に注意せねばならぬのはかつて耳を患つた人殊に醫者から鼓膜に穴があいてゐると注意された人である。こんな人は水浴に限らず、風呂、洗面の時も決して水を耳に入れぬやうにしなければいけません。水が入れば必ず中耳炎を起します。鼓膜に傷のない人は耳に水が入つたからとて何でもありません、耳を下に傾けて耳たぶのはしを引つ張つて穴を大きくし頭をふれば水は出てしまひます。しかしダイビングなどをすれば

傷のない 人でも安心は出來ません飛込んだ刹那、平手でシタヽカぶたれた時位の壓迫を外耳道の中にある空氣に與へますから氣壓に變化を起し鼓膜が破れ水が入り、中耳炎を起すことがあります。また、水を潜ることもいけません。で水泳の時は潜つても飛んでも大丈夫のやうに外耳道にフタをしておくことです。百貨店などで賣つてゐる粘土で作つたのでもいゝのですが、普通の綿をつめ、ビンツケを塗り込んでおけば大丈夫です

脱脂綿だ けでは水がシミ込んで來てあまり効果はありません。また、水を飲んでむせる時鼻孔の後の歐氏管を通つて浸入して行つて中耳炎を起すこともあります。これは特に注意せねばなりません。なぜ水がはいつて中耳炎を起すか、水そのものにも黴菌はゐますが、外耳道、口腔、鼻孔には無數の黴菌がゐます。それを水と一緒に運び込むからです

夏から秋への 養鶏の注意（二）
定森幹哉

綠餌の給與

殊に青物の給與如何に依つては鶏の健康保持及産卵の數に影響する事は言ふ迄もなくこれを怠る時は青色の便を出すもの、水を澤山飲んで水瀉便をするもの、冠尾を紫黒色に變ずるもの等何れも綠餌の不足より生ずるものである。四五日青菜の給與を怠る時は必ず冠尾を紫黒色に變ずるものを見受ける、之は他の飼料にも依るが多く夏は菜類の不足のものが多い、兎に角夏は菜葉の手に入り難い時であるからこういふ時は野山の雜草を代用するをよしとする、殊にアカシヤの葉、芝生の新芽、野生のアカザ等は良い、其内アカザは多少の臭味が有るので一度熱湯に通して與へると宜敷い、又一層雜草を煎じて其の煎汁を飲むのも惡くない、尚亦海邊では海の藻類等結構である。現今日本内地では之を乾燥して多量の綠餌として盛に給與してゐる様である。

飼料の配合

鶏卵の價格の比較的安い時期である陽春の産卵期には飼料の配合に依つて抑制休産せしめ夏秋の高價な時節に盛に産卵せしめると云ふ人が有る様であるが一九三〇年の尖端時代には産卵も超スピードを以つて其の尖端を行くべきであらう、現時一ヶ年三〇〇の産卵は朝飯前の茶飯事であつて春の産卵を抑制せしむるまでもなく晝夜兼行で産卵せしむべきである、

七月から八月にかけての休産の原因は何であるかといふとそれは暑さのためで、殊に糠類は飼器の中に殘留せしめる事が多くなる若し食慾が減退して殘すものが出來る時は其の材料を良く調べて次回からは之を減じ良く食ふものだけを與へるやうにする、即ちこの場合は夏季飼料配合中に一定の比例を用ひず選擇給與法に依るを以つて利とする、夏季は飼さへ充分に攝取すれば産卵は引續いて相當の利益を見る事が出來る、飼の攝取が不充分なる時は必ず換羽を始める衰弱鶏が出て來る、その衰弱鶏は日増しに度を増しますぐ肉は落ちて遂に斃れてしまふ、

虫干は 天候が決まつてから

滿洲も例年ならばボツ〳〵雨期も去つて初秋らしい快晴を見せ虫干の頃となるのであるが本年は低氣壓の中心が執念深く一ヶ所にこびりついて居るので仲々カラツとした空を見せない、從つて空氣の濕度も八十度から九十度といふ高度を保ち室内には黴が跳梁を選しうしてゐる、しかし若草山觀測所員の語るところによると風もだいぶ北の方に廻つて來たからこゝ數日中には雨期も完全に去りそれと同時に濕度もぐつと低下して二十日頃までには天候もすつかり決まるだらうとのことである。虫干をするのも天候が決つてからがよい

ローマ字は 日本語に適せず（一）
ヨシタケ・タケシ

先日このらんで「訛れのローマ字が……」と論ぜられて居ましたが今一歩退いてローマ字そのものゝ良否を述べて見たい、

◇

あの田中館博士の電報文はどんな意味を持つか一寸解し兼ねるが文章通り解釋すれば日本式は日本語を表はすに適さないと解すべきでせう。

◇

外國から借りた文字は、國語を表はすに不都合を生ずる事は遠くトルコを例に引く迄もなく、我國が漢字を取入れた結果が明かに示してくれてゐる。國語を表はすに不便である許りでなく、國語自體をカク亂する結果になる。ローマ字を國字に採用するなんて事はこの根本の理由から誤つてゐる。但し外國語の中に日本語を挿入する等の特殊の場合は別として、この場合は國字と云ふ問題の外である國字としてのローマ字はあらゆる方面から觀察しなくてはならない

◇

一、單字の呼び名の不合理 アルファベット二十六文字の呼び名が各國に依つて異なる事Aと書いてエーと呼びアーと呼ぶJをヂエーとよびヨツトと稱へ又ヨーと讀むのはA、Jなどを多面的に見たもので音文字でなく象型文字の一つである。

◇

二、文字の呼名と發音の不一致 文字の呼名と發音の一致が理想である、それも世界的でなくてはならない。エスペラントや日本式ローマ字は幾分この點に注意されてゐるが、日本式ローマ字は日本のみの弊があつて世界的であるとは云はれない。

そして發音と呼び名の不一致は略字の時にその缺點が表はれる。Y、M、C、Aはヤ、ム、ク、アと呼び、U、S、Aはユ、ス、アと呼ぶべきである。

◇

三、文字は一字一音であれ 私の云ふ一字一音は嚴密に云ふのではない、只同一音範疇中に入る音であればよい。

の缺點だけはサスガに取入れてないが少しはある。それはあとに述べる。

◇

四、大文字小文字のちがひ 良くローマ字は廿六文字で數が少いと聞くが、決して二十六字ではない。大文字小文字と全然違つた感じのする二種類の文字で廿六字の二倍即ち五十二字となる、併しこの中C、O、P、V等の如く同一文字の只大小の違ひだけのものを引き去り四十二三字とするがの發達史によると大文字が進歩して小文字になつたと云つてゐる。若しそうだとしたら最も進んだ小文字のみを採用して歴史的文化の踐蹤である大文字を今でも頭の天邊にチヨンマゲの様に殘して置く必要もない筈だ。そこにローマ字のナヤミがある。小文字二十六字——日本式は僅に十九字——では語を作る上に不足がある。語を作る上に、又見易くするために文字が必要ならはC、O、P、V等同一形の大文字が、ゴヂツクでも使つたらいゝと思ふ。

◇

五、筆記體と活字體の相違 筆記體不要論も出てゐる時だがまあ筆記體は必要としても字體と筆記體の隔たりの沉きものが文字の理想である事は何人も異存はないでせう。ローマ字の現狀では筆記體のA、B、F、G等は活字體と、想像も付かない程離れすぎてゐる、これは小文字についてであるがまだこの外に大文字がある活字體に大小筆記體に大小と四種の字體があり少くとも七十の文字から成つてゐると云ふのが至當でしよく。

六、I、Oが數字と共通する點 OとIが數字の0と1に共通（タイプライターの文字等）である事は一面便利である様だが他面に大きな不便がある。それは數字と言葉とを連結し得ない、1200Zの如く事實混同することは少いが何だか不安で分けて書いてゐる。

◇

以上はローマ字の總體論であり文字の理想に合致せぬ點である。改良すれば改良出來る問題であるがはたして今のローマ字論者に全世界を動かしこの缺點を注ぐ改良できる意志があり熱意があるだらうか?。

健康美を誇る

州内踏破（第七信）
全コースを無事に終る
二中徒歩旅行隊

八月五日——

午前七時半三澗堡の土城子派出所を出發

今日は二隊に分れて旅順に行く事にしました。即ち本隊は水師營を經て旅順に、別隊の二名は双頭溝を經て旅順に。本隊は自動車道路をゆつくり歩いて、午後一時半旅順の驛前に着きました。

別隊は悪い道を通り、大分辛苦して午後六時半へトヘトになつて旅順に着きました。聞けば別隊の取つた道は十二里もあつて、一日の行程としては少し無理だつたといふことです。

晩は黄金臺の海岸に寢ました。

八月六日——

午前四時起床

早速、昨日作つたと云ふパンを詰込む。

六時黄金臺を出發し兵營の前を通つて旅大道路に出た。

旅大八景の白銀山、玉ノ浦を眺めて龍王塘派出所に着いたのは午前十一時。

晝食が濟んでから有志三名が派出所の前方の高い嶮しい山に登つた。此の山には、日露戰役に於て殉死した我が忠勇の士の碑がある

午後三時半、派出所を出發し、六時小平島の派出所に着いた。

今晩が最後の夜なので夕食には持參した食糧品を全部鍋の中に入れ、此れに途中の溝の中で捕へたボラの子と、茄子等を投げ込んで煮ました。此のお菜はとても美味くて何とも言へぬ味がありました

八月七日——

午前七時半小平島派出所を出發

今日は家に歸るのかと思ふと足の速やさが何時もと違ひ、驢馬迄が勇んで歩くのでした。

志津間先生がわざ〳〵途中までお迎ひに來られて、寫眞を取つて下さいました。

十時二十分無事終點の黒石礁に着き、電車に乗る、學校で疲れを休めた後一行が解散したのは午後一時でした。

思ひ出せば十六日の長い間少しも豫定が狂はずに、否豫定以上に行動することの出來たことは、此の計畫が今年の正月より始まり、隊員が皆一致して何事にも相扶け合つたこと及び、途中到る處の警察のお方が皆親切にして下さつたことに因ると思ふのであります。

地方の派出所では、同胞が懐しいことも加つて何れも數々の便宜を計つて呉れました非常にもてなして呉れたことは、實に感謝に堪へない所であります。

一行は亦、天候にも惠まれた方で、途中に於て雨に出會つたのはたつた一日だけでした。

けふのラヂオ
實用支那語會話
滿鐵庶務課 秩父固太郎
第五十二課

1 您吃乾飯麼
2 我 稀飯
3 這是小米兒粥
4 那更好
5 您吃得來麼
6 怎麼吃不來吃
7 裡頭有綠豆
8 吃這個可以去熱
9 都那麼說
10 比大 粥好的多
11 請用鹹菜
12 您別張羅
13 這個醬羅蔔好
14 我吃醃黄瓜
15 擱點兒醋麼
16 不用了．謝謝
17 您沒吃飽罷
18 再不能吃了
19 您請寬坐
20 您慢用

譯文

1 貴方は普通の御飯を上りますか
2 私は粥が欲しう御座ゐます
3 これは粟の粥ですよ
4 それは尚更結構です
5 貴方 れますか
6 何で頂けぬ事が有りませうか
7 中に綠豆が這入つて居ます
8 これで喰ると暑氣を拂ひます
9 皆そう申しますね
10 米の粥よりもズツト好いです
11 何卒漬物を御上り下さい
12 貴方お構ひ下さるな
13 この味噌漬の大根が好いです
14 私は黄瓜の漬物を戴きます
15 酢を入れますか
16 入りません、有難う
17 貴方は十分に上がつて居ないでせう
18 もう戴けません
19 貴方御自由にしていらしつて下さい
20 貴方御緩り召上れ

（新字）稀。米 綠。豆。 鹹。羅 醬。羅 蔔。 醃。

探偵小說 **女妖**（167）

江戸川亂步 作
橫溝正史
伊藤幾久造 畫

剝がれた假面（一）

黄昏の色が、深く濃く、この建物の窓から落ちこんで來た。靜まり返つた夜氣が、ひた〳〵と四方の隅々から忍び込んでゐる。

これはこの建物の中の、誰一人知らぬ一室である。四方の壁は厚い木材で打張られ、そこには窓もなければ入口もない。まるで木箱を伏せたやうな奇妙な部屋の有樣である。

今この密室のやうな一室の中には世にも凄慘な事件が進行しつゝあつた。

この部屋の隅に、見るからに、この部屋とは不調和な、大きな寢臺が据へつけてある。それはかうした殺風景な部屋とは全く度外れて不調和に立派なものだつた。大きな天蓋には金だの銀だのゝ細工が入念に施してあつて、其處から厚ぼつたいカーテンが血のやうな色をして垂れてゐる。

その寢臺の中に、今しも一人の男が橫になつてゐる。いや、橫になつてゐるなどといふ暢氣な光景ではないのだ。よく見れば、彼の身體は太い荒繩を以て、寢臺の上に十重二十重と縛りつけられてゐるのだ。

男――いふ迄もなくそれは成瀬子爵であつた。子爵は蒼ざめた顏の所々に、痛ましく血を滲ませ、きつと唇を嚙みしめてゐるが、もう決心の臍を定めたのだらう。何事をも言はうとはせずに、觀念の眼を閉ぢてゐる。

その寢臺の側に、椅子を引寄せ獰猛な嘲りを嚙つてゐる男――それは千家篤麿に違ひなかつた。彼の眼は最早常人のそれではなかつた。まるで氣違ひのやうな、物凄い輝きが、ギロ〳〵とその眼の中に燃えてゐる。

暗い窓のない部屋の中に點じられた蠟燭の灯が、いつそ物凄くその顏を隈どつてゐた。

「花子さん、どうですね。もういゝ加減にうんと言つたらどうだね。これ程思ふ心中男だ。まんざら捨てたものでもありますまいよ」

千家篤麿の火を吐くやうな瞳が、部屋の中をつゝ抜けるやうに響いた。

然しそれに答へるものはない。千家篤麿はやけにぐいと唇を嚙つた。と思ふと、床の上に身を蹲めて、ぐいと其處に俯伏してゐる誰かの肩を摑んだ。

花子だ！春日花子に違ひない。打續く恐ろしい刺戟に、花子はもう早すつかり憔悴し切つて、その眼は何を見る力も、何を思考する力もないらしい。それでも邪險に、男に肩を摑まれると、ブル〳〵と身を慄はせて、二三歩膝をにぢるやうにして後退りをした。

花子さん。あんたはまだ剛情をはるつもりだね。よろしい。あれ程言つてきかせても駄目なら、もうこの俺も辛抱する事は出來ん。可哀さうだが、子爵の生命は貰ひましたぞ」

「アレ！」

子爵ときいて、さすがに花子も氣がついたらしい。彼女は周章てゝ篤麿の腕に縋りついた。

「あゝ、いつそあたしを殺して下さい。生きてこんな恐ろしい目に遇ふくらゐなら、あたしはいつそ死にたい。殺して下さい。殺して下さい」

花子の兩頰に亂れかゝつた髮の毛は、バラ〳〵と解けて無殘に肩のあたりにこぼれる。

「何を馬鹿な。あなたを殺すくらゐなら、こんな苦勞はしやせん。よし！さういふ氣なら、もう俺はあんたの言葉はきかん。自分の思ひ通りにするばかりだ」

千家篤麿はさういふと、つと立上つて、寢臺の脚に仕掛けてあつた鈕を押した。

「アレ！あなた！それはかりは……」

花子は狂氣のやうになつて篤麿の膝に武者振りついた。然し、子爵は自若として一言もない。

あゝ、さるにても、由良子の魔手から、危ふく蛭田檢事に救はれた筈の花子！彼女はどうして又篤麿のために捕へられたのだらうか……。

九州の大暴風雨
風速實に三十五米
對馬洋より朝鮮へ向ふ

【長崎十二日發電通】吹き募つた颱風も午後三時頃三十五米の風速を絶頂として午後五時廿分頃より漸次風力衰へつゝあり颱風は對馬沖を朝鮮に向つて去る模樣であると測候所より發表した

中村所長は語つ[illegible]午後三時過からは又勢ひを盛り返して吹き荒れてゐる被害は案外少い見込みである、電信電話は九州[illegible]間には辛うじて一回線のみ通じてゐる

長崎の風速 測候所の新記錄

【長崎十二日發電通】長崎地方では猛烈に吹き捲つてゐた暴風が一時五十分頃突然無風狀態となつたがこれは颱風の中心に入つたもので市內の風速は平均二十五米六で示度は七百二十一、九ミリに下り長崎測候所開設以來の記錄であると

鹿兒島南部 通信全く杜絶

【鹿兒島十二日發電通】北上中の颱風は朝來甑島附近を進み當市は風速十七米突七南部地方は二十六米突八で前川よりは弱きも西海岸地方は相當被害ある模樣なるも通信杜絶のため詳細不明

陸沿中の大連航路うらる丸、天津航路長江丸等はランチが近寄れぬため二百餘名の乘客は遂に乘船する能はずうらる丸は明日午後一時長江丸同二時に出帆を延期した、又今早朝入港のばいかる丸と原田丸は二時間乃至四時間遲れて入港したが船客は上陸出來ず午後少し波の靜まるを待ち幾回にも分けて上陸した

同樣的に上陸させたが天津丸は旦濟島附近に避難し船車連絡は滅茶々々となつた

東京線一部復舊

尚大連東京線は十二日午後九時から一部復舊を見た

颱風止む 各汽船出港

【門司特電十三日發】風速三十九米突といふべら棒な暴風雨に見舞はれた關門兩地の被害は實に慘澹たるものであつたが、十三日午前二時ごろから颱風止み朝來時々雨が降るのみで門司港で一日風浪にもまれた各汽船も本日定刻に出港した

全市戶を閉ざし街路人影を斷つ
長崎市民不安に脅ゆ

【長崎十二日發電通】長崎市は正午頃から愈々颱風圈內に入り暴風雨物凄く吹き捲くり全市戶を閉ざし街路は行人殆ど絕えた、測候所では愈々颱風圈に入り中心は天草附近にあり示度七百十六ミリ依然北に向ひ漸次強力となりつゝ北進して居る夕刻頃までには中心が當地を通過するであらうが午後一時の風速二十四、五米中心が當市を通過する頃には更に强力となるべしと觀測し市民は戶外の嵐を聞きつゝ恟々としてゐる

關門の船車連絡全く杜絶す
うらる丸は一日遲る

【門司特電十二日發】關門地方の昨夜來暴風雨は今朝から刻々暴威を逞しくし關門間の汽船航行杜絶し關釜連絡船も關門間鐵道連絡線も杜絶したので關門兩驛には鐵道旅客が列車毎に停滯して物凄い暴風雨を恨めしく眺めてゐる、又大連からのばいかる丸、天津からの長城丸も神戶からの大連行うらる丸、天津行長江丸いづれも辛うじて今朝門司に入港したもの、港內風浪高くしてランチの航通も荷役も出來ないので空しく碇泊して居る、今の所いづれも一日延期して明日の定刻に出帆の見込であるが水陸とも被害多大である

かも只今のところ見當がつかぬ

ばいかる丸遲る

【門司十二日發電通】門司港內は吹き募る暴風のため波浪高く港內

內地への通信杜絶
復舊見込立たず

十一日未明から中國地方を襲ふた暴風雨は電信、電話を全滅させ大連、佐世保間の海底電線は十二日午前四時頃から切斷し中國以東の通信連絡を中絕させて了つた、即ち大連郵便局電信課では大連、長崎線を利用し內地との通信連絡を辛うじて保つてゐるが午後に至り東京、長崎線が全滅不通に陷つたので中國以東の通信連絡は完全に絕たれた、右につき電信課では語る

この度の暴風雨による被害は相當甚大であるらしく目下大連、佐世保線の切斷區域につき交渉調査中であるが何分中國以東の通信を絕たれてゐるので皆目判明せぬ、また何時ごろ回復するか

首相官邸の名畫
和田畫伯が心血籠めた「名城」大廣間を飾る

【東京十三日發電通】首相官邸の大廣間に掲げられてゐる和田三造畫伯筆の「南風」に對し畫伯より中野正剛氏を通じ撤回方を求め、之に代へて快心の作を寄進し度いと申出でた事は既に報道した處であるが、爾來畫伯は首相の希望に基き「名城」を描くべく姬路に出張し白鷺城を專心に描き上げ此程官邸に送り屆けて來たので早速十三日から大廣間に掲げられたが濱口首相は十三日朝訪ねる井上藏相と肩を並べて其の雄大な大作の前に立ちすつかり滿悅の態であつた

旅順戰蹟憑弔會

若草山本派本願寺關東別院にては例年の如く旅順戰蹟憑弔會を八月十七日執行することに決定、此度は往復共に自動車を借切りとし戰蹟全部を見學すると、尙會費は四圓にして辨當持參のこと申込は本願寺へ

賣込フォード機 巧みに宣傳飛行
支那側大官を招待し 近く國際飛行競技會擧行

【奉天特電十二日發】奉天溫泉倶樂部に滯在中の飛行將校原田教官は語る

毎朝六時に起きて支那側に貸與した飛行機の演習に出かけるこの暑さに却々骨が折れる、この程來たフオード旅客機は支那側に賣込相談中であるが張學良氏が歸奉するまではつきりしないのでそれまで奉天に滯在し毎日練習飛行を行ふ積りであるらしい、十一日は支那側の幹部連を乘せて試驗飛行を行つたが日本側でも申込めば喜んで乘せて呉れる事と思つてゐる、運河附近に墜落した甲式四號戰鬪機とポテー偵察機の墜落の原因は操縱士が重傷で入院中であるためこれが快癒しなければ判らない、それから支那側で計畫してゐる各國飛行機競技會は八月か九月には行はれる筈で奉天に來てゐる飛機はチエツコ、日本、米國である、それにフランスも加はる筈で英國が參加するか否かは判らぬ、飛行機競技と云つても各國の飛行機を飛ばしてみてその中よいのを支那側で買ふと云ふのであるから競技會といふ名前の程の事はない

全國中等學校野球大會始まる
先づ八對一のスコアにて松山商業甲陽に勝つ

【大阪十三日發電通】第十六回全國中等學校野球大會は十三日から甲子園球場に開始された、今日は炎熱の日も照らず東北の微風薄曇である、一萬の定席は文字通りの滿員で松山商業甲陽中學の試合にて開始されたが、幕は切つて落された、松山の先攻にて開始結局八對一で松山の勝利に歸した

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
松商	4	0	0	0	2	0	2	0	0	8
甲陽	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

太平洋橫斷の雄圖空し
ワーク機の破損

【ヴアンクーバー十一日發電通】太平洋橫斷の雄圖挫折の已むなきに至つたワーク氏の機體の破損は慘澹たるもので、着陸裝置は滅茶々々となりプロペラも碎かれ損害を受けずに殘つたのはエンヂン丈けであつた、ワーク、ブラウン兩氏は若し此の飛行機が東京に到着する事が出來たとしたら夫れこそ奇蹟であつたと語つた

五萬圓を拐帶
昭和銀行小使が

【東京十三日發電通】十二日午前十時五十分頃昭和銀行淺草支店小使鈴木八十松(二十)は行金六萬三千餘圓を日本橋本店に持參の途中日本橋區本石町の自宅に銀貨、銅貨取交ぜ六千五百圓を遺棄し紙幣のみで五萬數千圓を拐帶何れにか逃走姿を晦ました事午後三時頃に至り發見し銀行當局は非常に驚き象潟署に訴へた、同人は六年前から小使となり最近信用を得て行金の遞屆を爲してゐたものである、なほ妻子は栃木縣下に避難せしめてゐたと

タコマ號飛翔用に適せぬ

【東京十二日發電通】ブロムレー中尉は十二日遞信省を訪問し正式に來朝の挨拶をなした、明十三日霞ヶ浦飛行場を視察する筈であるなほキヤッテイー機關士は十二日立川飛行場に赴き檢分したが、同飛行場の規模はタコマ號飛翔用としては小さ過ぎる事が確められた

日支軍警協力して大馬賊團を包圍す
營口附近の高粱畠で

【營口特電十三日發】三十四名より成る馬賊團が大石橋、營口中間の無名村落に侵入し高粱畑に潛伏せるを十三日發見し支那巡警、大石橋警察、及び守備隊は協力して包圍中であるが、營口警察署からも應援として署員全部午前十時半急行した、目下賊は包圍狀態にあり

ピカ一チームの味つた悲哀
破綻を生ずれば忽ち慘敗
都市對抗野球批判

市民野球の全盛時代に最も權威ある試合として連日全國的人氣を背負つた東日主催の都市對抗野球試合は近頃試合に飢えて居る野球ファンをしてその快味を心行くばかりに滿喫せしめた。

▽―――△

連日場に溢れるファンの中には慶應生チームの往年の名選手を各チームに見出して未だ衰へざるその快技に驚喜する者が尠くなかつた。往年の名選手が市民チームに參加してその所屬チームを九點の貫きに置き、豫選においては群小チームを征服し、中央の檜舞臺に返り咲きの勇姿を見せたのは慶應別當の昔譚ならぬ一臠の詩情をすら感ぜしめたものだ。

▽―――△

大會の劈頭、大敵東京倶樂部をして稀同戰にまで追ひ詰め、看客に對し冷水一斗の思ひあらしめた臺北チーム、その初陣のチームを率ゐたのは誰あらう、往年慶球を以つて鳴つた渡邊大陸投手(舊明大)だつた。その昔忘れぬ堂々振りの痛快さ、既に三點までリードされて居るに拘らず、悠々あせらず急がず、殊に四番打者として、第六回に四球に出た走者に對し絕好の二壘打を放つて三點得點の因を作つた如き誠に華々しき武者振りであつた。更に慶應オール橫濱を見事に一蹴した高崎の高陽倶樂部投手で三番打者の淺倉投手(舊早大)の奮闘振りを見よ。

▽―――△

また强豪滿倶を向ふに廻して味方の旗色惡しと見るや敢然立つた函館オーシヤンのキヤプテン久慈捕手(舊早大)の勇壯さを見よ。久慈君はマスクをかなぐり捨て自らプレートに立つた。而もその奇手、妙腕、假令大勢は支へきれず惜敗に終つたとは云へ、强打者揃の滿倶選手の矢面に立つて七回に二安打しか許さなかつた堅實さ、名捕手にして且つ名投手たるの面目躍如、のちのちまでの語り草として殘るであらう。

▽―――△

斯くの如く往年の各大學の名選手が學生々活を捨た後、各地に就職し、招聘されてその腕を快よく發揮し、後進を引立てゝ行くことは、職業野球團の育たない我國にあつて當然の傾向でもあり、また面白い現象でもあらう。然し茲に一つ見逃すことの出來ない現象は地方的對抗競技としてまだまだ發達の過程にある野球のことである各地方チームは多くの名選手を一時に集める事が困難であるために勢ひ一人か二人のスター選手があると、それに頼り過ぎる。隨つてそのスター選手に一度び破綻を生ぜんか、忽ち慘澹たる光景を現出する、それがチームワークの取れて居ないチーム醜態(?)を暴露することはいふまでもない。

▽―――△

今回都市對抗試合においてその事實は歷々として現はれた。曰く臺北の狼狽、久慈主將の力闘も大河の流れをせきとめ得ぬと知つた時の函館の頼りなさ、淺倉投手が自信を失した場合の高陽の慘めさ、竹內(舊早大)大貫(舊寶塚)兩選手の力衰へたりと氣づいた京都の落膽――比々皆然り。

▽―――△

人はいふ「これピカ一チームの味はふ大きな悲哀である」と――誠にその通り、スコアの跡を辿つて見ると、それ等スター選手の破綻を見せた時、そのチームは必ずや大きな得點を敵手に與へて居ることを發見するであらう。これに反して假令小粒乍らでも揃つたプレヤーを持つチームの甲斐々々しさは何うだ。東京倶樂部に敗れたりとはいへ平壤の氣持ちよい試合振り、鹿鐵、名鐵の健闘振り、等々の如何に雄々しかりしよ。

▽―――△

そして「連年の覇者滿倶も潤澤なく、兒玉の出場なし、今年は弱いぞ!」と、戰前噂されながらもアレだけの働きを示した滿倶の强味は何うだつた。と我等滿洲ッ子は聲を大にして誇つてよかろう。何れにしても「ピカ一チームの悲哀」と「チームワークのとれたチームの强味」は、今回の都市對抗野球において立派に證明された。我國將來の地方的野球競技の進展に興味ある進路を示したものであらう(東京支社一記者)

大連檢番に花代値下げの聲
お料理代と一しよに

大連三業組合は今春花代の二割値下を斷行したが、その實一部花代の値下にはなつてゐるが、中には却つて

値上げと なつてゐる花代もあり(例へば從來朝殘りといつて午前九時から十二時までの花代三圓であつたものが時間花となつた爲め四圓八十錢の値上になつてゐる)全體から見て一割程度の値下にしかなつてゐないので三業組合の老猾な態度に非難の聲もあつたが最近滔々たる諸物價の値下げに刺戟されたのと一般の輿論が再び値下說に傾いて來たので大勢に動かされ

組合內で も漸く値下げ氣運が醸成されるに至り注目をひいてゐる、即ち一時間花代(四本)は現在一圓六十錢であるのに最初一時間は二圓、貰ひ花は二圓四十錢取つてゐるが、これは極めて不合理な規定であつて、これを全廢して一時間四本を一圓六十錢均一になすか、全體の花代を二、三割値下げして沈滯した花街の空氣を一掃して

客の吸收 策を講ずること更に大阪、神戶等の花街における所謂約束花(午後六時から同九時まで)は最近三圓といふ廉價をもつて實施してゐるのに鑑み大連も四圓位に値下すべきで而して宴會の普及化を圖れといふ議が組合員に擡頭してゐる、それには獨り花代ばかりでなく料理代、席料などの値下も必要とされてゐる、即ち現在の

料理代は 物價の安いに拘らず大體濱乃家は一品料理で四圓天金三圓五十錢、星の家五圓、淡月四圓が通り相場であるがこれも二圓五十錢位に引下げが至當であるとの意見を一部役員間に抱いてゐる者もあり近く世間の聲に應ずるそれ相應の對策がせられる模樣である、なほ三業組合の値下げ具體化によつては逢坂町及び西檢番方面にも相當反響を呼び起すものと見られてゐる

同安號の乘客等今尚行方判らず
海務局安否を氣遣ふ

山東角における支那汽船同安號の沈沒並びに乘組員乘客七十九名の行方不明事件はその遭難者の多き事で此處十年來の椿事として社會の耳目を聳動せしめてゐるが、何分支那汽船の事とて當地無電局との連絡意の如くならずその後何等情報を得ないが、海務局では日本人高級船員も乘組中のことゝてそれ等の安否を氣遣つてゐる、岡本海務局長は右海難事件につき大要次の如く語る

恰度旅順の方に行つてゐたのであちらで聞いたのがこの前の衝突事件の時から思ふとどうも[illegible]に近い所でやつたやうに思はれる、何分乘客乘組員七十[illegible]名も行方不明なんだから自分の知つて居る範圍內でも大きな事件だ、船長の責任かね、無論これは日本政府の示す船舶職員法によるが多くは東京で海事審判が行はれるだらう、日本の船舶職員令によると日本の海技免狀を有するものは何日如何なる場所で事件を起しても日本の法規によつて處罰され海技免狀に對する責任を負ふ事になつてゐるのである何れにしてもその後の情報が知りたい

聯興號內には多數の負傷者
救助船の到着を待つ サルベージ船急航

支那汽船聯興號の衝突事件に關し其の後大連無線電信局に到達した情報に依ると、船員船客中に尙ほ多數の負傷者あり上述した醫師の方を要求してゐる、尙同船は目下營城子灣口に投錨、一番船艙より浸水あり日夜排水に努めてゐるから差向安全であるが、大風に遭ふと船體危險なので威海衞沖に避難の希望を有してゐる模樣である、同船の救助には昨日旅順管內營城子灣に於いて大中號を救助の上大連に引上げた東京サルベージ會社所屬サルベージ船、那須丸(六〇〇噸)が大連三井物產からの命を受け內地へ歸航の途中遭難地に向つて引返した

支那人夫が十餘名溺死
北寧線の復舊工事で

【奉天特、十三日發】北寧線水害箇所白旗堡、繞陽河間は支那側で復舊工事に努め十三日より滿鐵まで運轉を開始する豫定であつたが、十二日夜の豪雨で亦も柳河の增水六尺に達し復舊工事に從事してゐた支那人夫は十數名溺死した尙復舊には數日を要する見込みで同地は材料運搬自由ならず復舊作業に非常に苦められてゐるらしいと

大評判の三大全集特賣

天下の人氣を沸騰せしめわが出版界に驚異の新記錄を作つた講談社の修養、講談、落語三大全集は目下一册賣で又々引ッ張り凧!此特賣は本月末日限りです、御急ぎ下さい。

水害の狀況

北寧線の水害箇所に電信不通のため詳かならざるも十三日迄に判明せる事實は

白旗堡、饒陽間、線路浸水、大陵河、双羊店間、橋梁破損北戴河、馬守營間線路決潰等にして漸次減水しつゝあるも浸水箇所は泥土にて線路を數尺埋沒せる爲め復舊には尙十日間位を要すべしと

崎山代議士は禁錮六月言渡

【鹿兒島十二日發電通】鹿兒島選出代議士崎山武夫氏に係る選擧違反事件は十一日禁錮六月(求刑五月)の決定言渡しがあつた

駈落所か眞の夫婦
モダン日支男女

十二日入港した大連丸のデッキパッセンヂヤーの中に斷髮の美しいモボ支那服女性がその情夫らしきモボと片隅に小さくなつて居るのを臨檢中の水上署員がみつけ駈落者ぢやあるまいかと取調べると駈落どころか二人は立派な夫婦しかも女の方は日本人である事が判明係りの人々を吃驚させた、何が彼女を支那人にさせたか聞いて見ると女は橫濱中區岸町生れ宇吉長女歌川千代子(二〇)で二年前同地山下町で洋服裁縫師をしてゐた男許滄灝(二[illegible])といつしか戀を語る身となり各方面を說得して結婚しつゝ先だつて上海に渡つたが虎の子の樣にしてゐた資金六百圓を電車の中で掏られたので許は大連で一旗揚げやうと來たものだとそして女はいふ夫に好い仕事がなければ妾カフエーの女給にでもなりますわ

全滿對遼寧 四種競技
猛練習を開始

今秋擧行される遼寧省對全滿洲のア式、籠球、庭球、陸上の四種目對抗試合は着々準備されつゝありまた同對抗ゲーム日指して各チームも猛練習中であるが、滿鐵ア式蹴球部は二三名市中側より參加のうへ毎日午後四時より大連運動場に於て練習を行ひつゝあり參加希望者は滿鐵本社審査課飯澤氏宛申込まれたしと

海水浴で二兒童溺死

【千葉十三日發電通】千葉小岩町小學校訓導萱野倉吉方に去る三日から滯在避暑中の同校四年生井上アキ(一〇)松田キヨミ(一〇)友松ブシ子(一〇)沖野ヨシコ(一〇)松野キヨ(一〇)の五名は稻毛海岸で十二日水泳中激浪に呑まれ沖合に押し流されて行くのを萱野訓導が認め、狂氣の如くなりて附近の漁師を狩り集め救助に努め友松、沖野、松野の三名は漸く救助したが、他の二名は行方不明となり今朝に至るも死體發見されず引續き搜査中である